野辺地町庁舎等新築工事（建築工事）

平成３１年３月

株式会社　川島隆太郎建築事務所

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　－　単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　タイトル
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ　一　００	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

図面番号	図　面　名　称
特－1	特記仕様書　1
特－2	特記仕様書　2
特－3	特記仕様書　3
特－4	特記仕様書　4
特－5	特記仕様書　5
特－6	特記仕様書　6
特－7	特記仕様書　7
特－8	特記仕様書　8
A－1	案内図・配置図
A－2	敷地求積図
A－3	敷地平均地盤面算定
A－4	床面積表
A－5	防火区画図
A－6	仕　上　表　1
A－7	仕　上　表　2
A－8	1 階　平 面 図
A－9	2 階　平 面 図
A－10	3 階　平 面 図
A－11	R 階　平 面 図
A－12	立　　面　　図
A－13	断　　面　　図
A－14	矩　計　図　1
A－15	矩　計　図　2
A－16	矩　計　図　3
A－17	矩　計　図　4
A－18	階段1　平面詳細図
A－19	階段1　断面詳細図
A－20	階段2　平面詳細図
A－21	階段2　断面詳細図
A－22	平面詳細図　1
A－23	平面詳細図　2
A－24	平面詳細図　3
A－25	平面詳細図　4
A－26	平面詳細図　5
A－27	平面詳細図　6
A－28	平面詳細図　7
A－29	平面詳細図　8
A－30	平面詳細図　9
A－31	平面詳細図　１０
A－32	平面詳細図　１１
A－33	平面詳細図　１２
A－34	平面詳細図　１３
A－35	平面詳細図　１４
A－36	平面詳細図　１５
A－37	平面詳細図　１６
A－38	平面詳細図　１７
A－39	平面詳細図　１８

図面番号	図　面　名　称
A－40	平面詳細図　１９
A－41	展　開　図　1
A－42	展　開　図　2
A－43	展　開　図　3
A－44	展　開　図　4
A－45	展　開　図　5
A－46	展　開　図　6
A－47	展　開　図　7
A－48	展　開　図　8
A－49	展　開　図　9
A－50	展　開　図　１０
A－51	展　開　図　１１
A－52	展　開　図　１２
A－53	展　開　図　１３
A－54	展　開　図　１４
A－55	展　開　図　１５
A－56	展　開　図　１６
A－57	展　開　図　１７
A－58	展　開　図　１８
A－59	展　開　図　１９
A－60	展　開　図　２０
A－61	1 階　天 井 伏 図
A－62	2 階　天 井 伏 図
A－63	3 階　天 井 伏 図
A－64	1 階 建 具 伏 図
A－65	2 階 建 具 伏 図
A－66	3 階 建 具 伏 図
A－67	R 階 建 具 伏 図
A－68	建　具　表　1　　ＳＴＤ・ＡＤ・ＡＣＷ
A－69	建　具　表　2　　ＡＷ
A－70	建　具　表　3　　ＳＦ・ＳＷ・ＳＤ
A－71	建　具　表　4　　ＣＳ・ＳＳ
A－72	建　具　表　5　　ＬＳＤ
A－73	建　具　表　6　　ＳＰＴ・ＳＬＷ
A－74	建　具　表　7　　ＴＢ
A－75	各室面積表
A－76	採光・換気・排煙計算　1
A－77	採光・換気・排煙計算　2
A－78	1 階 家 具 伏 図
A－79	2 階 家 具 伏 図
A－80	3 階 家 具 伏 図
A－81	家　具　図　1
A－82	家　具　図　2
A－83	家　具　図　3
A－84	家　具　図　4
A－85	家　具　図　5
A－86	部分詳細図　1　　標準図

図面番号	図　面　名　称
A－87	部分詳細図　2　　ハニカムパネル庇
A－88	部分詳細図　3　　ＡＣＷ４
A－89	雑 詳 細 図 1
A－90	雑 詳 細 図 2
A－91	雑 詳 細 図 3
A－92	雑 詳 細 図 4
A－93	雑 詳 細 図 5
A－94	外　構　配　置　図
A－95	外 構 詳 細 図　1
A－96	**外 構 詳 細 図　2**
A－97	エレベーター詳細図　1号機　1
A－98	エレベーター詳細図　1号機　2
A－99	エレベーター詳細図　2号機　1
A－100	エレベーター詳細図　2号機　2
A－101	太陽光発電システム図　1　　仕様書
A－102	太陽光発電システム図　2　　単線系統図
A－103	太陽光発電システム図　3　　機器図
A－104	サインアイテムリスト
A－105	配置サインキープラン
A－106	1階サインキープラン
A－107	2階サインキープラン
A－108	3階サインキープラン
A－109	サイン詳細図　1
A－110	サイン詳細図　2
A－111	サイン詳細図　3
A－112	車庫棟　　防火区画　床面積表　採光・換気・排煙計算
A－113	車庫棟　　仕上表　平面図
A－114	車庫棟　　立面図　断面図
A－115	車庫棟　　矩計図
A－116	車庫棟　　平面詳細図
A－117	車庫棟　　展開図
A－118	車庫棟　　建具伏図　建具表
A－119	車庫棟　　雑詳細図
A－120	倉庫棟　　床面積表
A－121	倉庫棟　　仕上表　平面図
A－122	倉庫棟　　立面図　断面図
A－123	倉庫棟　　矩計図
A－124	倉庫棟　　階段詳細図
A－125	倉庫棟　　建具伏図　建具表
A－126	倉庫棟　　雑詳細図
A－127	日影図
A－128	浄化槽設備　配筋図・浸透槽図（参考）

図面番号	図　面　名　称
S－1	構造設計標準仕様
S－2	鉄筋コンクリート造標準図－１
S－3	鉄筋コンクリート造標準図－２
S－4	鉄骨構造標準図－１
S－5	鉄骨構造標準図－２
S－6	デッキ合成スラブ設計・施工標準
S－7	ハイベースNEO工法設計施工標準
S－8	ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例
S－9	柱状図－１
S－10	柱状図－２
S－11	柱状図－３
S－12	＜庁舎棟＞　杭伏図
S－13	＜庁舎棟＞　基礎伏図
S－14	＜庁舎棟＞　基礎詳細図
S－15	＜庁舎棟＞　鉄骨部材リスト
S－16	＜庁舎棟＞　杭芯線図
S－17	＜庁舎棟＞　２階梁伏図
S－18	＜庁舎棟＞　３階梁伏図
S－19	＜庁舎棟＞　Ｒ階梁伏図
S－20	＜庁舎棟＞　軸組図－１
S－21	＜庁舎棟＞　軸組図－２
S－22	＜庁舎棟＞　軸組図－３
S－23	＜庁舎棟＞　軸組図－４
S－24	＜庁舎棟＞　軸組図－５
S－25	＜庁舎棟＞　鉄骨詳細図－１
S－26	＜庁舎棟＞　鉄骨詳細図－２
S－27	＜庁舎棟＞　鉄骨詳細図－３
S－28	＜庁舎棟＞　鉄骨詳細図－４
S－29	＜庁舎棟＞　鉄骨詳細図－５
S－30	＜庁舎棟＞　鉄骨詳細図－６
S－31	＜庁舎棟＞　鉄骨詳細図－７
S－32	＜車庫棟＞　柱状地盤改良伏図　基礎伏図
S－33	＜車庫棟＞　基礎詳細図
S－34	＜車庫棟＞　鉄骨部材リスト　柱芯線図　梁伏図
S－35	＜車庫棟＞　軸組図
S－36	＜車庫棟＞　鉄骨詳細図
S－37	＜倉庫棟＞　柱状地盤改良伏図　基礎伏図
S－38	＜倉庫棟＞　基礎詳細図
S－39	＜倉庫棟＞　鉄骨部材リスト　柱芯線図　梁伏図
S－40	＜倉庫棟＞　軸組図
S－41	＜倉庫棟＞　鉄骨詳細図－１
S－42	＜倉庫棟＞　鉄骨詳細図－２

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事

青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺　－　　単位　ＭＭ

検　印			担　当	製　図	製　図

平成３１年　３月　作製

Ａ　一　００

図面名称　図面リスト

管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

青森県県土整備部建築住宅課　建築工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1	工事場所	青森県上北郡野辺地町字野辺地　359-1,375-1,377-1,　字浜掛　51-8,52-1,52-2,53-1,54,55-1,55-2
2	用途地域	第二種住居地域、近隣商業地域
3	公害規制等地域・地区	防火地域：指定なし
4	敷地面積	7,860.03 ㎡

5　工事内容

1）新営工事

棟名	庁舎棟	車庫棟	倉庫棟	
用途	事務所	自動車車庫	倉庫	
工事種別	新築	新築	新築	
構造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	
建築面積	1,578.06 ㎡	329.48 ㎡	173.00 ㎡	
延べ床面積				
階				
階				
階				
3　階	765.99 ㎡			
2　階	1,348.81 ㎡		173.00 ㎡	
1　階	1,367.66 ㎡	320.02 ㎡	173.00 ㎡	
計	3,482.46 ㎡	320.02 ㎡	346.00 ㎡	
摘要	耐震安全性の分類 構造体（・Ⅰ類 ⊙Ⅱ類 ・Ⅲ類） 建築非構造部材（⊙A類 ・B類）	耐震安全性の分類 構造体（・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ⊙Ⅲ類） 建築非構造部材（・A類 ⊙B類）	耐震安全性の分類 構造体（・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ⊙Ⅲ類） 建築非構造部材（・A類 ⊙B類）	

2）改修工事

棟名				
用途				
床面積				
改修部分	・防水・外壁・建具・内装 ・塗装・耐震・その他	・防水・外壁・建具・内装 ・塗装・耐震・その他	・防水・外壁・建具・内装 ・塗装・耐震・その他	・防水・外壁・建具・内装 ・塗装・耐震・その他
摘要				

6　その他（施工条件等）

Ⅱ　建築工事仕様

1　質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（平成28年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」による。

2　特記事項

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印が付いている場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、前述両標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項	
① 一般共通事項	① 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図	国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　（平成22年版）
		※ 工事写真の撮り方	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　（平成24年版）
		※ 青森県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン	青森県県土整備部建築住宅課　（平成29年 4月）
		⊙ 『青森県公共事業景観形成基準』及び『青森県景観色彩ガイドプラン』青森県景観条例	
		⊙ 防犯に配慮した設計ガイドライン	
		※ 青森県認定リサイクル製品優先使用指針	青森県環境生活部　（平成20年 4月）
		・	
	2　概成工期	工事期限より＿＿日前	(1.1.2)(1.2.1)
	③ 電気保安技術者	・ 電気主任技術者　※ 監督職員の承諾を受けた者	(1.3.3)
	④ 発生材の処理等	1. 発生材（建設副産物）と処理方法	(1.3.11)

種別	対象品目	分析調査
・ 発注者へ引渡しを要するもの	※ PCB含有機器類 ※ 微量PCB ※ PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材	 要 ・ 不要 要 ・ 不要
・ 再利用を図るもの	・	
⊙ 再資源化を図るもの（注1）	※ コンクリート塊　※ 小形二次電池 ※ ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊　・ 蛍光ランプ ※ 建設発生木材　・ HIDランプ ※ 建設汚泥　・ ガラス ※ 建設混合廃棄物　・ 硬質ポリ塩化ﾋﾞﾆﾙ管・継手 ※ 金属類　・	
・ 処理に注意を要するもの	・ CCA処理木材　・ せっこうボード ・ 0.1%を超えて石綿を含有するもの ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード	
・ 特別管理産業廃棄物	・ 廃石綿（除去作業に使用した保護具及び養生材を含む） ・ ・ 廃油 ・ 廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン含有廃棄物	特記24.6による 要 ・ 不要 要 ・ 不要 要 ・ 不要 要 ・ 不要
・ 特殊な建設副産物	・ フロン ・ ハロン ・ 煙感知器(イオン化式) ・ 六ﾌｯ化硫黄(SF6)ｶﾞｽ ・ PFOS ・ 特定化学物質（　　）	要 ・ 不要 要 ・ 不要 要 ・ 不要 要 ・ 不要 要 ・ 不要 要 ・ 不要

（注1）上記以外の廃棄物についても、可能な限り再資源化に努めること。

2. 簡易型建設副産物実態調査

本工事は、建設副産物情報交換システム（（通称COBRIS）以下「システム」という。）の登録対象工事であることから、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報の変更が 生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。なお、これにより難い場合には、監督職員と協議するものとする。

1）再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書
再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合は、施工計画書に含め監督職員に提出する。

2）再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書
再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合は、工事完了後速やかに実施状況を記録した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出する。

章	項目	特記事項	
① 一般共通事項	⑤ 材料の品質等	1. 本工事に使用する材料・機材等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。	(1.4.2)
		2. 「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(平成　　年版)による。	
		3. 本県に本店、支店、営業所を有するメーカー製品及び可能な限り県産材を使用すること。	
		4. 化学物質を放散する建築材料等 1） 建材・施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないもの又は放散が十分に少ないものをＪＩＳまたはＪＡＳ等を参考に適切に選択すること。ホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆を原則とし、該当する材料等がない場合は、施工面積に十分注意した上でＦ☆☆☆を使用すること。 2） 接着剤はホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が極めて少ないもの、または含有量が少なく難揮発性の可塑剤を使用しているものとし、ホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆を原則とすること。 3） 仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した化学物質等安全データシートの内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。 4） 接着剤・塗料等の使用に当たっては、使用方法や使用量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。	
		5. 使用する材料は、JIS Z 7253（ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ））による安全データシート（ＳＤＳ)等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しないこと。	
		6. 「青森県リサイクル製品認定制度」に基づく認定リサイクル製品及び「レッツbuyあおもり新商品事業」により認定された新商品の使用について 1）「青森県リサイクル製品の認定及び使用の推進に関する条例」(青森県リサイクル製品認定制度)第９条第１項の規定により制定された、「青森県認定リサイクル製品優先使用指針」に基づき工事が実施されるように努めること。 2） 認定リサイクル製品を使用する場合は、監督職員の指示する様式に必要事項を記入し、公衆の見やすい場所に掲示すること。 3） 認定リサイクル製品若しくは認定された新商品を使用した場合は、工事完了後、監督職員の指示する様式に必要事項を記入のうえ提出すること。	
	⑥ 技能士		(1.5.2)

工事種別	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	構造物鉄工作業
	とび	とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	ブロック建築	コンクリートブロック工事作業
	ＡＬＣパネル施工	ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	アスファルト防水工事作業
		ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
		アクリルゴム系塗膜防水工事作業
		合成ゴム系シート防水工事作業
		塩化ビニル系シート防水工事作業
		セメント系防水工事作業
		シーリング防水工事作業
		改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
		ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	石張り作業
タイル工事	タイル張り	タイル張り作業
木工事	建築大工	大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	内外装板金作業
	スレート施工	スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業
	建築板金	内外装板金作業
左官工事	左官	左官作業
建具工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	ガラス工事作業
	自動ドア施工	自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	ガラス工事作業
塗装工事	塗装	建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	プラスチック系床仕上工事作業
		カーペット系床仕上作業
		ボード仕上工事作業
	表装	壁装作業
排水工事	配管	建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカー工事作業
		加熱ペイントマシンマーカー作業
植栽工事	造園	造園工事作業

⑦ 特別な材料の工法

公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

⑧ 施工中の環境保全等

施工に使用する建設機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型建設機械とすること。

⑨ 化学物質の濃度測定

工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督職員に提出すること(5.9)

また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督職員と協議すること。

1. 測定対象化学物質　※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン

2. 測定対象室・測定箇所数　※ 図 示

3. 測定方法

1）空気の採取

※ 拡散方式（※ 測定バッヂ　・ パッシブサンプラー　・ パッシブガスチューブ）　・ 吸引方式

2）測定・分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下と相関の高い方法によって行うこともできる。

ホルムアルデヒド　高速液体クロマトグラフ法

揮発性有機化合物　ガスクロマトグラフィー質量分析法

⑩ 技術検査

技術検査時に、工事写真等を電子データにより検査する際に必要となる機器の準備及び操作は受注者が行う。　(1.6.1・2)

工事施工途中における技術検査(「中間検査」)は下表を原則とし、監督職員と協議すること。

1)新営工事

構造	検査工程
・ RC造（SRC造含む）にあっては、３階建て以上のもの又は延べ面積が５００㎡を超えるもの	1. 基礎工事完了時 2. 躯体工事完了時　（原則１階）
⊙ S造にあっては、３階建て以上のもの又は延べ面積が５００㎡を超えるもの並びに２０ｍを超えるスパンを有するもの	1. 基礎工事完了時 2. 鉄骨建方完了時
・ W造にあっては、延べ面積が５００㎡を超えるもの	1. 軸組完了時
・ 用途、構造及びその他の事由により必要と認められるもの	・ 基礎工事完了時 ・ 躯体工事完了時 ・

章	項目	特記事項
① 一般共通事項		2)改修工事 ・ 躯体の改修又は補修が工事に含まれ、仕上げ工事により品質の確認が困難と予想される場合は、改修又は補修工法の施工完了時に行う。 ・ 屋根等の主要な工事部分について、工事施工中の仮設足場がなければ確認困難と予想される場合は、仮設足場撤去前に新営工事に準じて行う。 ・ 発注者が必要と認めた工程(別途監督職員の指示による)
	⑪ 工事の下請負	1. 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1） 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2） 下請負者が青森県の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。 3） 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 2. 受注者は、工事を下請負に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用すること。
	⑫ 報告書	1. 施工体制台帳及び施工体系図 1） 下請負業者と契約締結後速やかに、施工体制台帳及び施工体系図各１部を監督職員に提出すること。 2） 施工体台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うこと。 2. 主要機器資材メーカー報告書 使用する主要機器資材メーカー報告書１部を監督職員に提出すること。 3. 技能士報告書 本章第6項で技能士が適用された場合は、報告書１部を監督職員に提出すること。
	⑬ 工事の一時中止	1. 工事の一時中止に係る計画の作成 契約書第２０条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けること。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにすること。 2. 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	⑭ 完成時の提出図書等	1. 完成時の提出図書 (1.7.1～3)

提出図書等		部数	備考
完成写真（改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れる）		※ 4部 ・ 部	・ 電子納品
工事写真		3部	※電子納品
完成図	※ 二つ折り製本	※ 2部 ・ 部	
	※ Ａ４判二つ折り製本	※ 1部 ⊙ 2部	
	・ 黒表紙金文字入製本(折りたたみ→A4)	・ 部	
	※ CADによるSXF(P21)形式、オリジナル形式及びPDF形式（全ての図面及び特記仕様書を1つのPDFファイルにまとめDRAWINGFファイルフォルダに格納）	3部	※電子納品
	※ 施工図	3部	※電子納品
	※ 原図　※ 完成図　・ 施工図	1部	
施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものをとりまとめたもの)		1部	
承認図		1部	
保全に関する資料(様仕(1.7.3)(a)に示す内容)		※ 2部 ・ 部	
工事関係資料		2部	※一部電子納品
その他監督職員が指示する書類		監督職員の指示による	

2. 電子納品は「青森県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン」による。

3. 提出図書等は、イージーキャビネットA4判外箱付き（ESC-101 W365*H290*D450 同等品）に納めて納入すること。
また、外装に工事番号及び工事名を記入すること。

4. 貸与されたＣＡＤデータは本工事における施工図及び竣工図の作成のため以外に使用しないこと。

⑮ 設備工事との取り合い	第33章(工事取り合い区分表)による	
⑯ 設計仏	※ 図示　・ 現状平均地盤高　・ 監督職員の指示による	
⑰ 建築基準法に基づき定められた風速、地表面粗度区分及び多雪地域の指定	風速(Vo)　34 (m/sec)	(様仕・改修様仕共通)
	地表面粗度区分　・ Ⅰ　・ Ⅱ　⊙ Ⅲ　・ Ⅳ	
	⊙ 多雪地域の指定　⊙ 青森県建築基準法施行細則第１１条の２ ・ 青森市建築基準法施行細則第３３条 ・ 弘前市建築基準法施行細則第１７条 ・ 八戸市建築基準法施行細則第１８条	

章	項目	特記事項	
② 仮設工事	① 足場その他	足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）２．２．４（ｂ）によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。	(2.2.4)
	2　既存部分の養生	・ 養生の方法等 ・ 既存部分　養生の方法（ ※ ビニールシート、合板等　・　　） ・ 既存家具等　養生の方法（ ※ ビニールシート等　・　　） ・ 既存ブラインド、カーテン等　養生の方法（ ・ ビニールシート等　・　　） 保管場所（ ・ 図示　・　　） ・ 備品、机、ロッカー等の移動　（ ・ 図示　・　　）	(改2.3.1)
	3　仮設間仕切り	・ 仮設間仕切り及び仮設扉の設置場所　・ 図示　・	(改2.3.2)

・ 仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ材（厚さ mm）	塗装	充填
・ A種	・ 木	・ 石こうボード (9.5)	・ 無し	グラスウール
	・ 軽量鉄骨	・ 合板 (9)	・ 片面	厚さ mm
・ B種		・		
※ C種	単管	防炎シート		

・ 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装
※ 木製	※ 合板張り程度	・ 無し
・	・	・ 片面
・	・	

④ 監督職員事務所	⊙ 設ける　・ 設けない	(2.3.1)
⑤ 監督職員事務所の備品等	設ける場合の仕上げは下表を標準とする。 部位等仕　上 床　合板張又はビニル床シート張 内壁・天井　合板又はせっこうボード張、合成樹脂エマルションペイント塗 屋根　塗装溶融亜鉛めっき鋼板張、又は鉄板張のうえ調合ペイント塗 備品は次のものを標準とし備えること。 保護帽、ゴム長靴、雨ガッパ、机、いす、ホワイトボード、懐中電灯、消火器、電話、書棚、衣類ロッカー、掛時計、温度計、冷暖房機器、湯沸かし器	
⑥ 工事用水	構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
⑦ 工事用電力	構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
⑧ 交通整理員	⊙ 置く　・ 置かない	

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 －	単位 ＭＭ	平成３１年　３月　作製
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印	担当 製図 製図 製図	特 ― 01
図面名称　特記仕様書１	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正		

章	項目	特記事項

土工事

③ ① 埋戻し及び盛土

種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2.1)

C種の場合 (建設発生土受入量 m3 発生場所)

② 建設発生土の処理

※ 構外搬出適正処理 (参考標準運搬距離 2.0 km) (3.2.5)

・ 構内指示の場所に敷き均し

・ 構内指示の場所に堆積

・ 構外指示の場所に処分 受入れ施設名

受入れ場所

仮置場所

搬出調書等を提出する。

③ 山留めの撤去

山留めの存置 ⊙ しない ・ する (3.3.3)

地業工事

④ ① 試験杭 (4.2.2)

	記号	杭径(mm)	長さ(m)及び種別	継手箇所数	長期設計支持力 (KN/本)	本数(ｾｯﾄ数)
試験杭	◎	φ400	15.0m (CPRC＋節付PHC)	1ヶ所	850	1

2 杭の載荷試験

・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 (4.2.3)

位置及び載荷荷重 ※ 図示 ・

3 地盤の載荷試験

平板載荷試験 (4.2.4)

位置及び載荷荷重 ※ 図示 ・

杭・地盤の試験の方法及び報告書の記載事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部「数地調査共通仕様書」を標準とする。

④ 既製コンクリート杭地業

杭の種類 (4.3.2)

⊙ プレストレストコンクリート杭 (・ JIS規格品 ⊙ 評価品)

・ (・ JIS規格品 ・ 評価品)

材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 種

	記号	杭径(mm)	長さ(m)及び種別	継手箇所数	長期設計支持力 (kN/本)	本数(ｾｯﾄ数)
	○	φ400	15.0m (CPRC＋節付PHC)	1ヶ所	850	104
本 杭						

先端部形状 ・ 閉そく平たん形 ・ 開放形 ・ (4.3.2)

杭の施工法

・ 打込み工法 設計支持力 ※ 図示 ・ (4.3.3)

・ 打撃工法 ・ プレボーリング併用打撃工法(掘削深さ・径は図示による)

推定支持力の算定※ (式4.3.1)による

・ セメントミルク工法 支持地盤 ※ 図示 ・ (4.3.4)

支持地盤掘削深さ アースオーガー ※ 1.5m ・ m

支持地盤根入深さ 杭 ※ 1.0m以上 ・ m

・ 特定埋込杭工法 工法 ⊙ プレボーリング拡大根固め工法 (4.3.5)

支持地盤 ※ 図示 ・

杭の精度 ※ 図示 ・ (4.3.3)～(4.3.5)

継手 ※ アーク溶接 ⊙ 無溶接(工法 ・) (4.3.6)

杭頭の処理 ※ 所定の高さに切りそろえる (4.3.7)

杭打機の種類 ハンマー種別 ※ 低騒音型油圧パイルハンマー ・ ドロップハンマー

パイルドライバー ※ 三点支持式クローラークレーン

5 鋼杭地業

工法 ※ 図示 ・ (4.4.1)

材料 (4.4.2)

種類の記号	寸法(mm)
・ SKK400 ・ SKK490	
・ SHK400 ・ SHK490M	
・ STK490	

先端部形状 ※ 開放形 ・

先端部補強 ※ ((図4.4.1)、(表4.4.2)による)

継手 現場継手の形状 ※ JISA5525(鋼管ぐい)による (4.4.5)

溶接部の確認 ※ (4.3.6(e))に準ずる

6 場所打ちコンクリート杭地業

工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ 鋼管コンクリート杭工法 ・ 拡底杭工法 (4.5.1)

帯筋 ※ 標仕別図[各部配筋参考図]2.2[帯筋組立の形及び割付け]④丸形(ロ)による ・ (4.5.3)

鉄筋かごの補強 ※ 4.5.3 (2) (ⅲ)による ・ 図示 ・

かぶり厚さ ※ 100mm ・ mm

コンクリートの種類 ※ 高炉セメントB種 ・

コンクリートの設計基準強度 (Fc) ・ N/mm2

構造体強度補正 ※3N/mm 2 ・ 図示 ・ N/mm2

コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種 (表4.5.1)

・ アースドリル工法、リバース工法及びオールケーシング工法 支持地盤 ※ 図示 ・ (4.5.4)

孔壁の確認(超音波測定器) ・ 行う ・ 行わない

・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び拡底杭工法 支持地盤 ※ 図示 ・ (4.5.5)

孔壁の確認(超音波測定器) ・ 行う ・ 行わない

杭の精度 ※ 図示 ・

⑦ 砂利及び砂地業

砂利地業の材料 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 (4.6.2)

厚さ ※ 60mm ・ mm ・ 図示 (4.6.3)

⑧ 捨コンクリート地業

厚さ ※ 50mm ・ mm ・ mm (4.6.4)

⑨ 床下防湿層

範囲 ※ 建物内土間床板及び土間コンクリート下(ビット下除く) ・ (4.6.5)

10 地盤改良

工法 ※ 図示 ・

11 六価クロム溶出試験

地盤改良工事等でセメント及びセメント系固化材を使用する場合は、六価クロム溶出試験要領により、試験を実施し試験結果(計量証明書)を監督職員に提出すること。

配合設計段階 検体

施工段階 検体

鉄筋工事

⑤ ① 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	径 (mm)
※ SD295A	※ D16以下 ・
※ SD345	※ D19以上 ・
・ SD390	

② 溶接金網 (5.2.2)

網目の形状、寸法 (mm)	鉄線の径 (mm)
150×150	φ6

章	項目	特記事項

鉄筋工事

③ 鉄筋の継手 (5.3.4)(表5.3.3)(5.5.2-3)

部 位	継 手	重ね継手の長さ
柱・梁の主筋	※ ガス圧接 ・ (径 以下、部位)	※(表5.3.3)による
その他	※ 重ね継手 ・ ガス圧接 ・ 機械式継手(種類:)	※(表5.3.3)による
	・ 溶接継手(工法:)	

・ 柱、梁の主筋の同一箇所の継手(先組工法等) (5.3.4)

④ 鉄筋かぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)

かぶり厚さは目地底から算定する。

・ 耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施工箇所等	
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打増し面	※ 10 ・

・ 軽量コンクリートの場合

構造部分の種別		最小かぶり厚さ (mm)
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁	・
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	・

・ 機械式継手及び溶接継手の鉄筋相互のあき ・ mm ・

⑤ 各部配筋

※ 図示 ・ 公共建築工事標準仕様書各部配筋参考図1節「基礎及び基礎梁の配筋」から7節「梁貫通孔及びその他の配筋」による (5.3.7)

⑥ 圧接完了後の試験

※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 (5.4.9)

⑦ 基礎及び基礎梁の配筋

・ 杭基礎 既製コンクリート杭の杭頭補強 ※ 図示

・ 直接基礎の配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図1.1による (各部配筋参考図1.1)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

鉄筋の間隔 (mm) 又は本数 ※ 図示 ・ 間隔 mm ・

基礎の形状 ※ 図示

基礎の底面の仏面からの深さ及び基礎スラブの厚さ ※ 図示

はかま筋の有無 ※ 図示 ・ 有 ・ 無

⊙ 基礎接合部の補強配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図1.2による (各部配筋参考図1.2)

⊙ 基礎梁主筋の継手、定着及び余長 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図1.3による (各部配筋参考図1.3)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

⊙ 基礎梁のあばら筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図1.4による (各部配筋参考図1.4)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

⑧ 柱の配筋

・ 柱主筋の継手、定着及び余長 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図2.1による (各部配筋参考図2.1)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

継手の方法 ※ 図示 ・

かぶりの厚さ ※ 図示 ・ かぶり厚 mm

・ 柱頭定着長さLｄが確保できない場合 ※ 図示 (構造計算等により必要長さの確認を行い図面化する)

・ 帯筋 帯筋の種類及び間隔 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図2.2による (各部配筋参考図2.2)

・ 組立の形 ※ H形 ・

・ 帯筋の割付 ※ 図示 ・ [図2.3帯筋の割付け]による ・

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

帯筋の間隔 ※ 図示 ・ 間隔 mm

・ 柱の打増し補強 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図2.3による (各部配筋参考図2.3)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

軸方向の補強筋本数 ※ 図示 ・ 本

打増し幅 ※ 図示 ・ mm

⑨ 梁の配筋

・ 大梁主筋の継手、定着及び余長 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図3.1による (各部配筋参考図3.1)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

ハンチ部分の傾斜 ※ 図示 ・ 1：4 ・

・ 梁ハンチの傾斜 ※ 図示 ・ [図3.2段違い梁]による ・

・ あばら筋の組立の形及び割付け等 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図3.2による (各部配筋参考図3.2)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

あばら筋組立の形 ※ 図示 ・

・ 梁の打増し補強 打増しが200mmを超える場合 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図3.3による (各部配筋参考図3.3)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

軸方向の補強筋本数 ※ 図示 ・ 本

打増し幅 ※ 図示 ・ mm

・ 小梁主筋の継手、定着及び余長 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図3.4による (各部配筋参考図3.4)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

・ 片持梁主筋の継手、定着及び余長 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図3.5による (各部配筋参考図3.5)

⑩ 壁及びその他の配筋

・ 壁の基準配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図4.1による (各部配筋参考図4.1)

・ 壁の基準配筋(片持受) ・ KW1 ・ KW2 ・ 図示

壁の厚さ ※ 図示 ・ mm

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

・ 壁の継手及び定着 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図4.2による (各部配筋参考図4.2)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

壁筋の間隔 ※ 図示 ・ 間隔 mm

・ 壁の交差部及び端部の配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図4.3による (各部配筋参考図4.3)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

・ 壁の開口部補強 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図4.4による (各部配筋参考図4.4)

・ 壁開口部の補強筋(耐震壁以外) ※ B形 ・ A形 (表4.3～4)

・ 耐震壁の補強筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図4.5による (各部配筋参考図4.5)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

筋筋及び横筋の間隔 ※ 図示 ・ 間隔 mm

打増し幅 ※ 図示 ・ mm

・ コンセントボックス等の埋込補強 ※ 図示

・ 壁の打増し補強 ※ 図示

・ パラペットの配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図4.6による (各部配筋参考図4.6)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

筋筋及び横筋の間隔 ※ 図示 ・ 間隔 mm

コンクリートの厚さ ※ 図示 ・ mm

章	項目	特記事項

鉄筋工事

⑪ スラブの配筋

⊙ スラブの基準配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.1による (各部配筋参考図5.1)

配筋種別 ※ 図示 ・

スラブの厚さ ※ 図示 ・ mm

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

⊙ スラブ筋の定着及び受け筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.2による (各部配筋参考図5.2)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

・ 片持スラブの基準配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.3による (各部配筋参考図5.3)

配筋種別 ※ 図示 ・

スラブの厚さ ※ 図示 ・ mm

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

・ 片持スラブの先端に壁が付く場合の配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.4による (各部配筋参考図5.4)

⊙ スラブの開口部補強 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.5による (各部配筋参考図5.5)

⊙ 出隅部及び入隅部の補強配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.6による (各部配筋参考図5.6)

配筋種別 ※ 図示 ・

スラブの厚さ ※ 図示 ・ mm

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

鉄筋の間隔 (mm) 又は本数 ※ 図示 ・ 間隔 mm ・

・ スラブの打継ぎ補強配筋等 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.7による (各部配筋参考図5.7)

⊙ 段差のあるスラブの補強配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図5.8による (各部配筋参考図5.8)

12 階段の配筋

・ 片持ちスラブ形階段の基準配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図6.1による (各部配筋参考図6.1)

配筋種別 ※ 図示 ・

スラブの厚さ ※ 図示 ・ mm

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

・ 二辺固定スラブ形階段の基準配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図6.2による (各部配筋参考図6.2)

配筋種別 ※ 図示 ・

スラブの厚さ ※ 図示 ・ mm

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

⑬ 梁貫通孔及びその他の配筋

⊙ 梁貫通孔の配筋 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図7.1による (各部配筋参考図7.1)

⊙ 梁貫通孔の補強形式 ※ 図示 ・ 各部配筋参考図7.2による (各部配筋参考図7.2)

配筋種別 ※ 図示 ・

※ H形 ・ MH形 ・ M形 (表7.1～3)

・ 評価品(国土交通省、日本建築センター)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

・ コンクリートブロック張壁との取合い ※ 図示 ・ 各部配筋参考図7.3による (各部配筋参考図7.3)

鉄筋の種類 ※ 図示 ・ D295A ・ SD345 ・ SD390

呼び径 (mm) ※ 図示 ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・

・ 機械吊上げ用フック ※ 図示

コンクリート工事

① コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.2.1)

② コンクリートの類別 ※ Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6.2.1)(表6.2.1)

③ コンクリートの強度 ※ 普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)

設計基準強度 Fc (N/mm2)	適 用 箇 所
◎ 24	基礎、基礎梁、土間スラブ
・ 21	
⊙ 18	捨てコンクリート、かさ上げコンクリート

・ 軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc (N/mm2)	適 用 箇 所
※ 24	
・ 21	
・ 18	

④ スランプ 基礎、基礎梁、土間スラブ ⊙ 15cm ・ 18cm ・ cm (6.2.4)(表6.2.2)

柱、梁、スラブ、壁 ※ 18cm ・ cm

⑤ 構造体コンクリートの仕上り 部材の位置及び断面寸法の許容差 (6.2.5)(表6.2.3)

許 容 差	部 位
※ 表6.2.3による	※ 表6.2.3による
・	

打放仕上げの種別 (表6.2.4)

種 別	施 工 箇 所
・ A種	
※ B種	
・ C種	

仕上りの平たんさ (表6.2.5)

許 容 差	部 位
※ 表6.2.5による	※ 表6.2.5による
・	

⑥ セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメントまたは混合セメントのA種 (6.3.1)

上記普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210(ポルトランドセメント)に示された規定の他、次の規定に適合するものとする。

水和熱は7日目で352J/g以下、28日目で402J/g以下とする。

セメントの種類	適 用 箇 所
・ ・ 高炉セメントのB種	
・	

⑦ 骨材 骨材のアルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)

JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) の附属書A(規定) [レディーミクストコンクリート用骨材]及び

JIS A 5005 (コンクリート用砕石及び砕砂) のアルカリシリカ反応性 (化学法) による区分A (無害と判定されたもの) とする。

ただし、構造体に関する耐震安全性の分類がⅠ類以外の建築物で、地域等によって区分Bの骨材を使用せざるを得ない

場合、監督職員と協議し、次のいずれかの方法により承諾を受けた場合に限り使用できる。

1) (6.5.1式) によりアルカリ総量が3.0kg/m3以下であることを配合計画書により確認。

2) 抑制効果のある混合セメントを使用。

・ フェロニッケルスラグ細骨材、銅スラグ細骨材、電気炉酸化スラグ細骨材及び再生骨材Hの使用

⑧ 混和材料 ※ 混和剤 (※ 6.3.1(d)(ⅰ)による ・) (6.3.1)

・ 混和材 (※ 6.3.1(d)(ⅱ)による ・) (6.3.2)

・ 上記以外の混和材料 種 類 :

使用方法 :

使 用 量 :

⑨ 打継ぎ 目地寸法 ※ 9.7.3(a)(1)による ・ 図示 ・ (6.6.3)(9.7.3)

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 －	単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称	特記仕様書2
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		検 印 / 担 当 / 製 図 / 製 図		特 一 02	管理建築士 1級建築士登録第113986号	川島芳正

章	項目	特記事項

⑥ コンクリート工事

⑩ 型枠

外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ　※ 20mm　・　mm　(6.8.2)

ひび割れ誘発目地　(6.8.2)(9.7.3)

位置	形状及び寸法
・	※ 9.7.3(a)(1)による
・	・

せき板の材料　・ 表6.2.4による　・　(6.8.3)(表6.2.4)

合板を使用したせき板の厚さ　※ 12mm　・　mm　(6.8.3)

・ 断熱材を兼用した型枠材の使用

・ ＭＣＲ工法用シートの適用

スリーブに用いる材料　・ 鋼管　・ 硬質塩化ビニール管　・ 溶融亜鉛めっき鋼板　(表6.8.1)

・ つば付き鋼管　※ (6.8.3)(i)(2)による

11 軽量コンクリート

常時土あるいは水に直接接する部分　・ 用いる　・ 用いない　(6.10.1)

軽量コンクリートの種別　・ 1種　・ 2種　(表6.10.1)

スランプ　cm　(6.10.2)

所要気乾単位容積質量　kg/m3

12 寒中コンクリート

適用期間　・ 11月21日～ 3月31日　(6.11.1)

・

強度管理の材齢　日　(6.11.2)

調合管理強度及び調合強度の適用温度を積算温度をもとに定める

初期養生を行う期間　※ 5N/mm2に達するまで　・　(6.11.4･6)(表6.11.1)

13 暑中コンクリート

構造体強度補正値（S）　※ 6N/mm2　・　(6.12.1)

14 マスコンクリート

セメントの種類　・ 中庸熱ポルトランドセメント　(6.13.2)

・ 低熱ポルトランドセメント

・ 高炉セメントＢ種

・ フライアッシュセメントＢ種

・ 普通ポルトランドセメント

施 工 箇 所　（　　）

混和剤の種類　※ ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤　・

スランプ　※ 15cm　・　(6.13.2)

⑮ 無筋コンクリート　(6.14.1)

種類	設計基準強度	スランプ (cm)	施工箇所
・ 普通コンクリート	18N/mm2	⊙ 15cm ・ 18cm	捨てコンクリート
・	N/mm2	・ 15cm ・ 18cm	

16 流動化コンクリート

適用　・ 適用する　・ 適用しない　(6.15.1)

⑰ 品質管理

構造体に用いるコンクリート用骨材の品質試験を実施すること。

1. アルカリシリカ反応性試験の方法は化学法（ＪＩＳ Ａ １１４５）又は迅速法（ＪＩＳ Ａ １８０４）による。
2. 実施計画書
   コンクリート製造工場の選定後、速やかに品質試験実施計画書を作成し、監督職員に提出すること。
3. 試料の採取
   原則として受注者の立会いのもの試料の採取を行うこと。
4. 試験の実施
   計画調合書の作成前に、原則として試験機関に委託し実施すること。
   試験の実施後、6ヶ月を経過する都度及び産地が変わった場合には、再試験を実施すること。
5. 試験結果の報告
   試験の結果は書面により、速やかに報告すること。
6. その他
   アルカリシリカ反応性試験の結果、区分がBと判定された場合は、監督職員と協議すること。

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

※ 建築基準法第７７条の５６に基づき国土交通省から性能評価機関として認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター及び㈱全国鉄骨評価機構が工場のグレードを評価し、国土交通大臣から認定を受けた工場とする。

⊙ 鉄骨製作工場　・ Ｓ　・ Ｈ　⊙ Ｍ　・ Ｒ　・ Ｊ　（グレード）

国土交通大臣の認定書(写し)を監督職員に提出すること。

⊙ 施工管理技術者

② 鋼材　(7.2.1)(表7.2.1)

種類	規格番号
※ ＳＮ　400	※ 規格品(JIS G 3136)　・
⊙ ＳＳ　400	※ 規格品(JIS G 3101)　・
⊙ ＳＳＣ　400	※ 規格品(JIS G 3350)　・
・ ＳＴＫ	※ 規格品(JIS G 3444)　・
・ ＳＴＫＲ　400	※ 規格品(JIS G 3466)　・
⊙ ＢＣＲ　295	・ ＭＳＴＬ
・ ＳＮ　490	※ 規格品(JIS G 3136)　・
⊙ ＳＮ　490Ｃ	※ 規格品(JIS G 3136)

寸法　※ 図示　・

③ 高力ボルト

※ トルシア形　・ JIS形　・ 溶融亜鉛めっき　(7.2.2)

高力ボルトの径　※ 図示　・　Ｍ

④ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料　※ (表7.2.3)による　・　(7.2.3)

ボルトの径　※ 図示　・

⑤ アンカーボルト

アンカーボルトの材質　構造用　※ SNR400 (JIS G 3138)　・　(7.2.4)

建方用　※ SS400 (JIS G 3101)　・

アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、等級の規格及び仕上げの程度

種類の規格	等級の規格	仕上げの程度
※ 表7.2.3による	※ 表7.2.3による	※ 表7.2.3による
・	・	・

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法　形状　※ 図示　・

寸法　※ 図示　・

6 溶接材料

7.2.5(a)及び(b)以外の溶接材料　（　　）　(7.2.5)

⑦ ターンバックル

胴の種類　※ 割枠式　・　(7.2.6)

ボルトの種類　※ 羽子板ボルト　・

⑧ デッキプレート　(7.2.7)

種類	材質	形状及び寸法
・ 単独	・	・
⊙ 合成スラブ	・ 亜鉛メッキ鋼板	・ QL-99-50-12(山上80)
・ 床型枠(鋼製)	・	・
⊙ フラットデッキ	・ 図示	・ Ｉ型

9 レール

レールの形状及び寸法　※図示　・　(7.2.8)

⑩ 柱底均しモルタル

※ 7.2.9(b)による　・無収縮モルタル　(7.2.9)

11 材料試験等

板厚方向に引張力を受ける鋼板についての試験　(7.2.10)

適用箇所　※ 図示　・

⑫ 工作一般

工作図　高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※ 「建築鉄骨設計基準」による　・　(7.3.2)

製作精度　※ JASS6 鉄骨工事付則6 鉄骨精度検査基準 付表1から4による。　・　(7.3.3)

・ 仮組　(7.3.10)

⑬ 高力ボルト接合

摩擦面の性能及び処理　(7.4.2)

・ すべり係数試験　試験の方法（　　）　摩擦面の状態（　　）

ナット回転法　ボルトの長さが呼び径の5倍を越える場合の回転量　度　(7.4.7)

⑭ 溶接接合

技能資格者　・ 溶接技能者に対する技能付加試験　(7.6.3)

材料準備　開先の形状記号　※ 図示　・　(7.6.4)

溶接施工　※ エンドタブの切除はしない　(7.6.7)

・ 見え隠れ部エンドタブの切除　施工箇所：

・ 見え掛り部エンドタブの切除　施工箇所：

溶接部の余盛り高さ　JASS6 付則6 鉄骨精度検査基準 付表3による。

溶接部の試験　(7.6.11)

⊙ 超音波探傷試験

工場溶接の場合 平均出検品質限界(AOQL)　※ 4.0%　・ 2.5%

検査水準　※ 第6水準　・ 第　水準

工事現場溶接の場合出検品質限界(AOQL)　※ 4.0%　・　%

15 デッキプレート溶接

床構法の種別　※ 図示　(7.2.7)

・ 合成スラブ

・ 床型枠用

・

材料、形状及び寸法　※ 図示　・

鉄骨部材への溶接方法 ※ 図示　・　(7.7.8)

耐火認定　※ 図示　・ あり　・ なし

⑯ 錆止め塗装

塗料の種別　・ SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面　(7.8.3)

※ 表18.3.1のＡ種　・

・ 耐火被覆材接着面の塗装　種別：　種

⑰ 耐火被覆

種 別　・ 耐火材吹付け（ ・ 乾式工法　・ 半乾式工法　・ 湿式工法）　(7.9.2)

・ 耐火板張り

・ 耐火材巻付け

・ ラス張りモルタル塗り

性 能　・ 分耐火　・ 時間耐火　・ 図示

⑱ 工事現場施工

建て方精度　※ JASS6 付則6 鉄骨精度検査基準 付表5による。　・　(7.10.2)

アンカーボルト等の設置　(7.10.3)

⊙ 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法　※ 図示　・

⊙ 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　(表7.10.1)

⊙ ベースプレートの保持　柱底均しモルタルの厚さ　⊙ A種　※ 50mm　⊙ 30 mm

・ B種　※ 30mm　・　mm

柱底均しモルタルの工法　※ A種　・ B種　(表7.10.2)

19 軽量形鋼構造

ボルト接合　※ 普通ボルト接合　・　(7.11.2)

20 溶融亜鉛めっき工法

摩擦面　※ 表面粗度50μmRz以上　・　(7.12.4)

・ 摩擦面のブラスト以外の特別な処理とする場合のすべり耐力等の確認方法　※ 図示　・

⑧ コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類　(8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法 (mm) 長さ	高さ	適用箇所
※ 空洞ブロック－16				
・ 型枠状ブロック－20				
・				

コンクリートの調合　(8.2.4)

・ 表8.2.2以外のコンクリートの設計基準強度　※ 21N/mm2以上　・　N/mm2　(表8.2.2)

壁の配筋　※ 図示　・　(8.2.5)

まぐさの配筋　※ 図示　・

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類　(8.3.2)(表8.3.1)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法 (mm) 長さ	高さ	(表8.3.1)以外の適用箇所
※ 空洞ブロック－08				
※ 空洞ブロック－16				
・				

・ 化粧有りブロックの適用(塀の場合)

各部配筋　※ 図示　・　(8.3.3)

3 ＡＬＣパネル　(8.4.2～5)(表8.4.2～4)

パネルの種類	単位荷重(N/m²)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能(時間)	取付け工法種別
・ 外壁パネル					・ A種 ・ B種
・ 間仕切壁パネル					・ C種 ・ D種 ・ E種
・ 屋根パネル					・ (表8.4.4)
・ 床パネル					

床パネルの耐火性能　※ 時間　・ 無し　(8.4.2)

外壁パネルの構法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法であることを明記した施工計画書を提出する。　(8.4.3)

外壁パネル幅の最小限度　※ 300mm　・

外壁パネルの出隅及び入隅部のパネル接合部の目地幅　※ 20mm　・　mm

伸縮目地への耐火目地材の充填　・ 適用する　・ 適用しない

4 押出成形セメント板(ECP)　(8.5.2～5)(表8.5.1-2)

種類	表面形状	厚さ(mm)	巾(mm)	長さ(mm)	取付工法種別
・ 外壁パネル	⊙ フラットパネル(F)				・ A種 ・ B種
	⊙ デザインパネル(D)				
	・ タイルベースパネル(T)				
・ 間仕切壁パネル	⊙ フラットパネル(F)				・ A種 ・ B種
	・ デザインパネル(D)				
	・ タイルベースパネル(T)				

外壁パネルの工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法であることを明記した施工計画書を提出する。　(8.5.3)

外壁パネル相互の目地幅　※ 長辺8mm以上、短辺15mm以上　・

耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※ パネル製造所の仕様　・

外壁パネルの出隅及び入隅部のパネル接合部の目地幅　※ 15mm　・　mm

パネルの欠き込み等　欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。　(8.5.5)

		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
パネルに開口を設ける場合の開口限度	短辺	・ ・	図示	・ ・	図示
	長辺	・ ・	図示	・ ・	図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・ ・	図示	・ ・	図示
	長辺	・ ・	図示	・ ・	図示

5 その他

（　　）

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水　(9.2.2)

改質アスファルトルーフィングシート　種類　※標仕(表9.2.3～8)による　・

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート　種類　※標仕(表9.2.5～8)による　・

押え金物の材質及び形状寸法　※ アルミ製Ｌ－30×15×2.0 (mm)程度　・

断熱材　・ 屋根保護防水断熱工法　材質 ※ JIS A 9511によるA種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b（スキンあり）

又はJIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）

厚さ　※ 50mm　・　mm

⊙ 屋根露出防水断熱工法　材質 ※ JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号又若しくは２号で透湿係数を除く規格に適合するもの

又はJIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）

・ 耐熱型硬質ポリウレタンボード

厚さ　50　mm

絶縁シート　・ ポリエチレンフィルムt=0.15mm以上(屋根保護防水工法)

・ フラットヤーンクロス(70g/m²程度)(屋根保護防水断熱工法)

・

・ 防水立上り部乾式保護材の使用

防水層保護のレンガ　※ 普通レンガ及び化粧レンガ(JIS R 1250)　・

防水層の工法による種類及び工程による種別　(9.2.3)

・ 種別(※標仕(9.2.3)(1)～(7)による)　・ －1　・ －2　・ －3　・ －4

・ 立上り部保護コンクリートの適用

・ 脱気装置　種類　※ ルーフィング類製造所の指定製品　・

設置数量　※ ルーフィング類製造所の指定数量　・

・ 仕上げ塗装　種類　※ 製造所の指定製品　・

使用量　※ 製造所の指定数量　・

・ 屋根防水密着工法の保護層

・　(9.2.4)

防水層の立上り　※ コンクリート打放しB種　・ 均しモルタル(15章2節による)　・

屋根露出防水絶縁断熱工法断熱材の張りじまい位置　※ 図示　・

平場の保護コンクリート　厚さ　・ こて仕上げの場合　※ 80mm以上　・　mm　(9.2.5)

・ 床タイル張等の場合　※ 60mm以上　・　mm

⊙ 立上り部の保護　※ 図示　・

・ 屋上排水溝

2 改質アスファルトシート防水

改質アスファルトシートの種類及び厚さ　※ 標仕(表9.3.1～3)による　・　mm　(9.3.2)(表9.3.1～3)

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ　※ 標仕(表9.3.1～3)による　・　mm

屋根露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材　種類 ※ JIS A 9511によるＡ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号若しくは２号で透湿係数を除く規格に適合するもの

又はJIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号若しくは２号で透湿係数を除く規格に適合するもの

・

厚さ　mm

防水層の工程による種別　(9.3.3)(表9.3.1～3)

・ 屋根露出防水密着工法　種別　・ AS－Ｔ1　・ AS－Ｔ2　・ AS－Ｊ1

・ 仕上げ塗装　種類　※ 製造所の指定製品　・

使用量　※ 製造所の指定数量　・

・ 屋根露出防水絶縁工法　種別　・ AS－Ｔ3　・ AS－Ｔ4　・ AS－Ｊ1

・ 脱気装置　種類　※ 改質アスファルトシート製造所の指定製品　・

設置数量　※ 改質アスファルトシート製造所製造所の指定数量　・

・ 仕上げ塗装　種類　※ 製造所の指定製品　・

使用量　※ 製造所の指定数量　・

・ 屋根露出防水絶縁断熱工法　種別　・ ASI－Ｔ1　・ ASI－Ｊ1

防湿層　・ 設置する　・ 設置しない

・ 脱気装置　種類　※ 改質アスファルトシート製造所の指定製品　・

設置数量　※ 改質アスファルトシート製造所製造所の指定数量　・

・ 仕上げ塗装　種類　※ 製造所の指定製品　・

使用量　※ 製造所の指定数量　・

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

ルーフィングシートの種類　(9.4.2)

・ 均質シート　・ 加硫ゴム系　・ 非加硫ゴム系　・熱可塑性エラストマー系　・ 塩化ビニル樹脂系

・ エチレン酢酸ビニル樹脂系

・ 複合シート　・ 加硫ゴム系　・ 非加硫ゴム系　・熱可塑性エラストマー系　・ 塩化ビニル樹脂系

ルーフィングシートの厚さ、工法及び種別　(9.4.2～3)（表9.4.1～2）

工法種別	厚さ (mm)	施工箇所
・ Ｓ－Ｆ1	※ 1.2　・	
・ Ｓ－Ｆ2	※ 2.0　・	
・ Ｓ－Ｍ1	※ 1.5　・	
・ Ｓ－Ｍ2	※ 1.5　・	
・ Ｓ－Ｍ3	※ 1.2　・	
・ ＳＩ－Ｆ1	※ 1.2　・	
・ ＳＩ－Ｆ2	※ 2.0　・	
・ ＳＩ－Ｍ1	※ 1.5　・	
・ ＳＩ－Ｍ2	※ 1.5　・	

断熱工法に用いる断熱材の種類

・ 機械的固定工法　※ JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号又２号で透湿係数を除く規格に適合するもの、JIS A9511によるA種押出法ポリスチレンフォーム保温板JIS A9521による硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号又は２号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A9521による押出法ポリエチレンフォーム断熱材の１種b、２種b又は３種b

・

厚さ　mm

・ 接着工法　※ JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号又２号で透湿係数を除く規格に適合するもの、JIS A9511によるA種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板JIS A9521による硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号又は２号で透湿係数を除く規格に適合するもの、JIS A9521による押出法ポリエチレンフォーム断熱材の１種b、２種b又は３種b、JIS A 9511によるA種ポリエチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの又はJIS A9521によるポリエチレンフォーム本材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの

・

厚さ　mm

絶縁シートの材質　※ 発泡ポリエチレンシート　・

固定金具の材質　※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれら鋼板の片面又は両面に樹脂を積層加工したもの

・

厚さ　※ 0.4mm以上

・

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事
青森県Ａ１の２号	株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺	－	単位	ＭＭ				
検印			担当	製図	製図	平成３１年　３月　作製	特 一 03

図面名称　特記仕様書３

管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

章	項目	特記事項

⑨ 防水工事

・仕上げ塗装　種類　※　製造所の指定製品　・
使用量　※　製造所の指定数量　・

目地処理　PCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合 ※ 図示 ・ (9.4.4)
増張り(S-F1及びS1-F1の場合)PCコンクリート部材下地の場合の入隅部　※ 図示 ・ mm
増張り(S-C1の場合)　ALCパネル下地及びPCコンクリート部材下地の場合の入隅部※ 図示 ・ mm
機械的固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法であることを明記した施工計画書を監督職員に提出すること。
建築基準法に基づき定められた区分等は、1.17による。
保護層の施工（屋内保護密着工法の場合）
平場モルタル塗り　工法　※15.2.5［工法］(b)(2)及び(3)に準ずる。　・
※15.2.5［工法］(c)(1)に準ずる。（タイル下地の場合）
保護コンクリート仕上 厚さ ・ mm
立上り部の保護モルタル厚さ　※ 7mm以下 ・ mm

④ 塗膜防水　(9.5.3)
ウレタンゴム系塗膜防水

種別	施工箇所
・ X－1	
⊙ X－2	機械基礎天端

・仕上げ塗装　種類　※　製造所の指定製品　・
使用量　※　製造所の指定数量　・
種別X－1における脱気装置　種類 ・　数量 ・
ゴムアスファルト系塗膜防水

種別	施工箇所
・ Y－1	
・ Y－2	

・種別Y－2における保護層

5 ケイ酸質系塗布防水
適用部位（標仕(表9.6.1)以外）　・　(9.6.1)
防水層の種別及び工程　※ C-UI ・ C-UP　(表9.6.2)
下地の処理方法　※ 標仕(9.6.4(b)(1)～(3)による ・　(9.6.4)

6 その他の防水
（　　）

⑦ シーリング　(9.7.2)(表9.7.1)
シーリング材の種類及び施工箇所　標仕(表9.7.1)による
目地寸法　(9.7.3)

施工箇所	幅 (mm)	深さ (mm)
コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地	※ 20以上 ・ 図示	※ 10以上 ・ 図示
ガラス回り	※ 5以上 ・	※ 5以上 ・
その他施工箇所	※ 10以上 ・ 図示	※ 10以上 ・ 図示

・接着性試験　※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験　(9.7.5)
（部位：　　）

10 石工事

1 施工一般
石材の割付　※ 10.1.3(a)の(1)(2)による ・ 図示　(10.1.3)
・石材の加工(粗面仕上げの場合)　見え隠れ部（　　）
のみこみ部（　　）
清掃時のワックス使用 ・ 使用 ・ 不使用　(10.1.5)

2 材料
・天然石　(10.2.1)

石材の種類	品質	施工箇所	形状及び寸法	産地・名称	表面仕上
	等		※ 矩形、0.8㎡/枚以下 ・		
	等				

・テラゾ

ブロック/タイル	種石の種類	大きさ	形状	仕上げ面	寸法による区分	表面仕上
	※ 大理石 ・ 花崗岩	mm	・平物・ 役物	・片面・ 両面	・300形 ・ 400形	
		mm	・平物・ 役物	・片面・ 両面	・300形 ・ 400形	

取付け金物　(10.2.2)
・外壁湿式工法及び　受金物　材質　※ SS400 ・
内壁空積工法用金物　形状　※ L－75×75×6(mm) ・
寸法 ・ L＝100mm ・ L＝150mm ・
・乾式工法用金物　方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式(表10.2.4)
・特殊部位用金物　受金物　※ 標仕(10.2.2)(a)による ・ 図示
吊金物　材質　※ SUS304 ・
形状　※ 径6mm L＝80mm ・
化粧吊ボルト　材質　※ SUS304 ・
形状　※ M10化粧ナット付き ・
乾式工法用金物　方式　※ スライド方式、通しだぼ ・
・アンカーの材質及び寸法　※ 10.2.2(d)の(1)(2)による (10.2.2)
・あと施工アンカーの材質及び寸法等 ・ 図示 ・ (10.2.2)
・表記以外の金物の材質、形状及び寸法等 ・ 図示 ・ (10.2.2)
・標仕に定めなきその他の材料　※ 石材施工業者の指定製品 ・ 図示　(10.2.3)

3 外壁湿式工法
石材の厚さ　※ 25mm ・ 図示 ・ mm　(10.3.2)
・石裏面処理
・裏打ち処理
下地ごしらえ　(10.3.3)
目地　一般目地　幅　※ 6mm以上 ・ 図示 ・ mm
・シーリング材
伸縮調整目地　位置　※ 表11.1.1による ・ 図示 ・
目地寸法　※ 9.7.3による ・ 図示 ・ mm

4 内壁空積工法
石材の厚さ　※ 20mm ・ 図示 ・ mm　(10.4.2)
・石裏面処理
・裏打ち処理
下地ごしらえ　※ あと施工アンカー・横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法　(10.4.3)
目地　一般目地　幅　※ 6mm以上 ・ 図示 ・ mm
目地材　・シーリング材 ・
伸縮調整目地　位置　※ 6m程度ごと ・ 図示 ・ m
目地寸法　※ 9.7.3による ・ 図示 ・ mm

5 乾式工法
石材の厚さ　外壁有効厚さ　※ 30mm以上 ・ 図示 ・ mm　(10.5.2)
内壁有効厚さ　※ 25mm以上 ・ 図示 ・ mm
だぼ用の穴の位置　※ 10.5.2(b)の(1)による ・ 図示
・石裏面処理
・裏打ち処理
外壁の工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法であることを明記した施工計画書を監督職員に提出すること。(10.5.3)
建築基準法に基づき定められた区分等は、1.17による。

章	項目	特記事項

目地幅・深さ　※ 8mm以上 ・ 図示 ・ mm
目地材　・シーリング材 ・

6 床及び階段の石張り
・床　石材の厚さ ・ 図示 ・ mm　(10.6.2)(10.6.3)
・石裏面処理
目地　一般目地　屋外　幅 ・ 図示 ・ mm
屋内　幅 ・ 図示 ・ mm
・シーリング材
伸縮調整目地　位置　※ 10.6.2(e)(2)による ・ 図示 ・
目地寸法　※ 9.7.3による ・ 図示 ・ mm
・階段　石材の厚さ ・ 図示 ・ mm　(10.6.3)
石裏面処理
目地　一般目地　屋外　幅 ・ 図示 ・ mm
屋内　幅 ・ 図示 ・ mm
・シーリング材
伸縮調整目地　位置　※ 10.6.2(e)(2)による ・ 図示 ・
目地寸法　※ 9.7.3による ・ 図示 ・ mm

7 特殊部位の石張り
工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 内壁空積工法 ・ 乾式工法　(10..7.1)
アーチ、上げ裏等の石張り　(10..7.2)
石材の厚さ ・ 図示 ・ mm
・石裏面処理
・裏打ち処理
目地　一般目地　幅　※ 6mm以上 ・ 図示 ・ mm
・シーリング材
伸縮調整目地　位置　※ 他の部位との取合い部 ・ 図示 ・
目地寸法　※ 9.7.3による　図示 ・ mm

8 笠木、甲板等の石張り
石材の厚さ ・ 図示 ・ mm　(10..7.3)
・石裏面処理
取付け代　・ 乾式工法の場合　※ 10.5.3(b)による ・図示
・ 乾式工法の石裏補強モルタル

9 隔て板
石材の厚さ　※ 40mm ・ 図示 ・ mm　(10..7.4)

⑪ タイル工事

① 一般事項
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地　位置※ 表11.1.1による ・ 図示 ・　(11.1.3)(表11.1.1)

② セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等　(11.2.2)

施工箇所	主な用途による区分	形状・寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	釉 施釉	無釉	役物 有	色 特注	耐凍害性	耐滑り性	再資源化ﾀｲﾙ
風除室	床仕上	300角	⊙	・	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	⊙
風除室１	壁仕上	100角	・	⊙	・	⊙	・	・	・	・	・	⊙
風除室２	壁仕上	300×175	⊙	・	・	⊙	・	・	・	・	・	⊙

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
・試験張り　(11.2.3)
・見本焼き
・下地及びタイルごしらえ ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 ・　(11.2.7) (表11.2.3)
壁タイル張りの工法

	工法	躯体表面	張付けﾓﾙﾀﾙの塗厚 (mm)
内装タイル	・改良積上げ張り ・壁ﾀｲﾙ接着剤張り		
外装タイル	・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り		
内装ﾀｲﾙ以外のﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ	・マスク張り ・モザイクタイル張り		

タイルの形状、寸法等　(11.3.2)

施工箇所	主な用途による区分	形状・寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	釉 施釉	無釉	役物 有	色 特注	耐凍害性	耐滑り性	再資源化ﾀｲﾙ
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
・試験張り
・見本焼き
シーリング材　(11.3.4)

種別	適用シーリング
打継ぎ目地	※ ポリウレタン系シーリング材 ・
ひび割れ誘発目地	※ ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地	※ 変成シリコーン系シーリング材 ・
その他の目地	※ 変成シリコーン系シーリング材 ・

下地及びタイルごしらえ ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 ・　(11.3.7)

3 接着剤による陶磁器質タイル張り

4 陶磁器質タイル型枠先付け
タイルの形状、寸法等　(11.4.2)

施工箇所	主な用途による区分	形状・寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	釉 施釉	無釉	役物 有	色 特注	再資源化ﾀｲﾙ
			・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
・試験張り
・見本焼き
・タイル型枠先付け面のせき板 ・ 6.8.3(b)(2) ・ 金属製タイル先付け用パネル ・
タイル型枠先付けの種類　(11.4.3)(表11.4.1)

種類	適用タイル
・ タイルシート法	・ 小口タイル
・ 目地桝法	・ 二丁掛タイル
・ 桟木法	・ 大形タイル

⑫ 木工事

① 一般事項
・表面仕上げ　(12.1.4)(表12.1.1)

種類	適用箇所
・ A種	
・ B種	
⊙ C種	委員会室　壁　杉板羽目板

② 材料
樹種　※ 公共建築工事標準仕様書の「ひのき」は「ひば」と読み替える。
・代用樹種の禁止　適用箇所

③ 製材
⊙ 製材（製材の日本農林規格）　(12.2.1)(表12.2.1)

	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
・ 下地用針葉樹				※ 2級 ・		※ A種 ・ B種
⊙ 造作用針葉樹	壁羽目板	杉	図示	・ ⊙		※ A種 ・ B種
・ 広葉樹				※ 1等 ・		※ 10%以下 ・

・製材（製材の日本農林規格以外）

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率
			造作材の場合（ ※A種 ・ B種）	・	・	※ A種 ・ B種

4 造作用集成材
・集成材（集成材の日本農林規格）

	適用箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板厚(mm)	見付け材面の品質
・ 造作用					※ 1等 ・
・ 化粧ばり造作用		化粧薄板： 芯材：			※ 1等 ・
・ 化粧ばり構造用		化粧薄板： 芯材：			

・集成材（集成材の日本農林規格以外）

	適用箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板厚(mm)	見付け材面の品質	含水率
・ 造作用						※ 15%以下 ・
・ 化粧ばり造作用		化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ・
・ 化粧ばり構造用		化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ・

5 造作用単板積層材
・造作用単板積層材(単板積層材の日本農林規格)

適用箇所	樹種	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理
			・有（ ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・無（ 等級： ）	・

・造作用単板積層材(単板積層材の日本農林規格以外)

適用箇所	樹種	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率
			・有（ ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・無（ 等級： ）	・	※ 14%以下 ・

⑥ 床張り用合板等
・普通合板　(12.2.1)

適用箇所	表板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理
		※ 5.5 ・	※ 1類 ・ 2類	・広葉樹（ ※ 2等以上 ・ 1等） ・針葉樹（ ※ C-D以上 ・ ）	・	・	・

・構造用合板

適用箇所	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級
	※ 2級以上 ・ 1級		※ 1類 ・ 特類	※ C-D以上 ・	※ 12 ・	・	・（ ） ・

⊙ パーティクルボード

適用箇所	表裏面の状態による区分	区分 曲げ強さ	接着剤	難燃性	厚さ(mm)
執務室		※ 13タイプ ・	※ P又はM ・		※ 15 ・

・構造用パネル

適用箇所	等級	厚さ(mm)
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	

7 防腐・防蟻処理
防腐剤は非有機リン系とし、クロルピリホス、ダイアジノン、フェノブカルブを使用していない環境に配慮した表面処理用防腐剤を用いること。処理方法は、工場における加圧式とし、十分に乾燥を行うこと。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて防腐剤を塗布すること。
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用箇所	保存処理性能区分	厚さ(mm)
※ 図示 ・	・ K2 ・ K3 ・ K4	

・薬剤塗布による防腐・防蟻処理

適用箇所	処理の方法
※ 図示 ・ ｺﾝｸﾘｰﾄに接する部材	※ 標仕12.3.1 (3) (ⅱ) ①～④による ・

・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理

適用箇所	処理の方法

8 防虫処理
ラワン材等を使用する場合　保存処理の性能区分K1　(12.3.2)

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 －	単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 特記仕様書４
青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		検印 担当 製図 製図 製図		特 一 04	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

章	項目	特記事項

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

材料 (13.2.2)(表13.2.1)

種類	塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ
※ JIS G 3322 屋根用コイル		※ 0.4mm ・
・		
・		

下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940 ・
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材
(・ 一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付きタイプ)

工法 屋根葺形式 ・ 互棒葺(心木なし) ⊙ 立平葺 ・ 縞掛葺 ・ 横葺 (13･2.3)
屋根葺工法 ※ 図示 ・
建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法であることを明記した施工計画書を監督職員に提出すること。
建築基準法に基づき定められた区分等は、1.17による。
専門工事業者 青森県板金工業組合の会員施工業者又は監督職員の承諾する業者
・ 雪止め設置

2 折板葺

材料 (13.3.2)(表13.2.1)

形式	※ 重ね形又ははぜ締め形 ・ かん合形
山高	・ 09 ・ 11 ・ 13 ・ 15 ・ 17 ・ 19
山ピッチ	・ 20 ・ 25 ・ 30 ・ 33 ・ 35 ・ 40 ・ 45 ・ 50
耐力	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 4種 ・ 5種
材料	※ 標仕(表13.2.1)による規格( )
厚さ	・ mm
軒先面戸板	・ 適用する ・ 適用しない

・ 断熱材張り 断熱材の種別( )
厚さ (mm)
防火性能 ( )

工法 建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法であることを明記した施工計画書を監督職員に提出すること。 (13.3.3)
建築基準法に基づき定められた区分等は、1.17による。

3 とい

材料 といの材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ステンレス管 (13.5.2)(表13.5.1)
工法 鋼管製といの防露巻き ※ 標仕(表13.5.5)による ・ (13.5.3)(表13.5.5)

14 金属工事

1 一般事項

あと施工アンカー引抜き耐力の確認試験 (14.1.3)
設計用引張強度 ※ 施工計画書の品質計画において定めたもの ・

2 表面処理

・ ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

種類	施工箇所 (手すり、ﾀﾗｯﾌﾟ、建具以外)
※ HL程度	眼鏡石カバー
⊙ No.2B程度	ライニング天端
⊙ 酸洗い	味噌貯蔵タンク、煙突

・ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種別	皮膜種類	色合等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)
・ B-1種	・ B ・	※ 無色	
・ B-2種	・ B ・	・	
・	・	・	

陽極酸化皮膜の着色方法 ※ 二次電解着色 ・ 三次電解着色

・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、ﾀﾗｯﾌﾟ以外)
	・ A種	
	・ B種	
・ 溶融亜鉛めっき	・ C種	
	・ D種	
	・ E種	
・ 電気亜鉛めっき	・ F種	

3 軽量鉄骨天井下地

材料 野縁等の種類 屋内 ※ 19形 ・ 25形 (14.4.2)(表14.4.1)
屋外 ・ 19形 ※ 25形
形状及び寸法 屋外の野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔※ 図示 ・ @900 (14.4.3)(表14.4.2)
屋外の野縁の間隔 ※ 図示 ・ @900
工法 (14.4.4)
吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 ・ 図示 ・
天井のふところの補強 1.5m以上～3m以下の場合 ※ 標仕(14.4.4(h)(1)～(2))による ・ 図示
3m超えの場合 ・ 図示 ・
・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天井、ピロティー天井等の補強
範囲 ・ 図示 ・

4 軽量鉄骨壁下地

形式及び寸法 (14.5.3)(表14.5.1)

種類	スタッドの高さ	施工箇所
⊙ 50形	※ 2.7m以下 ・	外壁廻り内壁
⊙ 65形	※ 4.0m以下 ・	一般間仕切り壁
	※ 4mを超え4.5m以下	
・ 90形	・	
	※ 4mを超え4.5m以下	令114条2項区画壁
⊙ 100形	・	

・ スタッドの高さが5.0mを越える場合 ※ 図示 ・

5 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

種別	製法	形状	寸法 板厚	寸法 板幅	表面処理の種別
・ アルミニウム	・ 押出し	・ ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形			・ B-1種
・	・ ロール				・ B-2種
	・ プレス	・ パネル形			(・ ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ ﾌﾞﾗｯｸ ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ ・)

取付け用下地 ※ 標仕(14.4)による ・ 図示 (14.6.3)
・ 伸縮調整継手 ※ 図示 ・

6 アルミニウム製笠木

部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ 形 (呼称肉厚 mm)(14.7.2)(表14.7.1)
表面処理 種別( )種 皮膜等の種類 ※ 標仕(14.2.1)による ・
着色 ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ⊙ ステンカラー
笠木の固定金具の工法 (14.7.3)
建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法であることを明記した施工計画書を監督職員に提出すること。
建築基準法に基づき定められた区分等は、1.17による。

7 手すり及びタラップ

(14.8.2･3)(表14.2.2)

種類	材料の種別	表面処理の種別
	⊙ ステンレス製	※ HL程度 ・ No.2B程度 ・
	・ 鋼製	※ 溶融亜鉛めっきG種 ・
手すり	・ アルミニウム製	・ B-1種 ・ B-2種 ・
	⊙ ステンレス製	※ 研磨なし ・
タラップ	・ 鋼製	※ 溶融亜鉛めっきG種 ・

15 左官工事

1 モルタル塗り

・ 既製目地材 形状 ※ 図示 ・ (15.2.2)
工法 床の目地 (15.2.5)
工法 ※ 押し目地 ・ カッター目地切り
割付け間隔 ※ 室内縦横1.8m程度、廊下3.6m程度 ・図示 ・ 0.9m
外壁タイル張り下地等の均しモルタルのの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない

2 セルフレベリング材塗り

(15.4.2･3)(表15.4.1)

種類	厚さ (mm)	施工箇所
・ せっこう系	※ 10	
・ セメント系	・	

3 仕上塗材仕上げ

(15.5.2)(表15.5.1･2)

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Si	・	・ 砂壁状
	・ 可とう形外装薄塗材Si	・	・ ゆず肌状(・ 吹付け ・ ローラー塗り)
	・ 外装薄塗材E	・	・ さざ波状
	・ 可とう形外装薄塗材E	・	・ 平たん状
	・ 防水形外装薄塗材E	・	・ 凹凸状(・ 吹付け ・ こて塗り)
	・ 外装薄塗材S	・	・ 着色骨材砂壁状(・ 吹付け ・ こて塗り)
	・ 内装薄塗材C	・	・ 砂壁状じゅらく
	・ 内装薄塗材L	・	・ 京壁状じゅらく
	・ 内装薄塗材Si	・	
	・ 内装薄塗材E	・	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない
	・ 内装薄塗材W	・	・ 耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない
・ 厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・	・ 吹放し
	・ 外装厚塗材Si	・	・ 凸部処理
	・ 外装厚塗材E	・	・ 平たん状
	・ 内装厚塗材C	・	・ 凹凸状
	・ 内装厚塗材L	・	・ ひき起こし
	・ 内装厚塗材G	・	・ かき落とし
	・ 内装厚塗材Si	・	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない
	・ 内装厚塗材E	・	上塗材 ・ 適用する
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE	・	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様
	・ 複層塗材Si	・	上塗材
	・ 複層塗材E	・	耐候性 ※ 耐候形3種
	・ 複層塗材RE	・	溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系
	・ 可とう系複層塗材CE	・	樹脂 ※ アクリル系
	・ 防水形複層塗材CE	・	外観 ※ つやあり ・ つやなし
	・ 防水形複層塗材E	・	・ メタリック
	・ 防水形複層塗材RE	・	
	・ 防水形複層塗材RS	・	増塗材 ・ 適用する
	・ 透湿性防水形複層塗材E	・	
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	・	・ 砂壁状
	・ こて塗用軽量塗材	・	・ 平たん状

・ 下地処理(ALCパネルの場合)内壁目地部の形状 ※ V形目地付 ・ (15.5.4)
所要量等の確認 ※ 表15.5.4による ・ (15.5.7)(表15.5.4)
・ 防水形の仕上塗材及び軽量骨材仕上塗材の場合 ※ 表15.5.4及び単位面積当たりの使用量による ・

4 マスチック塗材塗り

種別 ・ A種 ・ B種 (15.6.2)
仕上げ塗り(EP-G) ※ B種 ・ A種

5 ロックウール吹付け

仕上げ吹付け厚さ ⊙ 40mm (15.8.3)

16 建具工事

1 一般事項

・ 防火戸 防火戸の指定 ※ 図示 ・ (16.1.3)
・ 閉鎖機構の連動 ・ 自動閉鎖機構 ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器
・ 見本の製作等 ・ 建具見本の製作 ・ 工事で使用するものとして、あらかじめ製作するもの (16.1.4)
・ 納まり等が分かる程度のもの
・ 特殊な建具の仮組
適用部位( )

2 防犯建物部品

(16.1.6)

3 アルミニウム製建具

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (16.2.2)(表14.2.1･16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)
・ A種	※ S-4 ・			
⊙ B種	※ S-5 ・	※ A-3・	※ W-4 ・	※ 70 ・ ~~(引違い、片引き、上下窓で複層ｶﾞﾗｽの場合100)~~
・ C種	※ S-6 ・	※ A-4・	※ W-5 ・	※ 100 ・

表面処理	
外部に関する建具※	B-1種 ・ B-2種 (・ ｱﾝﾊﾞｰ ・ ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ ・ 特注色)
屋内の建具 ※	C-1種 ・ C-2種 (・ ｱﾝﾊﾞｰ ・ ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ ・ 特注色)

特殊性能 (16.2.2)(16.3.2)

種類	性能等級	適用箇所
・ 防音ドアサッシセット	遮音性	
・ 防音サッシ	・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4	
・ 断熱ドアセット	断熱性	
・ 断熱サッシ	・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5	
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3	建具表による

⊙ 網戸等 網の材種 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 (16.2.3)
⊙ 結露水の処理方法 ・ 図示 ・ (16.2.4)
⊙ 水切り板 ※ 図示 ・ (16.2.5)
・ ぜん板 ※ 図示 ・

4 樹脂製建具

外部に面する樹脂製建具の性能等級 (16.3.2～5)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)
・ A種	※ S-4 ・	※ A-4	※ W-4	※ 建具表
・ B種	※ S-5 ・			・ mm
・ C種	※ S-6 ・		※ W-5	

表面色 ※ 標準色 ・ 特注色
特殊性能 (16.3.2)(表16.3.2～3)

種類	性能等級	適用箇所
・ 防音ドアサッシセット	遮音性	
・ 防音サッシ	・ T-1 ・ T-2	
・ 断熱ドアセット	断熱性	
・ 断熱サッシ	・ H-4 ・ H-5 ・ H-6	建具表による

ガラス ※ 複層ガラス ・ ・ (16.3.3)
・ 水切り板 ※ 図示 ・ (16.3.5)
・ ぜん板 ※ 図示 ・

5 鋼製建具

鋼製建具の性能値 (16.4.2)

種類	性能等級	適用箇所
⊙ 外部に面する鋼製建具	耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6	
・ 簡易気密型	気密性・水密性 ※ 標仕(表16.4.1)による。 ・	
・ 防音ドアセット	遮音性	
・ 防音サッシ	・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4	
・ 断熱ドアセット	断熱性	
・ 断熱サッシ	・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5	
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3	建具表による

鋼板 (16.4.3･4)

材料	めっき付着量	厚さ
・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※ Z12又はF12 ・	・ 標仕(表16.4.2)による。 ・
・ JIS G 3317 (溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※ Y08 ・	

6 鋼製軽量建具

特殊性能 (16.5.2)

種類	性能等級	適用箇所
・ 簡易気密型ドアセット	気密性 A-3	
・ 防音ドアセット	遮音性	
・ 防音サッシ	・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4	
・ 断熱ドアセット	断熱性	
・ 断熱サッシ	・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5	
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3	建具表による

・ ビニル被覆鋼板の適用 (16.5.3)
・ カラー鋼板の適用
召合せ、縦小口包み板等の材質 ※ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金の押出形材
鋼板類の厚さ ※ 標仕(表16.5.1)による ・ 建具表による

7 ステンレス製建具

ステンレス製建具の性能値 (16.6.2)

種類	性能等級	適用箇所
・ 外部に面するｽﾃﾝﾚｽ製建具	耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6	
・ 簡易気密型	気密性・水密性 ※ 標仕(表16.4.1)による。 ・	
・ 防音ドアセット	遮音性	
・ 防音サッシ	・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4	
・ 断熱ドアセット	断熱性	
・ 断熱サッシ	・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5	
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3	建具表による

ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430JIL、SUS443JI又はSUS430 (屋内のみ) ・ (16.6.3)
表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ (16.6.4)
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.6.5)

8 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 (16.7.2)
・ 表面材の合板の種類及び品質 ※ 標仕(16.7.2)(b)(1)(i)～(iii)による
・ かまち及び鏡板の樹種 ※ 図示
・ ふすま上張りの種類 ※ 図示 (表16.7.3)
・ 枠及びくつずりの材料 ※ 図示 (16.7.2)
形状及び仕上げ (16.7.3)
・ フラッシュ戸表面板の厚さ ※ 標仕(表16.7.6)による ・ 図示 ・ mm
・ かまち戸の見込み寸法 ※ 36mm ・ 図示 ・ mm
・ ふすまの見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 図示 ・ mm
・ 戸ぶすまの見込み寸法 ※ 30mm ・ 図示 ・ mm
・ 紙貼り障子の見込み寸法 ※ 30mm ・ 図示 ・ mm
・ 工法 ふすま戸のかまちカシュー塗料3回塗 (16.7.4)

9 建具用金物

建具用金物の仕様 ※ 建具製作所の仕様による (16.8.1)
金物の種類及び見え掛りの材質 ※ 標仕(表16.8.1)による ※ 建具表による (16.8.2)(表16.8.1)
材質、形状及び寸法 (評価名簿及びJISによる)

種類	見え掛かりの材質	
シリンダー箱錠	※ レバーハンドル	※ アルミニウム合金 ・ ステンレス ・ 黄銅
	・ 握り玉	ステンレス
シリンダー本締り錠		ステンレス
モノロック	握り玉	ステンレス
本締り付きモノロック	握り玉	ステンレス
本締り錠	握り玉	ステンレス
空錠	レバーハンドル	※ アルミニウム合金 ・ ステンレス ・ 黄銅
グレモン錠	レバーハンドル	※ 亜鉛合金 ・ ステンレス
ケースハンドル錠	ステンレス	
点検口錠	※ 亜鉛合金程度 ・ ステンレス	
丁番	※ ステンレス ・ 黄銅	
ピボットヒンジ	※ ステンレス (本体は鋼) ・ 亜鉛合金 (本体は鋼)	
フロアヒンジ	ステンレス (本体は鋼)	
ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ(丁番形)	鋼 (焼付け塗装)	
ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ(ﾋﾟﾎﾞｯﾄ形)	ステンレス (本体は鋼)	
ドアクローザー	本体：アルミニウム合金 ／ アーム部：鋼 (焼付け塗装)	
閉鎖順位調整器	※ ステンレス ・ 鋼	
押棒・押板	建具表による	
上げ落し(フランス落とし)	※ 亜鉛合金程度 ・ ステンレス	
アームストッパー	※ 鋼(ｸﾛｰﾑめっき) ・ ステンレス	
戸当り	※ 亜鉛合金程度 ・ ステンレス ・ 黄銅	
レール (上吊りを除く)	※ ステンレス ・ アルミニウム合金 ・ 黄銅	
その他	※ 建具製作所の仕様による ・	

樹脂製建具に使用する丁番 ※ 標仕 (表16.8.3) による。
握り玉等の取付位置 ※ 図示 ・ 1.0m (16.8.3)
⊙ マスターキーの製作 (16.8.4)
⊙ 鍵の組数 ※ 3本1組 (カギ箱・カギふだ ※ あり ・ なし) ・
・ スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 (16.9.2)(表16.9.1)
・ スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値 ・ SWD-1 ・ SWD-2 (表16.9.2)
開閉方法 ※ スライディングドア ・ スイングドア ・ 回転ドア (16.9.3)
センサーの種類 ・ マットスイッチ ⊙ 光線(反射)スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 音波スイッチ (表16.9.3)
・ 光電スイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ
・ ペダルスイッチ ・ 多機能便所スイッチ
・ 凍害防止装置 ※ 図示 ・

10 自動ドア開閉装置

11 自閉式上吊り引戸装置

性能 ※ 標仕(表16.10.1)による ・ (16.10.3)(表16.10.1)

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 －	単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称	特記仕様書5
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		検印 担当 製図 製図		特 一 05	管理建築士 1級建築士登録第113986号	川島芳正

章	項目	特記事項

建具工事

⑫ 重量シャッター

シャッターの種類　・一般重量シャッター　・外壁用防火シャッター　（耐風圧性能：　N/㎡）　(16.11.2)
⊙ 屋内用防火シャッター　⊙ 防煙シャッター
開閉機能による種類　※ 上部電動式(手動併用)　・上部手動式　(表16.11.1)
・ シャッターケース(防火、防煙以外のもの)
スラット及びシャッターケース用鋼板　(16.11.3)
種類　・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・ JIS G 3312（溶融亜鉛５５%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板）
めっきの付着量　※　Z12又はF12　・

⑬ 軽量シャッター

開閉形式　⊙ 上部電動式(手動併用)　※　手動式　(16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度　(　　)N/㎡
スラット　材質　⊙ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯)　(16.12.3)
めっきの付着量　※　Z06又はF06　・
・ JIS G 3322(塗装溶融亜鉛−5%アルミニウム合金めっき鋼帯i板)
めっきの付着量　※　AZ90　・
形状　※　インターロッキング形　・　オーバーラッピング形　(16.12.4)

⑭ オーバーヘッドドア

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材料	耐風圧性能
※　スチールタイプ	※ バランス形	※　スタンダード形	※　溶融亜鉛めっき鋼板	(16.13.2-3)
・　アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・　ステンレス鋼板	
・　ファイバーグラスタイプ	・ 電動式	・ ハイリフト形	・	
		・ バーチカル形		

⑮ ガラス

ガラスの厚さ・構成等については建具表により、その他ガラスの性能は下表による。　(16.14.2)

ガラスの種類	特　性　1	特　性　2	備考(特性種類)
・　合わせガラス	・ Ⅰ類　・ Ⅱ-1類	・ Ⅱ-2類　・ Ⅲ類	衝撃特性
⊙　強化ガラス	・ Ⅰ類　・ Ⅲ類	−	衝撃特性
・　熱線吸収板ガラス	・ １種　・ ２種	−	日射熱取得率
⊙　複層ガラス	⊙ 1種　・ 2種　・ 3種(・UG-1　・UG-2)　・ 4種　・ 5種		断熱性・日射熱遮蔽性
・　熱線反射ガラス	・ 1種　・ 2種　・ 3種	・ Ａ類　・ Ｂ類	日射熱遮蔽性、耐久性
	映像調整　・ 行う　・ 行わない		(16.14.4)

ガラス留め材　厚　さ　(　　)　(16.14.2)

建具の種類	材　質
アルミニウム製	・ ガスケット（ ※　グレイジングチャンネル形　・　　）
	⊙ シーリング材
鋼　製	※　シーリング材
ステンレス製	※　シーリング材

・ 板ガラスをはめ込む溝の大きさ　※　図示　・　(16.14.3)(表16.14.1)
アルミニウム製、鋼製、ステンレス製建具の場合　※　表16.14.1による　・
・ ガラスブロック積み　表面形状　※　図示　・　(16.14.5)
呼び寸法　※　図示　・
厚　さ　※　図示　・　mm
・ 壁用金属枠及び補強材　※　図示　・
力骨の材質、寸法、形状　※　SUS304 径5.5mm はしご形状複筋及び単筋　・　図示
化粧目地モルタルの色　(　　)
シーリング材種類　※　標仕(表9.7.1)による　・
金属化粧カバーの材質、寸法、形状　※　図示　・
工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法であることを明記した施工計画書を監督職員に提出すること。
建築基準法に基づき定められた区分等は、1.17による。

目地幅の寸法　※　標仕(16.14.5)(b)(2)(i)による　・　図示
伸縮調整目地の位置　※　6m以下ごとに10～25mmの目地を設ける　・
目地部の力骨の補強方法　※　製造所の仕様による　・　図示　・

カーテンウォール工事

① 一般事項

(17.1.3)

※　耐風圧性	・ S-4　・ S-5　・ S-6	・・ 耐温度差性　(℃)	・ 80　・ 70　・ 60		
・　耐震性(　)		・ 遮音性	・ T-1　・ T-2		
※　水密性	・ W-4　・ W-5		・ T-3　・ T-4		
※　気密性	・ A-3　・ A-4	・ 断熱性　(m2h℃/kcal)	・ H-2以上		
・　耐火性	・ 30分　・ 1時間				

性能の確認方法及び判定方法が適切であることを明記した資料を監督職員に提出し承諾を受けること。

② メタルカーテンウォール

種類　⊙ アルミニウム製　・　鋼製　・　ステンレス製　(17.2.2)
シーリング材種類　※　図示　・　ガラス取付シーリング材料　※　図示　・
構造ガスケット形状、寸法　※　図示　・
・ 断熱材　※　図示　・
製品寸法の許容差　※　表17.2.1による(アルミ合金鋳物を除く)　・　(17.2.3)
製品の見え掛り部分の仕上げ　※　図示　・
ガラス溝の寸法、形状等　※　製作所の仕様による　・　図示　・
躯体付け金物の取付位置の寸法許容差　※　表17.2.2による　・　(17.2.5)
カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差　※　表17.2.3による　・
・ 構造ガスケットを用いるガラスの取付　※　図示　・　(17.2.6)

3　ＰＣカーテンウォール

コンクリートの種類　※　表6.10.1の1種　・　(17.3.2)
コンクリートの設計基準強度(Fc)　※　30N/mm2　・　N/mm2
所要スランプ　※　12cm以下　・　cm
所要気乾単位容積質量　※　1.9t/m3　・　t/m3
単位水量の最大値　※　180kg/m3　・　kg/m3
鉄筋の種類　※　SD295A　・
補強鉄線　※　径3.2mm以上　・
シーリング材　※　図示　・
耐火目地材　※　図示　・
・ 断熱材　※　図示　・
ゴンドラ用ガイドレール　※　図示　・
製品の見え掛り部分の寸法許容差　※　標仕(表17.3.1)による　・　(17.3.3)
・ 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝　寸　法　※　図示　・
寸法許容差　※　図示　・
配筋　※　計算書による　・　図示　(17.3.4)
カーテンウォール部材取付位置の寸法許容差　※　標仕(表17.3.2)による　・　(17.3.5)
・ 構造ガスケットを用いる場合のガラスの取付　※　図示　・　(17.3.6)

塗装工事

① 一般事項

防火材料の指定がある場合は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものを用いること。　(18.1.3)
防火材料指定箇所　※　図示　・
塗装業者　(社)日本塗装工業会の会員又は監督職員の承諾する塗装業者

塗装工事

項目	特記事項

② 素地ごしらえ

⊙ 木部の素地ごしらえ　不透明塗料塗り　※　A種　・　B種　(18.2.2)(表18.2.1)
透明塗料塗り　・　A種　※　B種
⊙ 鉄鋼面の素地ごしらえ　・　A種　・　B種　※　C種(8.2.3)(表18.2.2)
・ 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ　・　A種　・　B種　(18.2.4)(表18.2.3)
⊙ モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ　・　A種　※　B種　(18.2.5)(表18.2.4)
⊙ コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ・　A種　※　B種　(18.2.6)(表18.2.5･6)
⊙ せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ　・　継目処理工法の場合　※　A種　・　B種(18.2.7)(表18.2.7)
・　その他の場合　・　A種　※　B種

③ 錆止め塗料塗り

⊙ 鉄鋼面の錆止め塗料種別　・　屋外　※　A種　・　B種　(18.3.2)(表18.3.1)
・　屋内　※　A種　・　B種(屋内水系塗料の場合)
・ 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種別　※　A種　・　B種　※　C種(屋内水系塗料の場合)　(表18.3.2)
⊙ 鉄鋼面の錆止め塗料塗り　⊙ 見え掛り　※　A種　・　B種　(18.3.3)(表18.3.3)
⊙ 見え隠れ　・　A種　※　B種
・ 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り　・　鋼製建具　※　A種　・　B種　(表18.3.4)
・　その他　・　A種　※　B種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)

塗料の種類　※　1種　・　2種　(18.4.2)
⊙ 本部合成樹脂ペイント塗り種別　※　A種（屋外）　※　B種（屋内）　(18.4.3)(表18.4.1)
⊙ 鉄鋼面合成樹脂ペイント塗り種別　・　A種　※　B種　(18.4.4)(表18.4.2)

⑤ クリヤラッカー塗り(CL)

種別　・　A種　※　B種　(18.5.2)(表18.5.1)

6 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)

種別　・　A種　※　B種　(18.6.2)(表18.6.1)

⑦ 耐候性塗料塗り (DP)

・ 鉄鋼面　※　標仕(表18.7.1)による　・　(18.7.2)(表18.7.1)
・ 亜鉛めっき鋼面　※　標仕(表18.7.2)による　・　(18.7.3)(表18.7.2)
⊙ ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面　種別　・　A種　・　B種　・　C種　(18.7.4)(表18.7.3)

8 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

・ コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面 A種　※　B種　(18.8.2)(表18.8.1)
・ 鉄鋼面　・　A種　※　B種　(18.8.4)(表18.8.3)

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

種別　・　A種　※　B種　(18.9.2)(表18.9.1)

10 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)

コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面等　・　A種　※　B種　(18.10.2)(表18.10.1)

⑪ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

種別　・　A種　※　B種　(18.11.2)(表18.11.1)

12 ラッカーエナメル塗り (LE)

種別　・　A種　※　B種　(18.12.2)(表18.12.1)

13 オイルステイン塗り(OS)

・ 木部　※　標仕(表18.13.1)による　・　(18.13.2)(表18.13.1)

⑭ 木材保護塗料塗り(WP)

種別　・　A種　※　B種　(18.14.2)(表18.14.1)

15 防塵塗料塗り

材質　水性アクリル樹脂系塗料　（ ※　標準色　・　　）
仕上塗料　コーティング(ローラー刷毛塗り)
塗付量　主剤２回塗りとし、総塗付量は0.25kg/㎡以上とする。

16 その他の塗料

(　　)

内装工事

① ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

・ ビニル床シート　(19.2.2-3)

種　類	記号	色柄	厚さ (mm)	工法	施工箇所
一般用	※　ＦＳ	・　無地	※　２.０	・　突付け	
(発泡層のないもの)	・	・　ﾏｰﾌﾞﾙ	・　２.５	※　熱溶接	

⊙ ビニル床タイル

種　類	色柄	厚さ (mm)	寸法 (mm)	施工箇所
・　単層ビニル床タイル（ＴＴ）	・　無地	※　２.０	・　300×300	
・　複層ビニル床タイル（ＦＴ）	・　柄物	・　２.５	・　450×450	
・　コンポジションビニル床タイル（KT）	・　無地	※　２.０	・　300×300	
	・　柄物	・　３.０	・　450×450	
⊙　置敷きビニル床タイル（ＦＯＡ）	・　無地	⊙　図示	⊙　500×500	
・	・　柄物			

・ 帯電防止床シート又は床タイル

種　類	記　号	性　能	厚さ (mm)
		・	・

・ 視覚障害者用床タイル

種　類	形状(寸法、厚さ) (mm)	
・　塩化ビニル系	・　300×300	・
・　レジンコンクリート系	・	・
・	・	・

・ 耐動荷重性床シート

種　類	厚さ (mm)

⊙ 防滑性床シート又は床タイル

種　類	記　号	性　能	厚さ (mm)
複層ビニル床シート	FS	⊙ 抗菌仕様	⊙ 2.5

⊙ ビニル幅木

材　種	厚さ (mm)	高さ (mm)
※　軟質　・　硬質	※　1.5　・	※　60　・　75　⊙　100

・ ゴム床タイル

色　柄	厚さ (mm)	寸法 (mm)
※　コイン柄　・	※　3.0　・　4.5　・　6.0　・　9.0	※　500×500　・

・ 標準仕様書以外の下地　※　図示　・　(19.2.3)

② カーペット敷き

・ 織じゅうたん　(19.3.3-4)(表19.3.1～2)

種　別	織り方	パイル形状	帯電性
・　A種　・　B種　・　C種			※　3kV以下　・

下敷き材　※　半毛フェルト（JIS L3204）の2種2号　呼び厚さ8mm　・
・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ	帯電性	グリッパー工法の適用
		※　3kV以下　・	・　あり　・　なし

下敷き材（グリッパー工法の場合）　※　半毛フェルト（JIS L3204）の2種2号　呼び厚さ8mm　・
・ ニードルパンチカーペット

厚　さ	帯電性
	※　3kv以下　・

⊙ タイルカーペット

種別	ﾊﾟｲﾙ形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)	品質	敷き方
※　１種	・　ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※　500×500	※　6.5	※適用しない		・　平場　※　市松　・
・　２種	※　ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ		・　7.0	・		・　階段　※　模様流し　・
			・			

・ 取付け用付属品　※　図示　・　(19.3.3)
品質は、参考商品名である。その他のカーペットは図示による。

内装工事

3 合成樹脂塗り床

塗床の種類　仕　上　げ　の　種　類　(19.4.3)
・ 弾性ｳﾚﾀﾝ塗床　※　平滑仕上　・　防滑仕上　・　つや消し仕上　(表19.4.4～8)
・ ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗り床　・ 薄膜流し展べ仕上　・ 厚膜流し展べ仕上　・ 樹脂ﾓﾙﾀﾙ仕上
平滑仕上　・ 平滑　・ 防滑　・ 平滑　・ 防滑
・ フローリングボード1等　・ フローリングブロック1等　・ モザイクパーケット1等　(19.5.2)
・ 複合フローリング

4 フローリング張り

・ 釘どめ工法
・ 根太張り工法　樹種　※　なし　・　図示　(19.5.4～6)
複合フローリングの種別　・ A種　・ B種　※　C種(防湿処理　・ 行う　・ 行わない)
・ 直張り工法　樹種　※　なし　・　図示
複合フローリングの種別　・ A種　・ B種　※　C種
・ 接着工法　樹種　※　なし　・　図示
モザイクパーケットの樹種、厚さ及び大きさ　・　図示　・
フローリングの裏面の緩衝材　※　合成樹脂発泡シート　・　図示

・ 現場塗装仕上げ　※　ウレタン樹脂ワニス塗り　・　オイルステイン塗り　・　ワックス塗り
・　ポリウレタン樹脂塗料3回塗り
種別　・ A種　・ B種　・ C種　・ D種(　・ KT-Ⅰ　・ KT-Ⅱ　※ KT-Ⅲ　・ KT-K　・ KT-N)　(19.6.2)(表19.6.1)

5 畳敷き

6 せっこうボード、その他ボード及び合板張り

(19.7.2)(表19.7.1)

種　類	種　別		厚さ (mm)	品質・規格
⊙ せっこうボード		壁	・ 9.5　(準不燃) ※ 12.5　(不燃) ・ 15.0　(不燃)	
		天井	・ 9.5　(準不燃) ※ 12.5　(不燃) ・ 15.0　(不燃)	ＪＩＳＡ６９０１の規格品
⊙ 化粧せっこうボード	普通	⊙ ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様	※ 9.5　(不燃) ・ 9.5　(準不燃)	
		・ 木目模様	・ 9.5　(準不燃) ・	
	特殊			ＪＩＳＡ６９０１の規格品
⊙ ロックウール化粧吸音板	※ 内部用	普通	⊙ 9.0	
	・ 軒天用	立体模様		ＪＩＳＡ６３０１の規格品
⊙ 無石綿けい酸カルシウム板			⊙ 6.0	ＪＩＳＡ５４３０の規格品
⊙ シージングせっこうボード			⊙ 12.5	ＪＩＳＡ６９０１の規格品
・ 木質系セメント板			・	ＪＩＳＡ５４０４の規格品
・ 火山性ガラス質複層板(VS)			・	ＪＩＳＡ５４４０の規格品
・ 繊維板			・	ＪＩＳＡ５９０５の規格品
・ 火山性ガラス質複層板			・	ＪＩＳＡ５９０８の規格品
・ 吸音材料			・	ＪＩＳＡ６３０１の規格品

・ 普通合板　透明塗料塗りの場合　※　ラワン合板程度　・
不透明塗料塗りの場合　※　しな合板程度　・
板面の品質　(　　)
板厚さ　mm
・ 防虫処理
接着の程度　(　　)
・ 特殊合板
・ 天然木化粧合板　化粧単板樹種　(　　)
化粧単板厚さ　※　0.3mm未満　・　mm
そば色み　(　　)
板厚さ　mm
・ 防虫処理
接着の程度　(　・ 1類　・ 2類　)
・ 特殊加工化粧合板　表面性能　(　　)タイプ
化粧加工の方法 (　・ オーバーレイ　・ プリント　・ 塗装　)
板厚さ　mm
・ 防虫処理
接着の程度　(　・ 1類　・ 2類　)

・ 遮音シール材　・ アクリル系シーリング材　・ ウレタン系シーリング　・ ジョイントコンパウンド
下地　⊙ 軽量鉄骨下地　・ 木造下地　・ コンクリート下地　・　(19.7.3)
・ 合板類の張付け種別　・ A種　※ B種　(表19.7.3)
⊙ せっこうボードの目地処理　・ 継目処理工法　⊙ 突付けV目地工法　・ 突付け工法　・ 目透し工法　(表19.7.5)

⑦ 壁紙張り

一般事項に定めるほか、「生活環境の安全に配慮したインテリア材料に関するガイドライン(ＩＳＭ)」あるいはそれと同等の基準、性能に適合するものとする。　(19.8.2)

施工箇所	種類	防火性能の種別	参考商品名
職員室、更衣室	・ 紙　・ 繊維　⊙ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ ・ 無機質　・ その他	※　不燃　⊙　準不燃	
	・ 紙　・ 繊維　・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ ・ 無機質　・ その他	※　不燃　・　準不燃	
	・ 紙　・ 繊維　・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ ・ 無機質　・ その他	※　不燃　・　準不燃	
	・ 紙　・ 繊維　・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ ・ 無機質　・ その他	※　不燃　・　準不燃	

モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ　・　A種　※　B種　(19.8.3)
コンクリート面の下地調整　・　A種　※　B種
せっこうボード面の素地ごしらえ　・　A種　※　B種

⑧ 断熱・防露

断熱材の仕様(打込み・張付け)　(19.9.2)

種　類	種　別	厚さ (mm)	施工箇所
・　ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		※　図示	※　図示
・　押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）		・	・
・　硬質ウレタンフォーム断熱材			
・　フェノールフォーム断熱材			
・　ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材			
⊙　押出法ポリスチレンフォーム保温材（スキンなし）	保温板 ・ 2種b　・ ⊙ 3種b		
・　A種硬質ウレタンフォーム保温材			
・　フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）			
・　耐熱型硬質ポリウレタン断熱材			

NOTE

工事名称	縮尺 −	単位 MM	平成３１年　３月　作製	図面名称 特記仕様書６
野辺地町庁舎等新築工事	検　印 / 担当 / 製図 / 製図		特　一　06	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正
青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				

章	項目	特記事項

19 内装工事

9 吸音材

断熱材現場発泡工法 （断熱材は JIS A9526 による） (19.9.3)

種類	吹付厚さ(mm)	施工箇所	難燃性(JIS A1321)
※ A種1 ・ B種1 ・	・ 25 ⊙ 30 ・ 72	※ 図示 ・	・ 2級 ※3級

建築基準法に基づく防火性能 ・準不燃材料 ※難燃材料

材料	種類	厚さ (mm)
・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)	ロックウール吸音ボード1号60K	・ 25 ・
・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)	吸音用グラスボード 2号32K	⊙ 25 ・

20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

構成材	表面仕上げ材	寸法 (mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗
	※ タイルカーペット ・ 静電防止床タイル ・		・ 1．0G ・ 0．6G ・	・ 3000N ・ 5000N ・	・ 0.6以上 ・ ・	・ Ω ・ ・

耐荷重性能 ※ 標仕(20.2.2)(b)(2)(i)による ・
耐衝撃性能 ※ 標仕(20.2.2)(b)(2)(ii)による ・
ローリングロード性能 ※ 標仕(20.2.2)(b)(2)(iii)による ・
耐燃焼性能 ※ 標仕(20.2.2)(b)(2)(iv)による ・
寸法精度 ※ 標仕(20.2.2)(b)(5)(i)による ・
・ ボーダー部及びスロープ ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示

2 可動間仕切 (20.2.3)

ＪＩＳ Ａ ６５１２によるほか下表による。

構造形式	構成材	パネル表面仕上	不燃材料の認定	遮音性
・ スタッド式(内蔵) ・ スタッド式(露出) ・ パネル式 ・ スタッドパネル式	※ 鋼板	※ メラミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付塗装 ・	・ あり ・ なし	

・ パネル内に取り付ける建具の寸法、形状 ・ 図示 ・

3 移動間仕切 (20.2.4)

種類	表面材	仕上	遮音性

パネル圧接装置の操作方法 ※ 図示 ・
ハンガーレール取付下地の補強
※ 全重量の5倍以上の荷重に対して使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・ 図示 ・
・ あと施工アンカーの材質・寸法等 ※ 図示 ・

4 トイレブース (20.2.5)

パネル表面材 ⊙ メラミン樹脂系化粧板
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ※ 幅木タイプ ・ 脚金物タイプ ・

5 階段滑り止め (20.2.6)

材種 ・ ステンレス製(SUS304)ビニルタイヤ入り
⊙ 磁器質タイル ・
形状 ・ 図示 ⊙ ノンスリップタイル ・
幅 (mm) ⊙ 約35 ・ 約50 ・ 約60 ・
取付工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法 ・

6 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

黒板 種類 ※ 焼付け ・
色 ※ 緑 ・
ホワイトボード 種類 ⊙ ストレート ・ 半曲面 ・ 曲面

7 鏡 (20.2.9)

厚さ ※ 5mm ・ mm

8 表示 (20.2.10)

・ ガラススクリーンに対する対人衝突防止表示 形状 ※ 図示 ・
寸法 ※ 図示 ・
材質 ※ 図示 ・
・ 非常用進入口等の表示

区分	材質・厚さ (mm)	印刷等の種別	色彩	書体
⊙ 室名札 ⊙ ピクトグラフ ・	※ アクリル板 ・ (※5 ・)	※ シルクスクリーン印刷 ・		ヘルベチカ 又はゴシック ・
・ 庁舎案内板 ・ 各階案内板 ・	※ アクリル板 ・ (※8 ・)	※ シルクスクリーン印刷 ・		
彩状	※ 図示 ・			
取付形式	※ 図示 ・			

9 煙突ライニング (20.2.11)

・ ゾノライト系けい酸カルシウムライニング材
・ 心材付繊維積層ライニング材
安全使用温度 （ ）

10 ブラインド (20.2.12)

⊙ 横形ブラインド 種類 ※ ギヤ式 ・ コード式 ・
幅 ※ 図示 ⊙ 35 mm
高さ ※ 図示 ・ mm
スラットの幅 ※ 25mm ・ 図示 ・ mm
スラットの材種 ※ アルミニウム合金 ・
ヘッドボックスの材種 ※ 鋼製 ・
ボトムレールの材種 ※ 鋼製 ・
・ 縦形ブラインド 幅 ※ 図示 ・ mm
高さ ※ 図示 ・ mm
開閉方式 ※ 図示 ・ mm
操作方法 ※ 2本操作コード方式 ・
スラット ・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・ 防炎性能認定表示があるク特殊樹脂加工のクロススラット
スラット幅 ※ 図示 ・ mm

11 ロールスクリーン (20.2.13)

操作方式 ・ スプリング式 ・ コード式(チェーン式) ⊙ 電動式
幅 ※ 図示 ・ mm
高さ ※ 図示 ・ mm
材種 ※ 図示 ・
品質 ※ 図示 ・

12 カーテン及びカーテンレール (20.2.14)

形式 ・ シングル ・ ダブル ・ 片引き ・ 引分け
開閉操作方式 ・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動 ・
きれ地 種別 ※ 図示 ・
品質 ※ 図示 ・
特殊加工 ※ 図示 ・
カーテンレール レール及びブラケットの強さ ※ 10-90 ・ 10-60 ・
レール材料 ※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・
レールの仕上げ ※ アルマイト ・HL ・
レールの形状 ※ 角形 ・ C形 ・ D形 ・
ひだの種類 ・ フランスひだ(三つひだ) ・ 箱ひだ ・ つまひだ(二つひだ) ・ プレーンひだ ・ 片ひだ
・ 暗幕用カーテンの重なり ※ 300mm以上 ・ mm

20 ユニット及びその他の工事

13 プレキャストコンクリート工事

補強鉄線 ※ 径3.2mm以上 ・ mm (20.3.2)
コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3 ・ N/mm2 (20.3.3)
配筋 ※ 計算書による ・ 図示 (20.3.4)
取付方法 ※ 図示 ・
地業の材料 ※ 4.6.2(a)による ・ (20.4.2)
・ 間知石材種 ・ 花こう岩 ・ 凝灰岩 ・安山岩 ・
積み方 ※ 谷積み ・ 布積み (20.4.3)
目塗り ※ 図示
伸縮目地の材種 ※ 図示 ・
伸縮目地の厚さ ※ 図示 ・
・ コンクリート間知ブロック (20.4.2)
種類 ・
質量区分 ・ A ・ B

14 間知石 及び コンクリート間知ブロック積み

15 天井見切縁

材種 ※ アルミニウム製 ⊙ 塩ビ ・ 木製

16 点検口

形式	材種	寸法	形式			鍵の有無
				外枠	内枠	
	※ アルミニウム製 ・	⊙ 450×450 ・ 600×600 ・	※ 一般型 (屋内用) ・ 一般型 (屋内外用)	⊙ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	⊙ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	・ あり ※ なし
天井			・ 気密タイプ			
床	※ アルミニウム製 ⊙ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ⊙ 600×600 ・	・ 一般形 ⊙ 屋内外用	⊙ 密閉形 ・ 屋内用		⊙ あり ・ なし

17 ステンレス流し台

※ 優良住宅部品 ・ 図示

18 コンロ台

※ 優良住宅部品 ⊙ 図示

19 吊戸棚

※ 優良住宅部品 ⊙ 図示

20 水切り棚

※ 優良住宅部品 ⊙ 図示

21 くつふきマット

材種 ・ 塩化ビニル又はゴム （受枠 ステンレス鋼(SUS 304)）
・ 硬質アルミニウム合金 （受枠 硬質アルミニウム合金）
⊙ ステンレス鋼(SUS 304) （受枠 ステンレス鋼(SUS 304)）
・

22 その他

（ ）

21 排水工事

1 排水管

材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材種	管の種類	呼び径(mm)
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	※ 図示
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ VP ・ VU	・
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	RS-VU	
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管	RF-VP	
・ 排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手	DV	
・ 屋外排水設備用硬質ポリ塩化ビニル管継手	VU継手	

・ 地業の材料 ※ 標仕(4.6.2)による ・ (21.2.1)
・ 基床の厚さ及び種類 ※ 図示 ・ (21.2.2)
・ 硬質塩化ビニル管の継手 ※ 接着剤 ・ ゴム輪

2 側塊、排水桝等

・ 側塊 形状 ※ 図示 ・ 寸法 ※ 図示 ・ (21.2.1･2)
⊙ 排水桝の種類 ※ 図示 ・
⊙ ふたの種類 ※ 図示 ・

3 鋳鉄製ふた

・ 鋳鉄製ふた 名称 ※ 図示 ・ 種類 ※ 図示 ・ 適用荷重 ・

4 グレーチング

・ グレーチング

種類	型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ 普通目	細目	(mm)	メインバーの上面形状 平型	凹凸型
鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	※ 受枠付 ・	・ 溝ふた用 ⊙ ますふた用 ⊙ かさあげ用 ・ U字溝用	・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・		・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
			⊙ T-20用	⊙	・		・	⊙
ｽﾃﾝﾚｽ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	※ 受枠付 ・	・ 溝ふた用 ・ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U字溝用 ⊙ 靴洗い	⊙ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	⊙ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・		※ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・

・ コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm2 ・ N/mm2
・ 凍上抑制層に使用する材料 ・
・ 砂の粒度試験の適用
・ 埋戻しに用いる材料 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種

5 街きょ、縁石及び側溝

⊙ コンクリート縁石の形状、寸法 ※ 図示 ・ (21.3.1･2)
⊙ 側溝の形状、寸法 ※ 図示 ・
地業の材料 ※ 標仕(4.6.2)による ・ 図示 ・
地業の厚さ ※ 100mm ⊙ 図示
・ 凍上抑制層に使用する材料 ・
・ 砂の粒度試験の適用

22 舗装工事

1 路床

・ 凍上抑制層用材料 厚さ ※ 図示 ・ mm (22.2.2･3)
※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石 ・ 図示 ・
・ フィルター層用材料(透水性舗装) 厚さ ・ 車道部 ※ 図示 ・ mm
・ 歩道部 ※ 図示 ・ mm
種類 ※ 図示 ・
・ 路床安定処理 方法 ・
路床安定処理用添加材料 ※ 図示 ・ (表22.2.1)
・ ジオテキスタイル 品質 ※ 図示 ・
・ 盛土用材料 A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (22.2.3)
・ 砂の粒度の試験 (22.2.3)
・ 路床土の支持力比(ＣＢＲ)試験 (22.2.5)
・ 路床締固め度の試験
・ 現場CBR試験

2 路盤

路盤の厚さ ・ 歩道部 ・ 図示 ・ mm (22.3.2)
・ 車道部 ・ 図示 ・ mm
路盤材料 種別 ※ 再生クラッシャランRC - 40 (22.3.3)(表22.3.1)
・ クラッシャランC - 40又はクラッシャラン鉄鋼スラグのCS - 40
・

22 舗装工事

3 アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・ (22.4.2)
舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・
アスファルト ※ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト (22.4.3)
アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)

表層	・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ ・

・ シールコートの施工 (22.4.5)
・ アスファルト混合物の抽出試験 (22.4.6)

4 コンクリート舗装

コンクリート舗装等の構成及び厚さ ・ 歩道部 ※ 図示 ・ 70mm ・ (22.5.2)
・ 車道部 ・
・ 寒冷地の縁部立下がり寸法 ※ 図示 ・
設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法 ※ 表22.5.1による ※ 図示 ・ (22.5.3)
・ 早強セメントの使用 (22.5.3)
注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ
目地の種類及び間隔 ※ 表22.5.3 ・ 図示
目地の構造 ※ 図22.5.1 ・ 図示

5 カラー舗装

カラー舗装の構成及び厚さ ※ 表22.6.1による (22.6.2)(22.6.4)(表22.6.1)

舗装の種類	部位	カラー舗装の厚さ	配合その他
・ 加熱系アスファルト混合物 ・	・ 車道部(基層なし) ・ 車道部(基層あり) ・ 歩道部	※ 図示 ・ ※ 図示 ・ ※ 図示 ・	※ 標仕(22.4.4)による
・ 常温系樹脂系混合物 ・ 常温系塗布工法 ・ 常温系ニート工法	・ 車道部 ・ 歩道部 ・ 車道部 ・ 歩道部 ・ 車道部 ・ 歩道部	・ ・ ・	※ 図示 ・ ※ 図示 ・ ※ 図示 ・

・ 結合材 ※ 図示 ・ (22.6.2)
舗装厚さの許容差 ※ 標仕(22.4.2(c)による ・
・ 表層用加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石 ※ 図示 ・ (22.6.3)
・ 結合材に石油樹脂を使用した場合の顔料の添加量 ※ 図示 ・ (22.6.4)
・ ニート工法の配合その他 ・
・ 塗布工法の配合その他 ・

6 透水性アスファルト舗装

透水性アスファルト舗装の構成・ 歩道部 ※ 図示 ・ (22.7.2)
舗装の平たん性 ※ 著しい不陸のないもの ・
・ アスファルト混合物の抽出試験 (22.7.6)

7 ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装 (22.8.2･3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※ 普通平板(N) ・ 透水平板(P)	※ 300角 ・	※ 60 ・	・ 目地材 （ ※ 砂 ・ モルタル） ・ 表面加工 （ ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し）

・ インターロッキングブロック舗装

種類	部位	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考
※ 普通ブロック	車道	※ 80 ・	※ 5.0 ・	表面加工
・ 透水性ブロック	歩道	※ 60 ・	※ 3.0 ・	（ ※ 標準品 ・ ）
・ 誘導・注意喚起用ブロック	歩道	・		色彩（ ※ 黄色 ・ ）
・ 植生ブロック	歩道	※ 80 ・100		

・ 舗石舗装

種類	厚さ(mm)	施工方法
※ 小舗石(花こう岩)	※ 80～100 ・ ・	※ うろこ張り ・ ・

・ 舗石舗装の基層の適用 ・ アスファルト混合物 ・ コンクリート板
厚さ アスファルト混合物 ※ 50mm ・
コンクリート板 ※ 70mm ・
舗装の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないもの ・
・ ジオテキスタイルの品質 ※ 図示 ・

8 砂利敷き

使用材料及び種別 (22.9.2)
・ 通路 材料 ※ 図示 ・
種別 ※ A種 ・ B種
・ 建物周囲 材料 ※ 図示 ・
種別 ・ A種 ※ B種

23 植栽工事

1 一般事項

・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験 (23.1.3)
・ 電気伝導度(EC)の試験
・ 植栽基盤整備工法（樹木） (23.2.2)

樹木の樹高(m)	有効土層(cm)	工法	面積
・ １２以上	※ 100 ・ 120 ・ 150	※ Ａ種	※ 図示
・ ７～１２	※ 80 ・ 100	・ Ｂ種	・
・ ３～７	※ 60 ・ 80	・ Ｃ種	
・ ３以下	※ 50 ・ 60	・ Ｄ種	

・ 植栽基盤整備工法（芝、地被類）

種類	有効土層(cm)	工法	面積
芝、地被類	※ 20	※ Ｂ種	※ 植栽部分

・ 雨水の排水機能物の設置 ・ 暗きょ ・ 開きょ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・
・ 土壌改良材 種類 ・ バーク堆肥 ・ 発酵下水汚泥コンポスト (23.2.2)
植込み用土 ※ 現場発生土の良質土 ・ 客土 (23.2.3)

2 植栽基盤

3 植樹

樹木の樹種 ※ 図示 ・ (23.3.2)
寸法 ※ 図示 ・
株立数 ※ 図示 ・ 本立
数量 ※ 図示
・ 刈込みものの適用
周長の測定 ※ 幹周 ・ 根元周
・ 支柱材 ※ 丸太 ・ 竹
・ 丸太の樹種 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・
・ 幹巻用材料 ※ 幹巻用テープ ・ わら及びこも
・ 支柱 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハッ掛け形 ・ 布掛け形 (23.3.3)
・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形
・ 新植樹木の枯補償期間 ※ 引渡しの日から1年間 ・ (23.3.4)
・ 移植樹木の枯損処置 ※ 引渡しの日から1年間 ・ (23.3.6)

4 芝張り、吹付けは種及び地被類

・ 芝の種類 ※ コウライシバの類 ・ ノシバの類 (23.4.2)
芝張りの工法 平地 ※ 目地張り ・ (23.4.3)
法面 ※ べた張り ・
・ 吹付けは種用種子等 種類 ※ 洋芝類又はクローバー ・ (23.4.2)
量 ・ g/m²

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 － 単位 ＭＭ	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 特記仕様書７
青森県Ａ１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 担当 製図 製図	特 一 07	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

章	項目	特記事項
29 植栽工事		・ 地被類　樹種　※ 図示 ・ 芽立数　※ 図示 ・ コンテナ径　※ 図示 ・ 単位面積当たりのコンテナ数　※ 図示 ・ ・ 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償　※ 引渡しの日から1年間 ・ (23.4.7)
	5 屋上緑化	植栽基盤及び材料 (23.5.2-3) ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ　※ 図示 ・ 保水・排水層　・ 軽量骨材(層の厚さ：　)　・板状成型品 植込み用土　※ 改良土　・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数、寸法等　※ 図示 ・ ・ 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等　※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示 ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法であることを明記した施工計画書を監督職員に提出すること。 (23.5.4) 建築基準法に基づき定められた区分等は、1.17による。 ・ 支柱　種類　・ 図示 ・ ・ かん水装置 種類　・ 図示 ・　(工事区分は図示による)
32 建設副産物の適正処理	① 総則	建設副産物の処理にあたっては「建設副産物適正処理推進要綱」及び「平成18年版建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説(国土交通省)」によること。また、関係法令等に基づき適正な手続き及び処理をするとともに、再資源化により得られた建設資材の積極的な活用に努めること。
	② 契約前の事前説明	(建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。) 落札者は、契約締結前に、監督職員に対して建設リサイクル法第１２条第１項の規定による説明（書面の様式は監督職員の指示による。）を行い、説明時に交付した書面と同じものを契約事務担当者へ提出すること。
	③ 産業廃棄物税	本工事に伴って生じる産業廃棄物のうち最終処分場(中間処理施設経由を含む)に搬入する産業廃棄物がある場合については、青森県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。なお、本工事において最終処分場(中間処理施設経由を含む)に搬入する産業廃棄物がある場合は、産業廃棄物税相当額を見含んでいるものである。
	④ 建設副産物の処理	とりこわしにより発生する建設副産物は、下表の施設での受入れることとして積算している。

名称	施設の名称	施設の所在地	備考
コンクリート塊	（株）坂本光組	五所川原市大字板詰字沢田85番266	
ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	（株）坂本光組	五所川原市大字板詰字沢田85番266	
建設発生木材			

	⑤ 再資源化等の完了の報告	(建設リサイクル法第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。) 受注者は、再資源化等が完了したとき、監督職員に対して建設リサイクル法第１８条第１項の規定による報告（書面の様式は監督職員の指示による。）を行うこと。
	6 伐木・抜根材の有効利用システム	・ 対象　・ 対象外 伐木・抜根材が発生する場合は、樹種、部位別に分別し、１～３ｍ程度の長さに切断、土砂等を除去し、１ｍ未満のものを含めて集積し、整然とした状態で引渡期間中現場内に保管すること。現場内に保管できない場合は監督職員の指示に従う。保管に当たっては、ロープ等で固定するなど盗難、飛散対策を行い、周辺環境に悪影響を与えぬよう注意すること。また、保管場所には適切な表示を行うこと(内容は監督職員の指示による)。なお、これら有用化に必要な費用は本工事に含まれている。 「伐木・抜根材発生情報提供システム」とは、発生した伐木・抜根材の発生情報をインターネットで公表し、有用物として有効利用する一般の希望者へ提供することを目的としたものである。

33 工事取り合い区分

項目	内容	建	強	弱	空	衛	昇	別	備考
一般	構造躯体(RC造)の貫通スリーブ又は箱入れ	※	※	※	※	※	※	※	
	同上スリーブ及び箱入れ躯体補強	※	・	・	・	・	・	・	
	同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	※	※	※	※	※	※	※	
	ダクト配管等の防水貫通部補修	※	・	・	・	・	・	・	
	構造躯体(S造･SRC造)の鉄骨スリーブ及び補強	※	・	・	・	・	・	・	
	コンクリート槽類(防水･仕上げ･断熱共)	※	・	・	・	・	・	・	
	コンクリート槽類のマンホール、タラップ等	※	・	・	・	・	・	・	
	コンクリートダクト内部仕上げ、清掃	※	・	・	・	・	・	・	
	地下室等二重壁内の水抜管	※	・	・	・	・	・	・	
	機器設置に対する躯体補強	※	・	・	・	・	・	・	
	機器設置に対する基礎及び仕上げ	※	・	・	・	・	・	・	
	機器設置のアンカー取付及び補修	※	※	※	※	※	※	※	
	壁・天井の吹出口、吸込口、換気扇等の開口及び補強	※	・	・	・	・	・	・	
	壁･天井の照明器具、配線器具、盤等の開口及び補強	※	・	・	・	・	・	・	
	同上取付用アンカーボルト、金具類の取付	・	※	※	※	※	※	・	
	ダクトスペース、パイプシャフト等の点検口及び扉	※	・	・	・	・	・	・	
	各設備の為の床、壁、天井の点検口	※	・	・	・	・	・	・	
建具	外壁取付ガラリー	※	・	・	・	・	・	・	
	化粧用吹出吸込口	※	・	・	・	・	・	・	
	隠蔽ファンコイルユニット用化粧カバー	※	・	・	※	・	・	・	
	隠蔽ファンコイルユニット用吹出口	・	・	・	※	・	・	・	
建物内の排水	機械室内の排水樋及び溝蓋	※	・	・	・	・	・	・	
	厨房内の排水溝及び溝蓋	・	・	・	・	※	・	・	
	厨房内の床埋込みグリーストラップ	※	・	・	・	・	・	・	
	機械室、電気室のトレンチ、ピット及び蓋								
流し台等	厨房機器、実験台、調理実習台に接続する各種配管	・	※	※	※	※	・	・	
	流し台(トラップ共)、吊戸棚、水切棚	※	・	・	・	・	・	・	
	レンジフード及びダクト接続	・	・	・	※	・	・	・	
	コンクリート流し台等	※	・	・	・	・	・	・	
	同上排水金具	・	・	・	・	※	・	・	
外構等	縦樋配管及び第一桝への配管接続	・	・	・	・	※	・	・	
	汚水桝、雨水桝及び屋外配管	・	・	・	・	※	・	・	
	U字側溝、L字側溝、縁石類	※	・	・	・	・	・	・	
	マンホール、ハンドホールの設置	・	※	※	※	※	・	・	
	化粧用マンホール、化粧用ハンドホールの充填及び仕上げ	※	・	・	・	・	・	・	
	屋外配管･配線用のトレンチ及び蓋	※	・	・	・	・	・	・	
発電機熱源機器	煙突工事一式、オイルサービスタンク用防油提	※	・	・	・	・	・	・	
	煙突に接続する煙導工事	・	・	・	※	※	・	・	
消火	収納箱(埋込み・造り付)	※	・	・	・	・	・	・	
	消火栓箱の電気設備工事用穴開補強	・	・	※	・	・	・	・	
	送水口壁面取付部及び消火栓箱開口、開口補強及び仕上げ補修	※	・	・	・	・	・	・	
	消火器格納箱等	・	・	・	・	※	・	・	
防災	防煙ダンパー、連動装置(作動調整共)	・	・	※	※	・	・	・	
	熱･煙感連動建具及び防煙垂壁の連動装置、手動操作函(作動調整共)	※	・	・	・	・	・	・	
	熱･煙感知器及び連動装置までの配管配線工事	・	・	※	・	・	・	・	
	防煙盤より連動装置までの配管配線工事	・	・	※	・	・	・	・	
	電動シャッター、自動ドアの制御、盤、二次側配管配線工事	※	・	・	・	・	・	・	
	同上用の一次側電源供給	・	※	・	・	・	・	・	
昇降機	昇降路内仮足場	・	・	・	・	・	・	・	
	機械室フックの設置	※	・	・	・	・	・	・	
	昇降機設置にかかる構造躯体の開口、補強及び補修	※	・	・	・	・	・	・	
	機械室の床補強	※	・	・	・	・	・	・	
	機械室床配管後のシンダーコンクリート打設工事及び仕上げ工事	※	・	・	・	・	・	・	
	機械室内換気設備	・	・	・	・	※	・	・	
	機械室の照明設備及び点検用コンセント設備	・	※	・	・	・	・	・	
	漏流出防止堰	※	・	・	・	・	・	・	
	昇降路内中間ビームの取付	・	・	・	・	・	※	・	
	出入口三方枠取付用下地鋼材設置	※	・	・	・	・	・	・	
	三方枠取付後の枠廻り埋戻し	※	・	・	・	・	・	・	
	乗場関係機器取付後の出入口廻りの壁ならびに床の仕上工事	※	・	・	・	・	・	・	
	ピット内埋戻し工事及び防水工事	※	・	・	・	・	・	・	
	昇降路内の煙感知器設備工事	・	・	※	・	・	・	・	
	ピット内点検用コンセント設備	・	※	・	・	・	・	・	
	電源盤以後の二次側配管配線工事	・	・	・	・	・	※	・	
	放送、インターホン用引込配管配線工事	・	・	※	・	・	・	・	
昇降機	昇降路内放送用の配管配線工事	・	・	・	・	・	・	・	
	電源、接地線の受電盤一次端子までの配管配線及び接地工事	・	※	・	・	・	・	・	
負担金等	仮設用の上下水道、ガス、電気、通信等の加入金、負担金	※	※	※	※	※	※	・	
	仮設用の上下水道、ガス、電気、通信等に要する費用	※	※	※	※	※	※	・	
	本受電後、引渡しまでの電気料金(基本料金を含む)	※	※	※	※	※	※	・	
	本設の上下水道、ガス、通信等の引渡しまでの使用料金(基本料金を含む)	※	※	※	※	※	※	・	
	上下水道、ガス、電気、通信等の加入金、負担金	・	・	・	・	・	・	※	
	埋蔵文化財等の地中障害物調査、撤去、処分	・	・	・	・	・	・	※	
工事区分凡例	建 — 建築工事　強 — 電気設備工事(強電)　弱 — 電気設備工事(弱電)　空 — 機械設備工事(空調、暖房) 衛 — 機械設備工事(衛生)　昇 — エレベータ設備工事　別 — 別途工事								

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 － 単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 特記仕様書８
青森県Ａ１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 担当 製図 製図	特 一 08	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

建設地　上北郡野辺地町字野辺地、浜掛　地内

案　内　図　　no-scale

凡　例

内の数字：設計ＧＬからの地盤高さを示す

下表における建築物の各部の高さを示す

記号	設計GLからの建築物の各高さ	記号	平均GLからの建築物の各高さ
A	＋ 15.100	J	＋ 4.400
B	＋ 13.050		
C	＋ 12.755		
D	＋ 12.100	K	＋ 7.900
E	＋ 9.050	L	＋ 3.700
F	＋ 5.420		
G	＋ 4.270		
H	＋ 4.250		
I	＋ 3.820		

建築概要

工事名	野辺地町庁舎等新築工事			
工事場所	上北郡野辺地町字野辺地　359-1,375-1,377-1　他			
用途地域	第二種住居地域、近隣商業地域			
防火地域	—			
その他区域	—			
主要用途	事務所（庁舎）			
敷地面積	7,860.03　㎡			
	新庁舎	車庫	倉庫	合計
建築面積	1,578.06　㎡	329.48　㎡	173.00　㎡	2,080.54　㎡
容積対象面積	3,445.69　㎡	264.28　㎡	346.00　㎡	4,055.97　㎡
延床面積	3,482.46　㎡	320.02　㎡	346.00　㎡	4,148.48　㎡
最高高さ	15.100　m			
最高軒高	14.500　m			
その他				

駐車概要

第１駐車場	５２　台
第２駐車場	４３　台
ＵＤ駐車場	２　台
車庫	１３　台
合計	１１０台

駐輪概要

来庁駐輪場	１０　台
職員駐輪場	２４　台
合計	３４　台

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：300　A3＝1：600　単位　ＭＭ	平成３１年　３　月　作製	図面名称　案内図　面積表　配置図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	Ａ　—　０１	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

敷地求積図

記号	面　積　（㎡）
①	27.403 × 9.877 = 270.659431
②	27.403 × 18.155 = 497.501465
③	24.264 × 2.398 = 58.185072
④	31.645 × 15.303 = 484.263435
⑤	37.722 × 5.392 = 203.397024
⑥	48.898 × 22.626 = 1106.366148
⑦	29.376 × 7.373 = 216.589248
⑧	22.560 × 1.113 = 25.10928
⑨	24.037 × 2.049 = 49.251813
⑩	24.037 × 1.398 = 33.603726
⑪	23.178 × 10.147 = 235.187166
⑫	51.156 × 6.888 = 352.362528
⑬	51.156 × 5.958 = 304.787448
⑭	50.049 × 9.175 = 459.199575
⑮	50.582 × 8.017 = 405.515894
⑯	50.582 × 9.065 = 458.52583
⑰	62.487 × 44.575 = 2785.358025
⑱	11.115 × 3.061 = 34.023015
⑲	13.547 × 3.172 = 42.971084
⑳	12.109 × 3.823 = 46.292707
㉑	12.109 × 3.583 = 43.386547
㉒	58.847 × 9.862 = 580.349114
㉓	50.531 × 11.018 = 556.750558
㉔	59.595 × 8.078 = 481.40841
㉕	61.406 × 8.879 = 545.223874
㉖	25.115 × 8.996 = 225.93454
㉗	25.115 × 7.829 = 196.625335
㉘	62.487 × 0.185 = 11.560095
㉙	62.400 × 7.959 = 496.6416
㉚	58.289 × 1.661 = 96.818029
㉛	57.730 × 7.656 = 441.98088
㉜	15.672 × 4.682 = 73.376304
㉝	11.389 × 6.031 = 68.687059
㉞	9.913 × 4.720 = 46.78936
㉟	9.836 × 2.751 = 27.058836
㊱	2.856 × 1.149 = 3.281544
㊲	47.234 × 17.926 = 846.716684
㊳	47.234 × 15.068 = 711.721912
㊴	29.652 × 13.189 = 391.080228
㊵	35.699 × 6.696 = 239.040504
㊶	35.699 × 30.970 = 1105.59803
㊷	31.245 × 3.186 = 99.54657
㊸	29.024 × 12.450 = 361.3488
倍積　計	15720.078
計　×1/2	7860.039
改め	7860.03

① ～ ㊳ ： 第二種住居地域	
倍積　計	13523.463
計　×1/2	6761.731
改め	6761.73
㊴ ～ ㊸ ： 近隣商業地域	
倍積　計	2196.614
計　×1/2	1098.307
改め	1098.30

容積率（法52条）	
第二種住居地域：200%	
近隣商業地域：200%	
計	200%
建ぺい率（法53条）	
第二種住居地域：60%	6761.72 ／ 7860.03 × 0.6 ＝ 0.51616
近隣商業地域：80%	1098.30 ／ 7860.03 × 0.8 ＝ 0.11179
計	62.79%

敷　地　求　積　図　　A1版 1/ 300　A3版 1/ 600

NOTE　※少数点４位を四捨五入にて計算し、各集計採用値は少数点３位以下切り捨て

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事

青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺　A1＝1：300　A3＝1：600　単位　ＭＭ

検　印　担　当　製　図　製　図

平成３１年　３　月　作製

Ａ　一　０２

図面名称　敷地求積図

管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎：地盤面

高低差 (a) m	長さ (b) m	面積 (c) ㎡
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	12.750	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	0.100	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	6.750	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	7.500	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	19.500	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	7.500	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	6.750	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	0.100	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	12.750	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	23.000	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	58.500	0.000
(0.00+0.00) ÷2= 0.000	23.000	0.000
計	178.200	0.000
c ÷ b		0.000
改め		0.00
庁舎　地盤面高さ（m）		設計GL±0

車庫：地盤面

高低差 (a) m	長さ (b) m	面積 (c) ㎡
(-0.02-0.02) ÷2= -0.020	7.700	-0.154
(-0.02-0.02) ÷2= -0.020	0.700	-0.014
(-0.02-0.02) ÷2= -0.020	0.700	-0.014
(-0.02-0.02) ÷2= -0.020	46.300	-0.926
(-0.02-0.02) ÷2= -0.020	7.000	-0.140
(-0.02-0.02) ÷2= -0.020	47.000	-0.940
計	109.400	-2.188
c ÷ b		-0.020
改め		-0.02
庁舎　地盤面高さ（m）		設計GL-0.02

倉庫：地盤面

高低差 (a) m	長さ (b) m	面積 (c) ㎡
(-0.25-0.25) ÷2= -0.250	10.000	-2.500
(-0.25-0.25) ÷2= -0.250	17.300	-4.325
(-0.25-0.25) ÷2= -0.250	10.000	-2.500
(-0.25-0.25) ÷2= -0.250	17.300	-4.325
計	54.600	-13.650
c ÷ b		-0.250
改め		-0.25
庁舎　地盤面高さ（m）		設計GL-0.25

平均地盤面

b　合計	342.200 m
c　合計	-15.838 ㎡
c ÷ b	-0.046 m
改め	-0.04 m
庁舎　地盤面高さ（m）	設計GL-0.04

NOTE　※少数点４位を四捨五入にて計算し、各集計採用値は少数点３位以下切り捨て

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事

青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺　A1＝1：300　A3＝1：600　単位　MM

検　印　担当　製図　製図

平成３１年　３月　作製

A　一　03

図面名称　平均地盤面算定

管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

３階床面積求積図

２階床面積求積図

１階床面積求積図

庁舎：延床面積

記号	１　階　（㎡）	記号	２　階　（㎡）	記号	３　階　（㎡）
イ	58.500 × 23.000 ＝ 1345.500	ニ	58.500 × 23.000 ＝ 1345.500	ヘ	33.160 × 23.100 ＝ 765.996
ロ	33.160 × 0.100 ＝ 3.316	ホ	33.160 × 0.100 ＝ 3.316		
ハ	6.500 × 2.900 ＝ 18.850				
各階延床面積（㎡）	1367.66		1348.81		765.99
延床面積（㎡）	3482.46				

庁舎：容積対象面積

記号	１　階　（㎡）	記号	２　階　（㎡）	記号	３　階　（㎡）
E1	2.430 × 2.725 ＝ 6.62175	E1	2.430 × 2.725 ＝ 6.62175	E1	2.910 × 2.725 ＝ 7.92975
E2	2.145 × 2.425 ＝ 5.202	E2	2.145 × 2.425 ＝ 5.202	E2	2.145 × 2.425 ＝ 5.202
昇降路合計（㎡）	36.77925				
改め（㎡）	36.77				
容積対象面積（㎡）	▲昇降路部面積 38.77㎡ 3445.69				

庁舎：建築面積

記号	（㎡）
ト	17.305 × 1.000 ＋ 17.305 × 1.000 ＋ 21.890 × 9.000 － ロ － ハ ＝ 209.454
チ	1.900 × 0.500 ＝ 0.950
建築面積（㎡）	1578.06

ＮＯＴＥ　※少数点４位を四捨五入にて計算し、各集計採用値は少数点３位以下切り捨て

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：200　A3＝1：400	単位　ＭＭ				平成３１年　３月　作製	図面名称　床面積表
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検	印		担当	製図	製図	Ａ　一　０４
							管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

３階床面積求積図

２階床面積求積図

１階床面積求積図

庁　舎

	区画Ａ　（㎡）	区画Ｂ　（㎡）	区画Ｃ　（㎡）	区画Ｄ　（㎡）
	12.730 × 4.250 ＝ 54.103	8.550 × 4.250 ＝ 36.3375	12.730 × 4.250 ＝ 54.103	2.520 × 1.825 ＝ 4.599
	2.520 × 1.825 ＝ 4.599	17.200 × 1.480 ＝ 25.456	2.520 × 1.825 ＝ 4.599	24.030 × 4.250 ＝ 102.128
	4.200 × 4.250 ＝ 17.850	17.450 × 11.555 ＝ 201.635	10.970 × 4.250 ＝ 46.623	2.910 × 16.125 ＝ 46.924
	26.000 × 16.125 ＝ 419.250	13.075 × 5.815 ＝ 76.031	29.990 × 16.125 ＝ 483.589	9.650 × 16.200 ＝ 156.330
	12.670 × 2.625 ＝ 33.259	12.670 × 5.715 ＝ 72.409	2.780 × 1.480 ＝ 4.114	20.600 × 16.400 ＝ 337.840
	0.480 × 2.725 ＝ 1.308		2.255 × 11.495 ＝ 25.921	20.100 × 2.450 ＝ 49.245
	10.420× 2.725 ＝ 28.395	25.730 × 5.730 ＝ 147.433	2.765 × 3.275 ＝ 9.055	
	15.300 × 5.730 ＝ 87.669	26.255 × 11.495 ＝ 301.801	12.670 × 2.625 ＝ 33.259	
	15.050 × 11.555 ＝ 173.903	25.745 × 3.275 ＝ 84.315	0.480 × 2.725 ＝ 1.308	
	6.755 × 5.815 ＝ 39.280	15.840 × 2.600 ＝ 41.184	14.410 × 2.725 ＝ 39.267	
	6.500 × 2.900 ＝ 18.850	12.670 × 2.500 ＝ 31.675		
			9.650 × 2.650 ＝ 25.573	
			0.500 × 2.450 ＝ 1.225	
計	877.466	1,018.277	728.636	697.066
改め	877.46	1,018.27	728.63	697.06

庁　舎

	区画Ｅ　（㎡）	区画Ｆ　（㎡）	区画Ｇ　（㎡）	区画Ｈ　（㎡）
	2.430 × 2.725 ＝ 6.622	1.925 × 4.250 ＝ 8.181	2.145 × 2.425 ＝ 5.202	2.995 × 2.380 ＝ 7.128
	2.430 × 2.725 ＝ 6.622	2.995 × 1.870 ＝ 5.601	2.145 × 2.425 ＝ 5.202	2.005 × 2.425 ＝ 4.862
	2.910 × 2.725 ＝ 7.930	6.925 × 2.425 ＝ 16.793	2.145 × 2.425 ＝ 5.202	1.630 × 1.825 ＝ 2.975
		6.550 × 1.825 ＝ 11.954		
		6.985 × 2.425 ＝ 16.939		
		6.610 × 1.825 ＝ 12.063		
計	21.174	71.531	15.606	14.965
改め	21.17	71.53	15.60	14.96

庁　舎

	区画Ｉ　（㎡）			
	8.650 × 4.250 ＝ 36.7625			
計	36.763			
改め	36.76			

防火区画　凡例

面積区画（準耐火構造の床及び壁・特定防火設備）
1時間耐火　FP060NP-0174（間仕切壁）強化石膏ボードｔ-12.5＋12.5両面重貼　＋特定防火設備

面積区画（準耐火構造の床及び壁・特定防火設備）
1時間耐火　FP060NP-9240（間仕切壁）押出成形セメント板ｔ-60＋特定防火設備

面積区画（準耐火構造の床及び壁・特定防火設備）
1時間耐火　FP060NP-0007（間仕切壁）強化石膏ボードｔ-21＋21片面重貼

令112条10項の規定による幅90cm以上の準耐火構造の部分
1時間耐火　FP060NE-9035（外壁）押出成形セメント板ｔ-60縦張り

※柱及び梁等との納まりにはロックウールを用いる。
1時間耐火　FP060NE-9305（外壁）ロックウールｔ-30
1時間耐火　FP060CN-9460（柱）ロックウールｔ-25
1時間耐火　FP060BN-9408（梁）ロックウールｔ-25
1時間耐火　FP060FL-9128（床）ロックウールｔ-15

ＮＯＴＥ　※少数点４位を四捨五入にて計算し、各集計採用値は少数点３位以下切り捨て

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：200　A3＝1：400　単位　ＭＭ　検　印　担　当　製　図　製　図	平成３１年　３　月　作製　Ａ　一　０５	図面名称　防火区画図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877			管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

外部仕上表

屋根	デッキコンクリート下地　アスファルト露出断熱(硬質ポリウレタンフォームｔ-50)防湿層付防水《JSX-920GF同等以上》保護塗料塗布　立上り脱気装置 ステンレスルーフドレン（融雪キャップ付φ100）
ポーチ屋根	ルーフデッキH75下地　アスファルト露出断熱(硬質ポリウレタンフォームｔ-30)防湿層付防水《IRJ-920GF同等以上》保護塗料塗布 ステンレスルーフドレン（融雪キャップ付φ100）
職員出入口屋根	木毛セメント板ｔ-15下地　ガルバリウム鋼板ｔ-0.4（横平葺）　雪止め金具１列
笠木	アルミ製笠木(既製品 ステンカラー)
外壁	押出成形セメント板ｔ＝60、ｔ＝60+15（デザインパネル）縦張りの上、ＤＰ（Ｂ種）　ニューセーフティ工法　　デザインパネル形状はプライムライン　同等品
建具	アルミ製建具 見込 70(複層硝子)･水切･アングル･結露受 ステンカラー
正面ポーチ	床：磁器質タイル300角　　柱：亜鉛メッキ処理の上、耐候性ダイノックシート貼（巾木：磁器質タイル）　　天井：アルミ製スパンドレル
職員出入口	床：磁器質タイル300角　　天井：アルミ製スパンドレル
庇	ハニカムパネルｔ-105
基礎部	コンクリート打放し補修の上、樹脂モルタル塗り
犬走り	磁器質タイル300角　、インターロッキングブロック300角　、コンクリート金ごて仕上
備考	定礎：W600×H400　御影石、　クツ洗い場：ステンレスグレーチング、　自転車スタンド、　SUSタラップ

特記事項

断熱材			
屋根：硬質ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ　t-50（防水ﾒｰｶｰ仕様）、ｽﾗﾌﾞ下外壁面より600まで現場発泡ｳﾚﾀﾝ t-30			
ポーチ屋根：硬質ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ　t-30（防水ﾒｰｶｰ仕様）			
壁　：現場発泡ウレタン　t-40			
床　：コンクリートスラブ部分（内部）押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 2種b t-50打込			
耐火仕様			
屋根	フラットデッキH75	30分耐火	FP030RF-1745
床	デッキ合成スラブ	1時間耐火	FP060FL-0079
床	ロックウール吹付ｔ-15	1時間耐火	FP060FL-9128
外壁	押出成形セメント板縦張り　t-60、ｔ-60+15	1時間耐火	FP060NE-9035
外壁	繊維混入ケイ酸カルシウム板ｔ-35	1時間耐火	FP060NE-9176
外壁	ロックウール吹付ｔ-30	1時間耐火	FP060NE-9305
間仕切り壁	強化石膏ボードｔ-12.5＋12.5 両面重貼	1時間耐火	FP060NP-0174
間仕切り壁	強化石膏ボードｔ-21＋21片面重貼	1時間耐火	FP060NP-0007
柱	ロックウール吹付ｔ-25	1時間耐火	FP060CN-9460
梁	ロックウール吹付ｔ-25	1時間耐火	FP060BM-9408

防火等認定番号

・集成材は特記なき場合はヒバとする。			
・建材及び建築材料　：　使用する材料は全てＦ☆☆☆☆に対応する規格とする。			
・天井点検口はアルミ製600角スリム額縁とする。			
・ケイカル板の比重は1.0とする。			
・電気設備及び機械設備工事の天井補強は本工事とする。			
・特記なき合板は１類とする。			
・ＥＶピット内の床及び壁はケイ酸質系塗布防水とする。			
・多孔質セラミック調質建材は LIXIL エコカラット Ｓシリーズ 同等品			
・単色不燃化粧板ｔ-6、ｔ-3は DIC フネン ソリッドカラー 同等品			
・木目シート貼り不燃化粧板ｔ-6.0は DIC フネン WO 同等品			
・OAフロアは、システム重量23kg/㎡程度とする。			
・高機能床用断熱材は、三昌フォームテック ネダフォーム 同等品			
・居室の壁（床面より1.2m以下の部分除く）及び天井は難燃材料以上とする。			
・廊下及び階段の壁及び天井は準不燃材料以上とする。			

国土交通省防火材料認定番号			
・硬質石膏ボード	t-9.5, t-12.5	不燃	NM-9645
・石膏ボード	t-12.5	不燃	NM-8619
・石膏ボード	t-9.5	不燃	NM-0411
・単色不燃化粧板	t-6.0, t-3.0	不燃	NM-0458、NM-0926
・木目シート貼り不燃化粧板	t-6.0	不燃	NM-1897
・ケイ酸カルシウム板	t-5.0, t-6.0	不燃	NM-8578
・ロックウール化粧吸音板	t-9.0	不燃	NM-8599
・化粧石膏ボード	t-9.5	不燃	NM-1864、準不燃 QM-0524
・不燃クロス		不燃	NM-0280
・EP（合成樹脂エマルションペイント）		不燃	NM-8585、準不燃 QM-9816
・ガラスクロス押えグラスウールボードｔ-50（32K）		不燃	NM-8604

内部仕上表

棟	階		室名	床 下地	床 仕上	床 FLからの高さ	巾木	巾木 高さ		壁 下地	壁 仕上		天井 下地	天井 廻り縁	天井 仕上	天井高		備考	ブラインドボックス	室名札		
庁舎	共通	1	階段１	ＰＬ	タモ集成材ｔ-35 UC	±０	木調ソフト巾木	６０	1	ＬＧＳ	硬質石膏ボードｔ-12.5下地　木目シート貼り不燃化粧板ｔ-6.0　目透かし貼	1	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	－	1				階段１	1
		2	階段２	モルタル	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	木調ソフト巾木	６０	2	ＬＧＳ	強化石膏ボードｔ-12.5 ＥＰ	2	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	－	2				階段２	2
		3	ＥＰＳ		コンクリート金ゴテ 一部　置敷きビニル床タイル　５００角　ｔ-5.0	－８０ ±０	ソフト巾木	６０	3	ＬＧＳ	硬質石膏ボードｔ-12.5	3	ＬＧＳ	塩ビ製	床板・鉄部表し	－	3			○	ＥＰＳ	3
		4							4			4					4					4
		5							5			5					5					5
	1階	6	風除室１	モルタル	靴ふきマット 一部 ３００角 磁器質タイル貼	±０～－５０	耐凍害性磁器質100角タイル	１００	6	ＬＧＳ	ケイ酸カルシウム板（比重1.0）ｔ-8下地　せっ器質100角タイル（デザインタイプ）	6	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	３，１００ ～３，１３０	6				風除室１	6
		7	風除室２	モルタル	靴ふきマット 一部 ３００角 磁器質タイル貼	－２０～－５０	耐凍害性磁器質100角タイル	１００	7	ＬＧＳ	ケイ酸カルシウム板（比重1.0）ｔ-8下地　磁器質300×75角タイル（デザインタイプ）	7	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，８００ ～２，８３０	7	カウンター			風除室２	7
		8	風除室３	モルタル	靴ふきマット 一部 ３００角 磁器質タイル貼	－２０～－５０	耐凍害性磁器質100角タイル	１００	8	ＬＧＳ	硬質石膏ボード目スカシ貼　ｔ-12.5 ＥＰ	8	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００ ～２，７３０	8				風除室３	8
		9	エントランスホール 待合ホール１（ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	置敷きビニル床タイル　５００角　ｔ-5.0	±０	木調ソフト巾木	６０	9	ＬＧＳ	硬質石膏ボードｔ-12.5下地　木目シート貼り不燃化粧板ｔ-6.0　目透かし貼	9	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，８００ 一部２，９５０	9		○		エントランスホール 待合ﾎｰﾙ1(ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ)	9
		10	自販機コーナー	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	置敷きビニル床タイル　５００角　ｔ-5.0	±０	木調ソフト巾木	６０	10	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼（FL+2,200以上開放）	10	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，８００	10		○	○	自販機コーナー	10
		11	執務室１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	タイルカーペット　ｔ-6.0	±０	木調ソフト巾木	６０	11	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	11	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，８００	11	カウンター、スチール製棚		○	執務室１	11
		12	執務室２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	タイルカーペット　ｔ-6.0	±０	木調ソフト巾木	６０	12	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	12	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，８００	12	カウンター、スチール製棚		○	執務室２	12
		13	執務室３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	タイルカーペット　ｔ-6.0	±０	木調ソフト巾木	６０	13	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	13	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，８００	13	カウンター、スチール製棚		○	執務室３	13
		14	大会議室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	タイルカーペット　ｔ-6.0	±０	木調ソフト巾木	６０	14	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	14	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-12（石膏ボードｔ-9.5下地）	２，７００	14		○	○	大会議室	14
		15	相談室１～３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	タイルカーペット　ｔ-6.0	±０	木調ソフト巾木	６０	15	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	15	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	15		○	○	相談室１～３	15
		16	相談室４（救護室）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	耐水合板ｔ-12下地　縁付き厚畳ｔ-60	±０	畳寄せ	６０	16	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	16	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	16		○	○	相談室４（救護室）	16
		17	授乳室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	置敷きビニル床タイル　５００角　ｔ-5.0	±０	木調ソフト巾木	６０	17	ＬＧＳ	腰壁：耐水PBｔ-12.5下地 単色不燃化粧板ｔ-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：PBｔ-12.5下地　不燃クロス貼	17	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	17	システムキッチンL=1,200、吊り戸棚L=1,200×H500	○	○	授乳室	17
		18	守衛室・電話交換室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	タイルカーペット　ｔ-6.0	±０	ソフト巾木	６０	18	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼 一部：単色不燃化粧板ｔ-3（ジョイナー工法）	18	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	18	システムキッチンL=1,500（1口IHｸｯｸﾋｰﾀｰ）、吊り戸棚L=900×H500、 水切棚L=600、レンジフードL=600（機械設備工事）	○	○	守衛室・ 電話交換室	18
		19	職員休憩室（男）（女）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	19	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼 一部：単色不燃化粧板ｔ-3（ジョイナー工法）	19	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5	２，７００	19	システムキッチンL=1,200、吊り戸棚L=1,200×H500、水切棚L=1,200	○	○	職員休憩室 （男）（女）	19
		20	職員更衣室（男）（女）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	20	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	20	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5	２，７００	20		○	○	職員更衣室 （男）（女）	20
		21	脱衣室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	21	ＬＧＳ	耐水石膏ボード　t-12.5の上、化粧ケイ酸カルシウム板　ｔ-6（ジョイナー工法）	21	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5	２，７００	21				脱衣室	21
		22	ユニットシャワー室（US）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	低床シャワーユニット０８１２タイプ				22			22					22	ユニットシャワー			ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ室（US）	22
		23	湯沸室１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	23	ＬＧＳ	耐水石膏ボード　t-12.5の上、化粧ケイ酸カルシウム板　ｔ-6（ジョイナー工法）	23	ＬＧＳ	塩ビ製	ケイ酸カルシウム板　ｔ-5 EP（耐水石膏ボードｔ-9.5下地）	２，７００	23	システムキッチンL=1,200＋1,050、吊り戸棚L=2,250×H500、水切棚L=1,200			湯沸室１	23
		24	書庫１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	24	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	24	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5	２，７００	24	移動書庫		○	書庫１	24
		25	書庫２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	25	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	25	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5	２，７００	25	耐火書庫		○	書庫２	25
		26	書庫３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	26	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	26	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5	２，７００	26	耐火金庫		○	書庫３	26
		27	廊下１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 一部OAフロア	置敷きビニル床タイル　５００角　ｔ-5.0	±０	木調ソフト巾木	６０	27	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	27	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	27				廊下１	27
		28	廊下２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 一部OAフロア	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法 一部　置敷きビニル床タイル　５００角　ｔ-5.0	±０	ソフト巾木	６０	28	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	28	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	28				廊下２	28
		29	廊下３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｧｸｽ品）　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	29	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	29	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	29				廊下３	29
		30	廊下４	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ OAフロア	置敷きビニル床タイル　５００角　ｔ-5.0	±０	木調ソフト巾木	６０	30	ＬＧＳ	石膏ボード　t-12.5の上、不燃クロス貼	30	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	30				廊下４	30
		31	トイレ前室１（SK）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	消臭性ビニル床シートｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	31	ＬＧＳ	腰壁：耐水PBｔ-12.5下地 単色不燃化粧板ｔ-6 目透かし貼　H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBｔ-12.5　ＥＰ	31	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9	２，７００	31			○	トイレ前室１（SK）	31
		32	男子トイレ１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	消臭性ビニル床シートｔ-2.0 溶接工法 小便器前：磁器質汚垂石タイルｔ-5.5	±０	ソフト巾木	６０	32	ＬＧＳ	腰壁：耐水PBｔ-12.5下地 単色不燃化粧板ｔ-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBｔ-12.5　ＥＰ（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	32	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9（GW16kg/m3敷き）	２，７００	32	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1200×1000H） 床下点検口600角（防臭型、鍵付）、壁付型小便器用手摺		○	男子トイレ１	32
		33	女子トイレ１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	消臭性ビニル床シート　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	33	ＬＧＳ	腰壁：耐水PBｔ-12.5下地 単色不燃化粧板ｔ-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBｔ-12.5　ＥＰ（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	33	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9（GW16kg/m3敷き）	２，７００	33	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1800×1000H） 床下点検口600角（防臭型、鍵付）		○	女子トイレ１	33
		34	多目的トイレ１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	消臭性ビニル床シート　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	34	ＬＧＳ	腰壁：耐水PBｔ-12.5下地 単色不燃化粧板ｔ-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	34	ＬＧＳ	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9（GW16kg/m3敷き）	２，７００	34	ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（600×900H）、 床下点検口600角（防臭型、鍵付）		○	多目的トイレ１	34
		35	男子トイレ２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	消臭性ビニル床シートｔ-2.0 溶接工法 小便器前：磁器質汚垂石タイルｔ-5.5	±０	ソフト巾木	６０	35	ＬＧＳ	腰壁：耐水PBｔ-12.5下地 単色不燃化粧板ｔ-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBｔ-12.5　ＥＰ（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	35	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5（GW16kg/m3敷き）	２，７００	35	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（700×1000H） 床下点検口600角（防臭型、鍵付）		○	男子トイレ２	35
		36	女子トイレ２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	消臭性ビニル床シート　ｔ-2.0 溶接工法	±０	ソフト巾木	６０	36	ＬＧＳ	腰壁：耐水PBｔ-12.5下地 単色不燃化粧板ｔ-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBｔ-12.5　ＥＰ（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	36	ＬＧＳ	塩ビ製	化粧石膏ボード　ｔ-9.5（GW16kg/m3敷き）	２，７００	36	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1200×1000H） 床下点検口600角（防臭型、鍵付）		○	女子トイレ２	36
		37	機械室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	エポキシ樹脂系塗床材（防滑工法）	－８０	塗床仕上げ	１００	37	ＬＧＳ	ケイ酸カルシウム板（比重1.0）ｔ-6下地（一部成形セメント板ｔ-60下地） ガラスクロス押えグラスウールボードｔ-50（32K）化粧ピン止め	37			ガラスクロス押えグラスウールボードｔ-50（32K）化粧ピン止め	－	37			○	機械室	37
		38	消火ポンプ室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	エポキシ樹脂系塗床材（防滑工法）	－８０ －２５０	塗床仕上げ	１００	38	ＬＧＳ	ケイ酸カルシウム板（比重1.0）ｔ-6下地（一部強化石膏ボードｔ-12.5下地） ガラスクロス押えグラスウールボードｔ-50（32K）化粧ピン止め	38			階段裏ロックウール吹付	－	38			○	消火ポンプ室	38
		39							39			39					39					39
		40							40			40					40					40

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事設計業務	縮尺　－　単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　仕上表１
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ　－　０６	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

内 部 仕 上 表

棟	階		室名	床 下地	床 仕上	床 FLからの高さ	巾木	巾木 高さ		壁 下地	壁 仕上		天井 下地	天井 廻り縁	天井 仕上	天井 天井高		備考	ブラインドボックス	室名札		
庁舎	2階	1	待合ホール２（キッズコーナー）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	1	LGS	硬質石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼	1	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9 木目シート貼不燃ルーバーシステム 15×50	3,000 一部2,900	1		○		待合ホール２（キッズコーナー）	1
		2	執務室４	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	2	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	2	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,900 一部2,600	2	スチール製棚		○	執務室４	2
		3	待合スペース	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	3	LGS	硬質石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼	3	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	3,000	3		○		待合スペース	3
		4	町長室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	4	LGS	腰壁：石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼 見切12×40（H=2000）、FL+2000以上：石膏ボードt-12.5の上、不燃クロス貼	4	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	4	書棚、月予定表付ホワイトボード、ピクチャーレール（L=5,000/5,500）、 塩ビ製額受（L=5,000/5,500）	○	○	町長室	4
		5	副町長室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	5	LGS	腰壁：石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼 見切12×40（H=2000）、FL+2000以上：石膏ボードt-12.5の上、不燃クロス貼	5	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	5	書棚、月予定表付ホワイトボード、扉付き洗面台、ピクチャーレール（L=6,500）	○	○	副町長室	5
		6	応接室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	6	LGS	腰壁：石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼 見切12×40（H=2000）、FL+2000以上：石膏ボードt-12.5の上、不燃クロス貼	6	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	6	ピクチャーレール（L=6,500）、アルミ製スクリーンボックス	○	○	応接室	6
		7	教育長室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	7	LGS	腰壁：石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼 見切12×40（H=2000）、FL+2000以上：石膏ボードt-12.5の上、不燃クロス貼	7	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	7	書棚、月予定表付ホワイトボード、扉付き洗面台、ピクチャーレール（L=6,000）	○	○	教育長室	7
		8	相談室５	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	8	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	8	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	8		○	○	相談室５	8
		9	研修室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	ソフト巾木	60	9	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	9	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	9		○	○	研修室	9
		10	小会議室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	10	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	10	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	10		○	○	小会議室	10
		11	災害対策本部兼庁議室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	11	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	11	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	11		○	○	災害対策本部兼庁議室	11
		12	防災無線室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	ソフト巾木	60	12	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	12	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	12		○	○	防災無線室	12
		13	防災機器室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	ソフト巾木	60	13	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	13	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	13		○	○	防災機器室	13
		14	印刷室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	置敷きビニル床タイル ５００角 t-5.0	± 0	ソフト巾木	60	14	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	14	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	14		○	○	印刷室	14
		15	電算サーバー室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 重荷重0A2G7	タイルカーペット t-6.5（帯電防止品）	± 0	ソフト巾木	60	15	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	15	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,700	15	可動間仕切り	○	○	電算サーバー室	15
		16	更衣室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.5 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	16	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼 一部：単色不燃化粧板t-3（ジョイナー工法）	16	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	16	洗面化粧台（設備工事）	○		更衣室	16
		17	湯沸室２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	17	LGS	耐水石膏ボード t-12.5の上、化粧ケイ酸カルシウム板 t-6（ジョイナー工法）	17	LGS	塩ビ製	ケイ酸カルシウム板 t-5 EP（耐水石膏ボードt-9.5下地）	2,700	17	コンパクトキッチンL=1,500（1口IHヒーター）、吊り戸棚L=900×H500、水切棚L=600		○	湯沸室２	17
		18	湯沸室３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	18	LGS	耐水石膏ボード t-12.5の上、化粧ケイ酸カルシウム板 t-6（ジョイナー工法）	18	LGS	塩ビ製	ケイ酸カルシウム板 t-5 EP（耐水石膏ボードt-9.5下地）	2,700	18	システムキッチンL=1,350、吊り戸棚L=1,350×H500、水切棚L=1,200		○	湯沸室３	18
		19	書庫４	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	19	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	19	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	19	移動書庫		○	書庫４	19
		20	物置１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	20	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	20	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	20	SUSパイプ、壁掛けヘルメットハンガー		○	物置１	20
		21	廊下５	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	21	LGS	硬質石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼	21	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	21				廊下５	21
		22	廊下６	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	22	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	22	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	22				廊下６	22
		23	廊下７	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	23	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	23	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	23				廊下７	23
		24	トイレ前室２（SK）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ（増し打ち）	消臭性ビニル床シートt-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	24	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 目透かし貼 H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBt-12.5 EP	24	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	24			○	トイレ前室２（SK）	24
		25	男子トイレ３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ（増し打ち）	消臭性ビニル床シートt-2.0 溶接工法 小便器前：磁器質汚垂石タイルt-5.5	± 0	ソフト巾木	60	25	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBt-12.5 EP（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	25	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,700	25	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1400×1000H）		○	男子トイレ３	25
		26	女子トイレ３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ（増し打ち）	消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	26	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBt-12.5 EP（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	26	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,700	26	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1245×1000H）		○	女子トイレ３	26
		27	多目的トイレ２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ（増し打ち）	消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	27	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	27	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,700	27	ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（600×900H）		○	多目的トイレ２	27
		28	男子トイレ４	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	木質ソフト巾木	60	28	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0（シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	28	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,600	28	ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1000×1000H）		○	男子トイレ４	28
		29	女子トイレ４	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	木質ソフト巾木	60	29	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0（シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	29	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,600	29	ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1000×1000H）		○	女子トイレ４	29
		30							30			30					30					30
	3階	31	待合ホール３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	31	LGS	硬質石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼	31	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	31		○		待合ホール３	31
		32	議場	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-8.0	±0～+400	木製巾木 UC	100	32	LGS	腰壁：石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透し貼、見切12×40（H=3000） FL+3000以上：PBt-12.5の上、不燃ｸﾛｽ貼及びPBt-12.5 EPの上、米松無垢材 WOL（平12建告1439）	32	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	5,000	32	議席、電動ロールブラインド、議長席後方壁：寄木風デザイン杉板貼	○	○	議場	32
		33	傍聴席	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0Aフロア	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	100	33	LGS	石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼	33	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	33			○	傍聴席	33
		34	委員会室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0A2G7	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	34	LGS	腰壁：PBt-12.5の上、スギ無垢材 WOL 見切12×40（H=1200）、FL+1200以上：石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	34	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	34		○	○	委員会室	34
		35	正副議長室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0A2G7	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	35	LGS	腰壁：石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼 見切12×40（H=2000）、FL+2000以上：石膏ボードt-12.5の上、不燃クロス貼	35	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	35	書棚、月予定表付ホワイトボード、扉付き洗面台、ピクチャーレール（L=6,300/5,800） 塩ビ製額受（L=5,500/5,500）	○	○	正副議長室	35
		36	議員控室兼議会図書室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0A2G7	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	36	LGS	腰壁：石膏ボードt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0 目透かし貼 見切12×40（H=2000）、FL+2000以上：石膏ボードt-12.5の上、不燃クロス貼	36	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	36	書棚、扉付き洗面台、ピクチャーレール（L=6,500）	○	○	議員控室兼議会図書室	36
		37	議会事務局	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0A2G7	タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	37	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	37	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	37	月予定表付ホワイトボード、スチール製棚	○	○	議会事務局	37
		38	監査委員室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0A2G7	タイルカーペット t-6.0	± 0	木製巾木 UC	60	38	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	38	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-12（石膏ボードt-9.5下地）	2,700	38		○	○	監査委員室	38
		39	議員更衣室（男）（女）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	39	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	39	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	39		○	○	議員更衣室（男）（女）	39
		40	湯沸室４	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	40	LGS	耐水石膏ボード t-12.5の上、化粧ケイ酸カルシウム板 t-6（ジョイナー工法）	40	LGS	塩ビ製	ケイ酸カルシウム板 t-5 EP（耐水石膏ボードt-9.5下地）	2,700	40	システムキッチンL=1,350、吊り戸棚L=1,350×H500、水切棚L=1,200		○	湯沸室４	40
		41	書庫５	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 0A2G7	長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	41	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	41	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	41	移動書庫		○	書庫５	41
		42	物置２	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	42	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	42	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	42			○	物置２	42
		43	物置３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 長尺塩ビシート（ﾉｰﾌｯｸｽ品） t-2.0 溶接工法	± 0	木質ソフト巾木	60	43	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	43	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5	2,700	43			○	物置３	43
		44	廊下８	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 一部0Aフロア	一部 高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 タイルカーペット t-6.0	± 0	木質ソフト巾木	60	44	LGS	石膏ボード t-12.5の上、不燃クロス貼	44	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	44				廊下８	44
		45	トイレ前室３（SK）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	45	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 目透かし貼 H=2000 見切、FL+2000以上：耐水PBt-12.5 EP	45	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9	2,700	45	トイレブース		○	トイレ前室３（SK）	45
		46	男子トイレ５	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt-2.0 溶接工法 小便器前：磁器質汚垂石ﾀｲﾙt-5.5	± 0	ソフト巾木	60	46	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	46	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,600	46	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（700×1000H）		○	男子トイレ５	46
		47	女子トイレ５	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	47	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	47	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,600	47	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1000×1000H）		○	女子トイレ５	47
		48	多目的トイレ３	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	ソフト巾木	60	48	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 単色不燃化粧板t-6 （シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	48	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,600	48	ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（600×900H）		○	多目的トイレ３	48
		49	男子トイレ６	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt-2.0 溶接工法 小便器前：磁器質汚垂石ﾀｲﾙt-5.5	± 0	木質ソフト巾木	60	49	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0（シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	49	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,700	49	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（600×1000H）		○	男子トイレ６	49
		50	女子トイレ６	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	高機能床用断熱材 耐水合板t-12 下地 消臭性ビニル床シート t-2.0 溶接工法	± 0	木質ソフト巾木	60	50	LGS	腰壁：耐水PBt-12.5下地 木目シート貼り不燃化粧板t-6.0（シール工法）H=2000 見切、FL+2000以上：多孔質セラミック調湿建材（LGS間仕切壁内部GW16kg/m3充填）	50	LGS	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板 t-9（GW16kg/m3敷き）	2,700	50	トイレブース、ライニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（1000×1000H）		○	女子トイレ６	50
		51							51			51					51					51
		52							52			52					52					52
		53							53			53					53					53
		54							54			54					54					54
		55							55			55					55					55
		56							56			56					56					56
		57							57			57					57					57
		58							58			58					58					58

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事設計業務

青森県A１の２号 株式会社川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺 － 単位 MM

検	印		担当	製図	製図

平成３１年 ３ 月 作製

A 一 07

図面名称 仕上表２

管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

凡　例

＊PSは水平区画とし、設備配管等の貫通部分は耐火処理をする。

- 視覚障碍者誘導用ブロック
- ピット位置を示す
- ＯＡフロア位置を示す
- 1時間耐火　FP060NP-0174（間仕切壁）強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t-12.5+12.5両面重貼＋特定防火設備
- 1時間耐火　FP060NP-9240（間仕切壁）押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t-60＋特定防火設備
- 令112条10項の規定による幅90cm以上の準耐火構造の部分　1時間耐火　FP060NE-9035（外壁）押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t-60縦張り
- 1時間耐火　FP060CN-9460（柱）ロックウール t-25

庁舎　1階　平面図　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1=1:100　A3=1:200	単位　MM	平成31年　3月　作製	図面名称　1階　平面図	
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図		A — 08	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正	

凡　例

＊ PSは水平区画とし、設備配管等の貫通部分は耐火処理をする。

視覚障碍者誘導用ブロック

ＯＡフロア位置を示す

1時間耐火　FP060NP-0174（間仕切壁）
強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t-12.5+12.5両面重貼＋特定防火設備

1時間耐火　FP060NP-9240（間仕切壁）押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t-60＋特定防火設備

令112条10項の規定による幅90cm以上の準耐火構造の部分
1時間耐火　FP060NE-9035（外壁）押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t-60縦張り

1時間耐火　FP060CN-9460（柱）ロックウール t-25

庁　舎　２　階　平　面　図　　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200	単位　MM					平成３１年　３月　作製	図面名称　２階　平面図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検	印		担当	製図	製図	Ａ　一　０９	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　３階　平面図　A1版 1/100　A3版 1/200

凡　例

＊PSは水平区画とし、設備配管等の貫通部分は耐火処理をする。

- 視覚障碍者誘導用ブロック
- ＯＡフロア位置を示す
- 1時間耐火　FP060NP-0174（間仕切壁）強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t-12.5+12.5両面重貼＋特定防火設備
- 1時間耐火　FP060NP-9240（間仕切壁）押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t-60＋特定防火設備
- 令112条10項の規定による幅90cm以上の準耐火構造の部分　1時間耐火　FP060NE-9035（外壁）押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t-60縦張り
- 1時間耐火　FP060CN-9460（柱）ロックウール t-25
- 非常用代替侵入口を示す

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　３階　平面図
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	Ａ　一　１０	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

庁　舎　　Ｒ２階　屋根伏図　　A1版 1/100　A3版 1/200

庁　舎　　Ｒ３階　屋根伏図　　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　Ｒ階　平面図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	Ａ　一　１１	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

南 側　立面図

西 側　立面図

北 側　立面図

東 側　立面図

イ	笠木：	アルミ製笠木(既製品 ステンカラー)	チ	建具：	アルミ製カーテンウォール	ヨ	柱： 溶融亜鉛めっき処理の上、耐候性ダイノックシート貼
ロ	笠木：	フッ素樹脂塗装アルミ製 t-2.5曲げ笠木	リ	建具：	スチール製ドア	タ	広告物： 懸垂幕　縦型
ハ	外壁：	中空押出成形セメント板 t-60 ＤＰ（Ｂ種）	ヌ	腰壁：	鉄筋コンクリート立上り 樹脂モルタル塗	レ	広告物： 懸垂幕　横型
ニ	外壁：	中空押出成形セメント板ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ t-60+15 ＤＰ（Ｂ種）	ル	ﾙｰﾊﾞｰ：	太陽電池一体型目隠しルーバー 横貼り	ソ	広告物： ＳＵＳ製箱文字　t-1.5 ＋フィルム貼り
ホ	庇：	アルミ製ハニカムパネル t100	ヲ	ﾙｰﾊﾞｰ：	有孔折板 t-1.6　横貼り	ツ	トップライト
ヘ	庇：	フッ素樹脂塗装アルミ製 t-2.5曲げ加工	ワ	水切り：	アルミ製水切り	ネ	杉板
ト	庇：	ガルバリウム鋼板 t-0.4（横平葺）	カ	見切り：	フッ素樹脂塗装アルミ製 t-2.5曲げ加工	ナ	ＳＵＳタラップ

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事

青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺	単位	平成３１年　３月　作製	図面名称
A1=1:200 A3=1:400	ＭＭ	Ａ　一　１２	立面図
検　印	担当　製図　製図		管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事設計業務	縮尺　A1＝1：200　A3＝1：400　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　断面図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	Ａ　一　１３	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:30 A3=1:60 単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 矩計図（１）
青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 担 当 製 図 製 図	A ― 14	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:30 A3=1:60	単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 矩計図（２）	
青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印	担当 製図 製図	A ― 15	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正	

雪止め　詳細図

目隠しフェンス断面図

目隠しフェンス・太陽光パネル　詳細図

太陽光パネル断面図

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:30 A3=1:60	単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　矩計図（3）
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印	担当 製図 製図	A 一 16	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

エントランスポーチ　詳細図

設備ピット　詳細図

面積区画シャッター部　詳細図

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成31年　3　月　作製	図面名称　矩計図（4）
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　—　17	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

階段１平面詳細図　1/３０

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　階段１　平面詳細図
	青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A ― 18	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:30 A3=1:60 単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 階段1 断面詳細図
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 担当 製図 製図	A — 19	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

２階平面詳細図　1/３０

３階平面詳細図　1/３０

１階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60	単位　ＭＭ				平成３１年　３月　作製	図面名称　階段２　平面詳細図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印		担当	製図	製図	Ａ　一　２０	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

断面詳細図 1/30

A 詳細図 1/10

詳細図 1/10

断面詳細図 1/30

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:30 A3=1:60 単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 階段2 断面詳細図
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 担当 製図 製図	A — 21	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：30 A3＝1：60	単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 1階平面詳細図（1）	
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印	担当 製図 製図	A — 22	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正	

1階平面詳細図　1/３０

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３　月　作製	図面名称　１階平面詳細図（２）
	青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　―　２３	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

１階平面詳細図　　1/３０

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：30 A3＝1：60　単位 MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　１階平面詳細図（３）
	青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A ― 24	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

1階平面詳細図　1/30

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：30 A3＝1：60	単位 MM	平成３１年　３月　作製
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印	担当 製図 製図	A ― 25
図面名称　１階平面詳細図（４）	管理建築士 １級建築士登録第113986号 川島芳正		

1階平面詳細図　1/30

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:30 A3=1:60	単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称	1階平面詳細図（5）
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 / 担当 / 製図 / 製図		A — 26	管理建築士 1級建築士登録第113986号	川島芳正

１階平面詳細図　　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　ＭＭ	平成３１年　３　月　作製	図面名称　１階平面詳細図（６）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	Ａ　一　２７	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

１階平面詳細図　　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３　月　作製	図面名称　１階平面詳細図（７）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　―　２８	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

１階平面詳細図　　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　１階平面詳細図（８）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　一　29	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

２階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階平面詳細図（９）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　一　３０	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

２階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階平面詳細図（１０）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ　一　３１	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

相談室５

２階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階平面詳細図（１１）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　―　32	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

２階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：30 A3＝1：60	単位 MM	平成３１年　３月　作製	図面名称	２階平面詳細図（１２）
青森県A１の２号	株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL. 017(741)6497 FAX. 017(742)1877	検 印	担当 製図 製図	A ― 33	管理建築士	１級建築士登録第113986号 川島芳正

２階平面詳細図　　1/３０

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60	単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階平面詳細図（１３）
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図		Ａ　―　３４	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

２階平面詳細図　　1/３０

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階平面詳細図（１４）
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	Ａ　一　３５	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

３階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：30 A3＝1：60　単位 MM　検 印　担当 製図 製図	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称　３階平面詳細図（１５）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		A ― ３６	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

３階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　ＭＭ	平成３１年　３　月　作製	図面名称　３階平面詳細図（１６）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	Ａ　一　３７	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

３階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：30 A3＝1：60	単位 MM	平成３１年　３月　作製
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印	担当　製図　製図	A ― 38
			図面名称　３階平面詳細図（１７）
			管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

３階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　３階平面詳細図（１８）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A　一　３９	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

３階平面詳細図　1/３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３　月　作製	図面名称　３階平面詳細図（１９）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　―　40	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

風除室 1

A 面　B 面　C 面　D 面

執務室 1

A 面 （Y3通り）

A 面 （Y2通り）

B 面

D 面

C 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：60　A3＝1：120　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　１階展開図　（１）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　一　41	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

風除室２　A 面　B 面　C 面　D 面

守衛室　A 面　B 面

C 面　D 面

相談室１　A 面　B 面　C 面　D 面

相談室２　A 面　B 面　C 面　D 面

相談室３　A 面　B 面　C 面　D 面

相談室４　A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　１階展開図　（２）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	Ａ　一　４２	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

女子職員更衣室　A 面　B 面　C 面　D 面

女子職員休憩室　A 面　B 面

C 面　D 面

湯沸室1　A 面　B 面　C 面　D 面

風除室3　A 面　B 面　C 面　D 面

男子職員更衣室　A 面　B 面

C 面　D 面

脱衣室　A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　1階展開図 (3)
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印　担当 製図 製図	A — 43	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

男子職員休憩室

A 面　B 面　C 面　D 面

機械室

A 面　B 面　C 面　D 面

書庫 1

A 面　B 面　C 面　D 面

大会議室

A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 1階展開図 (4)
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 / 担当 / 製図 / 製図	A — 44	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

執務室　２

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

執務室　３

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

書庫　２

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

書庫　３

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

自販機コーナー

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　１階展開図　（５）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　一　45	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

授乳室　A 面　B 面　C 面　D 面

多目的トイレ１　A 面　B 面　C 面　D 面

女子トイレ１　A 面　B 面　B 面　C 面　D 面

男子トイレ１　A 面　B 面　C 面　D 面　D 面

女子トイレ２　A 面　B 面　C 面　D 面

男子トイレ２　A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　１階展開図　（６）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 46	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

廊下 1

A 面

B 面

D 面

廊下２・３

A 面

C 面

B 面

D 面

廊下 4

A 面

B 面

D 面

A 面

B 面

C 面

B 面

風除室３

B 面

D 面

トイレ前室１

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：60　A3＝1：120　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　１階展開図　（７）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A ― 47	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:60 A3=1:120	単位 MM				平成31年 3月 作製	図面名称 2階展開図 （8）
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検	印	担当	製図	製図	A 一 48	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

防災無線室

A 面　B 面　C 面　D 面

災害対策本部
兼庁議室

A 面　B 面　C 面　D 面

副町長室

A 面　B 面　C 面　D 面

応 接 室

A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100　単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称　２階展開図 （９）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印　担当 製図 製図	A ― 49	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

町 長 室

A 面　B 面　C 面　D 面

町長更衣室

A 面　B 面　C 面　D 面

物置 1

A 面　B 面　C 面　D 面

湯沸室２

A 面　B 面　C 面　D 面

防災機器室

A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100　単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称　２階展開図 （10）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印　担当 製図 製図	A ― 50	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

印 刷 室

A 面　B 面　C 面　D 面

小会議室

A 面　B 面　C 面　D 面

電算サーバー室

A 面　B 面　B 面　C 面　D 面

書庫 4

A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100	単位 MM					平成31年 3月 作製	図面名称　2階展開図 (11)
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検	印		担当	製図	製図	A — 51	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

研　修　室

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

相談室５

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

湯　沸　室

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

教育長室

A　面　　B　面　　C　面　　D　面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1=1:50　A3=1:100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階展開図　（12）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　―　52	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

多目的トイレ２　A 面　B 面　C 面　D 面

女子トイレ３　A 面　B 面　C 面　D 面

男子トイレ３　A 面　B 面　C 面　D 面

男子トイレ４　A 面　B 面　C 面　D 面　女子トイレ４　A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階展開図　（13）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 53	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

廊下 5

B 面

D 面

廊下 6

A 面

C 面

廊下 7

B 面

D 面

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:60 A3=1:120 単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 ２階展開図 (14)
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 / 担当 製図 製図	A — 54	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

待合ホール　3

A　面

B　面

C　面

D　面

男子議員更衣室

A　面

B　面

C　面

D　面

女子議員更衣室

A　面

B　面

C　面

D　面

議員控室兼議会図書室

A　面

B　面

C　面

D　面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　３階展開図　（15）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　―　55	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

議会事務局

A 面　B 面　C 面　D 面

正副議長室

A 面　B 面　C 面　D 面

委 員 会

A 面　B 面　C 面

D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100　単位 MM　検 印　担当 製図 製図	平成31年 3月 作製	図面名称　3階展開図 (16)
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		A — 56	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

書 庫 5

A 面　B 面　C 面　D 面

監査委員室

A 面　B 面　C 面　D 面

物置 2

A 面　B 面　C 面　D 面

物置3

A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 3階展開図 (17)
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 / 担当 / 製図 / 製図	A — 57	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

議　場

A　面

B　面

C　面

B　面

D　面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　３階展開図　（18）
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A　一　58	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

多目的トイレ３　A 面　B 面　C 面　D 面

男子トイレ５　A 面　B 面　C 面　D 面

女子トイレ５　A 面　B 面　C 面　D 面

トイレ前室３（ＳＫ）　A 面　B 面　C 面　D 面

男子トイレ６　A 面　B 面　C 面　D 面

女子トイレ６　A 面　B 面　C 面　D 面

湯沸室　4　A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　３階展開図　（19）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	Ａ　一　５９	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：60 A3＝1：120 単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 ３階展開図 （20）
青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 / 担 当 / 製 図 / 製 図	A ― 60	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

天井仕上記号凡例

記号	仕　　上
①	ロックウール化粧吸音板　t-9
②	ロックウール化粧吸音板　t-9（GW16kg/m3敷き）
③	ロックウール化粧吸音板　t-12 （石膏ボードt-9.5下地）
④	化粧石膏ボード　t-9.5
⑤	硬質石膏ボードt-9.5　EP
⑥	化粧石膏ボード　t-9.5（GW16kg/m3敷き）
⑦	ケイ酸カルシウム板　t-5 目スカシ　EP
⑧	ガラスクロス押えグラスウールボードt-50 （32K）化粧ピン止め
⑨	木目シート貼不燃ルーバーシステム15×50
⑩	アルミ製スパンドレル
⑪	床板・鉄部表し
⑫	ロックウール吹付
⑬	ハニカムパネル
⑭	PL-6 SOP
⑮	発泡樹脂複合カラーガラスt-5
⑯	集成材t-25　木材保護塗料
▨	アルミ製ブラインド・カーテンＢＯＸを示す。 ＢＯＸはＷ１２０×Ｈ１２０を標準とする。 ＢＯＸ数字はＢＯＸの寸法を示す。
━ ━	ピクチャーレールを示す。
⊠	アルミ製天井点検口600角スリム額縁を示す。

１　階　天　井　伏　図

A1版　1/ 100
A3版　1/ 200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200	単位　ＭＭ					平成３１年　３　月　作製	図面名称　１階　天井伏図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印		担　当	製　図	製　図		Ａ　―　６１	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

天井仕上記号凡例

記号	仕上
1	ロックウール化粧吸音板　t-9
2	ロックウール化粧吸音板　t-9（GW16kg/m3敷き）
3	ロックウール化粧吸音板　t-12 （石膏ボードt-9.5下地）
4	化粧石膏ボード　t-9.5
5	硬質石膏ボードt-9.5　EP
6	化粧石膏ボード　t-9.5（GW16kg/m3敷き）
7	ケイ酸カルシウム板　t-5 目スカシ　EP
8	ガラスクロス押えグラスウールボードt-50 （32K）化粧ピン止め
9	木目シート貼不燃ルーバーシステム15×50
10	アルミ製スパンドレル
11	床板・鉄部表し
12	ロックウール吹付
13	ハニカムパネル
14	PL-6 SOP
15	発泡樹脂複合カラーガラスt-5
16	集成材t-25　木材保護塗料
	アルミ製ブラインド・カーテンＢＯＸを示す。 ＢＯＸはＷ１２０×Ｈ１２０を標準とする。 ＢＯＸ数字はＢＯＸの寸法を示す。
	ピクチャーレールを示す。
⊠	アルミ製天井点検口600角スリム額縁を示す。

２　階　天　井　伏　図

A1版　1/100
A3版　1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　MM	平成３１年　３　月　作製	図面名称　２階　天井伏図
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　―　62	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

３　階　天　井　伏　図　　A1版 1/100　A3版 1/200

天井仕上記号凡例

記号	仕　　上
①	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9
②	ロックウール化粧吸音板　ｔ-9（GW16kg/m3敷き）
③	ロックウール化粧吸音板　ｔ-12 （石膏ボードｔ-9.5下地）
④	化粧石膏ボード　ｔ-9.5
⑤	硬質石膏ボードｔ-9.5　EP
⑥	化粧石膏ボード　ｔ-9.5（GW16kg/m3敷き）
⑦	ケイ酸カルシウム板　ｔ-5 目スカシ　EP
⑧	ガラスクロス押えグラスウールボードｔ-50 （32K）化粧ピン止め
⑨	木目シート貼不燃ルーバーシステム15×50
⑩	アルミ製スパンドレル
⑪	床板・鉄部表し
⑫	ロックウール吹付
⑬	ハニカムパネル
⑭	PL-6 SOP
⑮	発泡樹脂複合カラーガラスｔ-5
⑯	集成材ｔ-25　木材保護塗料
▨	アルミ製ブラインド・カーテンＢＯＸを示す。 ＢＯＸはＷ１２０×Ｈ１２０を標準とする。 ＢＯＸ数字はＢＯＸの寸法を示す。
━ ━	ピクチャーレールを示す。
⊠	アルミ製天井点検口600角スリム額縁を示す。

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　３階　天井伏図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	Ａ　一　６３	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　1階　建具伏図　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：100 A3＝1：200　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　1階 建具伏図
	青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印　担当 製図 製図	A ― 64	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　２階　建具伏図　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:100 A3=1:200　単位 MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　２階　建具伏図
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A ― 65	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　３階　建具伏図　A1版 1/100　A3版 1/200

凡例

▼ 非常用代替侵入口を示す

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：100 A3＝1：200　単位 MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　３階　建具伏図
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 66	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁 舎　R 2 階　建 具 伏 図　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：100 A3＝1：200　単位 MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　R階　建具伏図
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 67	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

記号	1 STD 風除室１ 1ヶ所	2 STD 風除室１（エントランスホール） 1ヶ所	3 STD 風除室２ 1ヶ所	4 STD 風除室２ 1ヶ所
形状				
種別及び方式	ステンレス製引分ドア	ステンレス製引分ドア	ステンレス製引分ドア	ステンレス製引分ドア
仕上げ及び見込	鏡面仕上 見込み 100	鏡面仕上 見込み 100	鏡面仕上 見込み 100	鏡面仕上 見込み 100
ガラス	T5（FIX部分：T8）	T5（FIX部分：T8）	T5（FIX部分：T8）	T5（FIX部分：T8）
金物	シリンダー錠、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、、バリアフリー対応レール、水切、連動式排煙オペレーター、光電反射スイッチ、自動ドアエンジン、付属金物一式	シリンダー錠、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、、バリアフリー対応レール、水切、連動式排煙オペレーター、光電反射スイッチ、自動ドアエンジン、付属金物一式	シリンダー錠、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、、バリアフリー対応レール、水切、連動式排煙オペレーター、光電反射スイッチ、自動ドアエンジン、付属金物一式	シリンダー錠、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、、バリアフリー対応レール、水切、連動式排煙オペレーター、光電反射スイッチ、自動ドアエンジン、付属金物一式
摘要	凍結防止装置（レールヒーター）、JIS規格製品、STD1-STD2排煙窓連動	JIS規格製品、STD1-STD2排煙窓連動	凍結防止装置（レールヒーター）、JIS規格製品、STD3-STD4排煙窓連動	JIS規格製品、STD3-STD4排煙窓連動

記号	1 AD 風除室３ 1ヶ所	2 AD 風除室３ 1ヶ所
形状		
種別及び方式	アルミ製FIX窓（ランマ）付両開き戸	アルミ製FIX窓（ランマ）付両開き戸
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70
ガラス	T5	T5
金物	指紋認証システム錠、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、レバーハンドル、戸当り、フランス落し、SUS段差下枠、付属金物一式	シリンダー錠、レバーハンドル、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、戸当り、フランス落し、付属金物一式
摘要		

記号	1 ACW 待合ホール１ 1ヶ所	3 ACW 待合ホール１、自動販売機コーナー 5ヶ所	4 ACW 待合ホール２・３、議員控室兼議会図書館、議員更衣室（女）、議会事務局 14ヶ所
形状			
種別及び方式	アルミ製隠蔽式排煙突出し窓付FIX連窓		
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 75		
ガラス	LE5+A12+FL5		
金物	水切、換気対応排煙オペレーター、付属金物一式		
摘要			

記号	2 ACW 待合ホール１ 1ヶ所		
形状			
種別及び方式	アルミ製FIX連窓	アルミ製隠蔽式排煙突出し窓付縦滑り出し段窓	アルミ製隠蔽式排煙突出し窓付縦滑り出し段窓
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 75	ステンカラー 見込み 75	ステンカラー 見込み 175
ガラス	LE5+A12+FL5	LE5+A12+FL5　ランマ部：LE3+A12+FL3	LE5+A12+FL5　ランマ・スパンドレル部：LE3+A12+FL3
金物	水切、付属金物一式	引手、アングル、開口制限ストッパー、水切、排煙オペレーター、付属金物一式	引手、アングル、開口制限ストッパー、水切、排煙オペレーター、電動オペレーター、付属金物一式
摘要			３階：非常進入口表示三角シール（図中 ▼）

オペレーター種別明示図

特記事項

アルミ製建具

1、外部出入口の沓摺水切は、ステンレス(SUS 304)曲げ加工とする。
2、窓の水切はアルミとし、両端部15mm立上げ小口ふさぎの形状とする。
3、窓の水切は国土交通省仕様とする。
4、明示なき金物は、ステンレス(SUS304)とする。
5、アングルは結露受付とする。

ガラス凡例

1、FL：トーメイ板ガラス
2、F：カタ板ガラス
3、PW：網入り磨き板ガラス
4、FW：網入りカタ板ガラス
5、LE：Low-Eガラス
6、T：強化ガラス
7、P：磨りガラス
8、A：空気層

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：50 A3＝1：100 単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 庁舎 建具表（１）
青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 担当 製図 製図	A ― 68	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

記号	1A AW 風除室2,守衛室,相談室1,3,4,5,大会議室,職員休憩室(男)(女),教育長室,庁議室,研修室,正副議長室 1階：13ヶ所 2階：7ヶ所 3階：3ヶ所	1B AW 待合ﾎｰﾙ1，自販機ｺｰﾅｰ 4ヶ所	1C AW 待合スペース,防災無線室,庁議室 6ヶ所	2A AW 授乳室 1ヶ所	2B AW 湯沸室3 1ヶ所	3 AW 印刷室,小会議室,電算サーバー室,委員会室,監査委員室,廊下3・8,階段室2 1階：2ヶ所 2階：7ヶ所 3階：9ヶ所
形状						
種別及び方式	アルミ製縦滑り出し窓	アルミ製縦滑り出し窓	アルミ製縦滑り出し窓	アルミ製縦滑り出し窓	アルミ製縦滑り出し窓	アルミ製外開き窓
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70
ガラス	LE3+A12+FL3	LE3+A12+FL3	LE3+A12+FL3	LE3+A12+F4	LE3+A12+F4	LE3+A12+FL3
金物	ハンドル、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式	ハンドル、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式	ハンドル、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式	引手、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式	引手、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式	ハンドル、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式
摘要						3階：非常進入口表示三角シール(図中 ▼)

記号	4 AW 待合ﾎｰﾙ2 3ヶ所	5 AW 職員更衣室（男）（女）、町長室、教育長室、更衣室、物置1、男子トイレ1・2・3、女子トイレ1・2・3、多目的トイレ1・2 1階：12ヶ所 2階：13ヶ所	6 AW 相談室2、町長室、副町長室、応接室 1階：1ヶ所 2階：6ヶ所	7 AW 階段室2 2ヶ所	8 AW 委員会室、女子トイレ6 4ヶ所	
形状						
種別及び方式	アルミ製隠蔽式排煙突出し窓付FIX窓	アルミ製滑り出し窓	アルミ製縦滑り出し窓	アルミ製滑り出し窓	アルミ製滑り出し窓	
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	
ガラス	LE3+A12+FL3	LE3+A12+F4	LE4+A12+PW6.8	LE3+A12+FL3	LE3+A12+F4	
金物	水切、排煙オペレーター、付属金物一式	ハンドル、水切、付属金物一式	ハンドル、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式	ハンドル、水切、付属金物一式	ハンドル、水切、付属金物一式	
摘要						

記号	9 AW 待合ホール3 1ヶ所	10 AW 議場 2ヶ所	11 AW 守衛室兼電話交換室 1ヶ所	
形状				
種別及び方式	アルミ製縦滑出し窓付きFIX連窓	アルミ製隠蔽式排煙突出し連窓	アルミ製FIX付引違窓	
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	
ガラス	LE3+A12+FL3	LE3+A12+FL3	FL3+A12+FL3	
金物	引手、アングル、開口制限ストッパー、水切、付属金物一式	水切、換気対応排煙オペレーター、付属金物一式	アルミ三方額縁、クレセント、アングル、フラットレール、付属金物一式	
摘要				

記号				
形状				
種別及び方式				
仕上げ及び見込				
ガラス				
金物				
摘要				

特記事項

アルミ製建具

1、外部出入口の沓摺水切は、ステンレス(SUS 304)曲げ加工とする。
2、窓の水切はアルミとし、両端部15mm立上げ小口ふさぎの形状とする。
3、窓の水切は国土交通省仕様とする。
4、明示なき金物は、ステンレス(SUS304)とする。
5、アングルは結露受付とする。

ガラス凡例

1、FL：トーメイ板ガラス
2、F：カタ板ガラス
3、PW：網入り磨き板ガラス
4、FW：網入りカタ板ガラス
5、LE：Low-Eガラス
6、T：強化ガラス
7、P：磨りガラス
8、A：空気層

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：50 A3＝1：100 単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 建具表（2）
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 担当 製図 製図	A ― 69	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

記号	1 SD 機械室 1ヶ所	2 SD 階段2 3ヶ所	3 SD 廊下2・廊下6 2ヶ所	4 SD 執務室2、物置1 2ヶ所	5 SD 書庫3、消火ポンプ室、機械室 3ヶ所	6 SD 待合ホール3 1ヶ所
形状		特定防火設備	特定防火設備	特定防火設備	特定防火設備	
種別及び方式	スチール製両開き戸	スチール製片開きドア＋くぐり戸付（戸袋付）	スチール製片開きドア＋くぐり戸付（戸袋付）	スチール製片開き戸	スチール製親子開き戸	スチール製親子開き戸
仕上げ及び見込	スチール t1.6 SOP 見込 扉40 枠120	スチール t1.6 SOP 見込 扉40 枠120	スチール t1.6 SOP 見込 扉40 枠120	スチール t1.6 SOP 見込 扉40 枠120	スチール t1.6 SOP 見込 扉40 枠120	スチール t1.6 SOP 見込 扉40 枠120
ガラス						
金物	丁番、戸当り、ドアクローザー、レバーハンドル、フランス落、シリンダー錠、他付属金物一式	オートヒンジ、ケースハンドル(両面)、他付属金物一式	オートヒンジ、ケースハンドル(両面)、他付属金物一式	丁番、戸当り、レバーハンドル、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、フランス落、シリンダー錠、他付属金物一式
摘要	煙感連動	煙感連動	煙感連動			

記号	1 SW 執務室1・4 5ヶ所
形状	
種別及び方式	スチール製FIX窓
仕上げ及び見込	ＳＯＰ 見込 110
ガラス	T4 飛散防止ウィンドウフィルム貼（デザインパターン）
金物	付属金物一式
摘要	

記号	1 SF 湯沸室1・4 2ヶ所	2 SF トイレ前室1（SK） 1ヶ所	3 SF 男子トイレ1、女子トイレ1 2ヶ所	4 SF 自販機コーナー 1ヶ所	5 SF トイレ前室2（SK） 1ヶ所	6 SF 男子トイレ3、女子トイレ3 2ヶ所
形状						
種別及び方式	スチール製三方枠	スチール製三方枠	スチール製三方枠	スチール製三方枠	スチール製三方枠	スチール製三方枠
仕上げ及び見込	ＳＯＰ 見込 116	ＳＯＰ 見込 116	ＳＯＰ 見込 116	ＳＯＰ 見込 116	ＳＯＰ 見込 116	ＳＯＰ 見込 116
ガラス	－	－	－	－	－	－
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
摘要						

記号	7 SF トイレ前室3（SK） 1ヶ所
形状	
種別及び方式	スチール製三方枠
仕上げ及び見込	ＳＯＰ 見込 116
ガラス	－
金物	付属金物一式
摘要	

ガラス凡例

1、FL：トーメイ板ガラス
2、F：カタ板ガラス
3、PW：網入り磨き板ガラス
4、FW：網入りカタ板ガラス
5、LE：Low-Eガラス
6、T：強化ガラス
7、P：磨りガラス
8、A：空気層

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：50 A3＝1：100 単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 建具表（3）
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 担当 製図 製図	A ― 70	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

記号	1 CS エントランスホール 1ヶ所	2 CS 待合ホール２ 1ヶ所	3 CS 待合ホール２ 1ヶ所	4 CS 待合ホール２ 1ヶ所	5 CS 待合ホール３（階段１） 1ヶ所
形状	特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様	特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様	特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様	特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様	特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様
種別及び方式	シート防火シャッター（手動式）＋くぐり戸付（スクリーンドア付）	シート防火シャッター（手動式）＋くぐり戸付（スクリーンドア付）	シート防火シャッター（手動式）	シート防火シャッター（手動式）＋くぐり戸付（スクリーンドア付）	シート防火シャッター（手動式）＋くぐり戸付（スクリーンドア付）
仕上げ及び見込	シリカクロス t 0.7 見込み 50	シリカクロス t 0.7 見込み 50	シリカクロス t 0.7 見込み 50	シリカクロス t 0.7 見込み 50	シリカクロス t 0.7 見込み 50
ガラス					
金物	SUS座板、SUSガイドレール、SUSまぐさ、スチールケース、開閉機、手動閉鎖装置、解放装置、付属金物一式	SUS座板、SUSガイドレール、SUSまぐさ、スチールケース、開閉機、手動閉鎖装置、解放装置、付属金物一式	SUS座板、SUSガイドレール、SUSまぐさ、スチールケース、開閉機、手動閉鎖装置、解放装置、付属金物一式	SUS座板、SUSガイドレール、SUSまぐさ、スチールケース、開閉機、手動閉鎖装置、解放装置、付属金物一式	SUS座板、SUSガイドレール、SUSまぐさ、スチールケース、開閉機、手動閉鎖装置、解放装置、付属金物一式
摘要	メーカー仕様に依る	メーカー仕様に依る	メーカー仕様に依る	メーカー仕様に依る	メーカー仕様に依る

記号	1 SS エントランスホール 1ヶ所	2 SS エントランスホール 1ヶ所	3 SS 執務室１ 1ヶ所
形状			特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様
種別及び方式	スチール製電動軽量シャッター	電動重量パイプシャッター	スチール製電動重量シャッター
仕上げ及び見込	スチール t -0.8 見込み 39	SUS 見込み 39	スチール t -1.6 見込み 39
ガラス			
金物	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式
摘要			

記号	4 SS 執務室１ 1ヶ所	5 SS 執務室２・３ 2ヶ所	6 SS 待合ホール１（階段１） 1ヶ所	7 SS 待合ホール１（風除室２前） 1ヶ所
形状	特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様	（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様		
種別及び方式	スチール製電動重量シャッター	スチール製電動重量シャッター	電動軽量パイプシャッター	電動軽量パイプシャッター
仕上げ及び見込	スチール t -1.6 見込み 39	スチール t -1.6 見込み 39	SUS 見込み 39	SUS 見込み 39
ガラス				
金物	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式
摘要				

記号	8 SS 執務室４ 1ヶ所
形状	特定防火設備（煙感連動）遮煙仕様:認定仕様
種別及び方式	スチール製電動軽量シャッター
仕上げ及び見込	スチール t -1.6 見込み 39
ガラス	
金物	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式
摘要	

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100 単位 MM	平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 建具表（４）
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 担当 製図 製図	A ― 71	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

記号	1 LSD	2 LSD	3 LSD	4 LSD	5 LSD	6 LSD
	授乳室、多目的トイレ２・３　３ヶ所	守衛室、執務室１・３・４、相談室５、研修室、防災無線室　１階：７ヶ所 ２階：12ヶ所	相談室１～４、印刷室　１階：４ヶ所 ２階：１ヶ所	男子トイレ２・５・６、女子トイレ２・５・６　１階：２ヶ所 ３階：４ヶ所	職員更衣室（男）（女）、脱衣室、更衣室 議員更衣室（男）（女）　１階：３ヶ所 ２階：１ヶ所 ３階：２ヶ所	廊下１・４　２ヶ所
形状						
種別及び方式	軽量スチール製ハンガー片引き戸	鋼製軽量片開き扉	軽量スチール製ハンガー片引き戸	鋼製軽量片開き扉	鋼製軽量片開き扉	鋼製軽量親子開き扉
仕上げ及び見込	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70
ガラス	F4	F4	F4	F4	F4	T5
金物	バーハンドル、ハンガーレール、大型表示錠（標示灯連動）、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、他付属金物一式	バーハンドル、ハンガーレール、シリンダー錠（サムターン）、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、ガラリ、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、指紋認証システム錠、フランス落、他付属金物一式
摘要						

記号	7 LSD	8 LSD	9 LSD	10 LSD	11 LSD	12 LSD
	執務室１・３、EPS、自販機ｺｰﾅｰ、物置１・２　１階：４ヶ所 ２階：２ヶ所 ３階：２ヶ所	大会議室、職員休憩室（男）（女）、廊下６、小会議室、防災機器室　１階：４ヶ所 ２階：４ヶ所	多目的トイレ１　１ヶ所	トイレ前室１（SK）　１ヶ所	書庫１・２・４・５　１階：２ヶ所 ２階：１ヶ所 ３階：１ヶ所	庁議室兼災害対策本部、町長室、副町長室、教育長室、応接室、待合ｽﾍｰｽ、正副議長室、議員控室兼議会図書館、議会事務局、委員会室、監査委員室　２階：６ヶ所 ３階：10ヶ所
形状						
種別及び方式	鋼製軽量片開き扉	鋼製軽量親子開き扉	軽量スチール製ハンガー２枚片引き戸	鋼製軽量片開き扉	鋼製軽量親子開き扉	鋼製軽量親子開き扉
仕上げ及び見込	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	単色不燃化粧板ｔ-6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70
ガラス	－	F4	F4	－	－	P5
金物	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、フランス落、他付属金物一式	バーハンドル、ハンガーレール、大型表示錠、他付属金物一式	スライド丁番、戸当り、ドアチェック、シリンダープッシュ錠、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、フランス落、ガラリ、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、フランス落、他付属金物一式
摘要						

記号	13 LSD	14 LSD	15 LSD	16 LSD	17 LSD	18 LSD
	応接室、議会事務局、委員会室　２階：２ヶ所 ３階：３ヶ所	湯沸室２・３　２ヶ所	男子トイレ４、女子トイレ４　２ヶ所	電算サーバー室　１ヶ所	議場　５ヶ所	議場　２ヶ所
形状						
種別及び方式	鋼製軽量片開き扉	軽量スチール製ハンガー片引き戸	鋼製軽量片開き扉	鋼製軽量親子開き扉	鋼製軽量両開き扉	鋼製軽量親子開き扉
仕上げ及び見込	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70
ガラス	P5	F4	F4	F4	－	－
金物	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、他付属金物一式	バーハンドル、ハンガーレール、シリンダー錠（サムターン）、ガラリ、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、表示錠、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、指紋認証システム錠、フランス落、他付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、バーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、フランス落、他付属金物一式 バーハンドル（L=2,100）：UNION T2717 同等品	丁番、戸当り、ドアチェック、バーハンドル、シリンダー錠（サムターン）、フランス落、他付属金物一式 バーハンドル（L=1,925）：UNION T2717 同等品
摘要						

記号	19 LSD
	物置３　１ヶ所
形状	
種別及び方式	軽量スチール製ハンガー両引き戸
仕上げ及び見込	化粧鋼板ｔ-0.6　見込み 70
ガラス	－
金物	バーハンドル、ハンガーレール、シリンダー錠（サムターン）、他付属金物一式
摘要	

ガラス凡例

1、FL：トーメイ板ガラス
2、F：カタ板ガラス
3、PW：網入り磨き板ガラス
4、FW：網入りカタ板ガラス
5、LE：Low-Eガラス
6、T：強化ガラス
7、P：磨りガラス
8、A：空気層

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：50 A3＝1：100　単位 MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　建具表（５）		
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A ― 72	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正		

記号	1 SPT 電算サーバー室 1ヶ所					
形状						
種別及び方式	スチール製パーテーション					
仕上げ及び見込	焼付塗装(標準色、パネル・枠) 見込 70					
ガラス	T5					
金物	バーハンドル、シリンダー錠、他付属金物一式					
摘要	メーカー仕様に依る					
記号	1 SLⅢ 大会議室 1ヶ所		2 SLⅢ 小会議室 1ヶ所	3 SLⅢ 委員会室 1ヶ所		
形状						
種別及び方式	移動間仕切り（スライディングウォール）		移動間仕切り（スライディングウォール）	移動間仕切り（スライディングウォール）		
仕上げ及び見込	焼付塗装 見込 70		焼付塗装 見込 70	ダイノックシート貼 見込 70		
ガラス						
金物	付属金物一式		付属金物一式	付属金物一式		
摘要	メーカー仕様に依る		メーカー仕様に依る	メーカー仕様に依る		
記号	1 TP ポーチ 3ヶ所					
形状						
種別及び方式	アルミ枠トップライト（30分耐火仕様）					
仕上げ及び見込	シルバー 見込み 100					
ガラス	ポリカーボネート／FW6.8					
金物	アルミ水切り、結露受、付属金物一式					
摘要	メーカー仕様に依る					
記号						
形状						
種別及び方式						
仕上げ及び見込						
ガラス						
金物						
摘要						

ガラス凡例

1、FL：トーメイ板ガラス
2、F：カタ板ガラス
3、PW：網入り磨き板ガラス
4、FW：網入りカタ板ガラス
5、LE：Low-Eガラス
6、T：強化ガラス
7、P：磨りガラス
8、A：空気層

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：50 A3＝1：100	単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 建具表（6）
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		検印 担当 製図 製図		A — 73	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

記号	1 TB 男子トイレ１ １ヶ所	2 TB 男子トイレ１・２・５・６ ４ヶ所	3 TB 女子トイレ１ １ヶ所	4 TB 男子トイレ２ １ヶ所	5 TB 女子トイレ２ １ヶ所	6 TB 男子トイレ３ １ヶ所
形状						
種別及び方式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
仕上げ及び見込	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40
ガラス	－	－	－	－	－	－
金物	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS巾木	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り
摘要						

記号	7 TB 女子トイレ３ １ヶ所	8 TB トイレ前室２・３（SK） ２ヶ所	9 TB 男子トイレ５ １ヶ所	10 TB 女子トイレ５ １ヶ所	11 TB 男子トイレ６ １ヶ所	12 TB 女子トイレ６ １ヶ所
形状						
種別及び方式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
仕上げ及び見込	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40	高圧メラミン樹脂化粧板 見込み 40
ガラス	－	－	－	－	－	－
金物	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り	SUS頭つなぎ、SUS巾木、中心吊金具、表示錠、ｺｰﾄ掛け、戸当り
摘要						

記号						
形状						
種別及び方式						
仕上げ及び見込						
ガラス						
金物						
摘要						

記号						
形状						
種別及び方式						
仕上げ及び見込						
ガラス						
金物						
摘要						

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事

青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺 A1＝1：50 A3＝1：100 単位 MM

検印			担当	製図	製図

平成３１年 ３ 月 作製

A ― 74

図面名称 建具表（７）

管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

3階床面積求積図

2階床面積求積図

1階床面積求積図

庁　舎

記号	1　階　(㎡)	2　階　(㎡)	3　階　(㎡)	記号
①	6.500 × 2.900 = 18.850	47.230 × 5.775 + 33.160 × 0.100 − ③ − ⑫ − ㉖ − Ⓔ1 = 245.923 1A　25.985 × 3.275 + 23.220 × 2.500 + 17.320 × 0.100 − ③ − ⑫ − Ⓔ1 − 1B = 106.789 1B　5.855 × 2.425 = 14.198 1C　21.245 × 3.275 + 24.010 × 2.500 + 15.840 × 0.100 − ㉖ = 124.936	2.330 × 8.500 + 4.330 × 3.040 + 12.560 × 3.105 + 9.650 × 2.725 + 0.500 × 2.450 + 1.800 × 0.570 = 100.514 1A　2.330 × 8.500 + 4.330 × 3.040 + 12.560 × 3.105 + 9.650 × 0.125 + 1.800 × 0.570 = 74.199 1B　9.650 × 2.600 + 0.500 × 2.450 = 26.315	①
②	4.350 × 3.000 = 13.050	43.770 × 11.495 = 503.136 2A　23.745 × 11.495 = 272.949 2B　20.025 × 11.495 = 230.187	4.300 × 10.100 + 15.700 × 10.400 − ⑬ = 199.210	②
③	2.200 × 2.500 + 3.000 × 2.300 = 12.400	3.280 × 2.700 + 0.480 × 0.100 = 8.904	3A　7.100 × 7.900 = 56.090 3B　7.100 × 4.000 = 28.400	③
④	47.380 × 5.715 + 33.160 × 0.100 − ⑤ − ⑭ − ㉚ − Ⓔ1 = 236.736 4A　8.905 × 5.715 + 0.585 × 0.100 − 0.105 × 2.725 − ⑭ = 42.219 4B　19.500 × 5.815 − 2.325 × 2.725 = 107.057 4C　18.975 × 5.715 + 13.075 × 0.100 − ⑤ − ㉚ − 4D = 70.084 4D　7.745 × 1.800 + 6.245 × 0.550 = 17.376	6.770 × 6.270 = 42.448	7.100 × 5.370 = 38.127	④
⑤	2.900 × 2.600 + 2.750 × 2.500 = 14.415	6.770 × 4.500 = 30.465	10.500 × 4.350 = 45.675	⑤
⑥	34.820 × 11.555 = 402.345 6A　7.025 × 11.555 = 81.174 6B　27.795 × 11.555 = 321.171	6.770 × 4.480 = 30.330	7.100 × 5.830 = 41.393	⑥
⑦	4.720 × 11.555 = 54.540	4.500 × 6.175 = 27.788	4.000 × 4.250 = 17.000	⑦
⑧	4.180 × 9.035 = 37.766	4.500 × 3.000 = 13.500	0.500 × 1.900 + 2.500 × 2.500 = 7.200	⑧
⑨	9A　6.770 × 5.500 = 37.235 9B　6.770 × 5.500 = 37.235	4.500 × 3.500 = 15.750	2.500 × 1.850 = 4.625	⑨
⑩	4.350 × 2.800 = 12.180	10A　4.030 × 4.250 = 17.128 10B　4.000 × 4.250 = 17.000	2.000 × 2.500 = 5.000	⑩
⑪	4.350 × 2.800 = 12.180	6.770 × 7.750 = 52.468	5.200 × 4.250 = 22.100	⑪
⑫	4.350 × 2.800 = 12.180	3.100 × 2.700 = 8.370	2.000 × 1.750 = 3.500	⑫
⑬	3.450 × 2.800 = 9.660	5.200 × 4.250 = 22.100	1.500 × 5.000 = 7.500	⑬
⑭	2.630 × 0.500 + 3.130 × 2.200 + 0.48 × 0.1 + 0.5 × 0.5 × 3.14 × 0.25 = 8.445	3.770 × 4.250 = 16.023	24.330 × 1.480 + 2.520 × 1.825 + 1.730 × 18.750 + 11.770 × 1.480 + 1.800 × 0.570 × 3 = 93.543	⑭
⑮	4.350 × 4.550 = 19.793	2.030 × 4.250 = 8.628	2.000 × 1.200 = 2.400	⑮
⑯	5.050 × 4.250 = 21.463	4.970 × 4.250 = 21.123	2.000 × 2.900 = 5.800	⑯
⑰	4.600 × 4.250 = 19.550	2.500 × 2.050 = 5.125	2.000 × 2.200 = 4.400	⑰
⑱	5.800 × 4.250 = 24.650	2.400 × 2.200 = 5.280	2.000 × 2.200 = 4.400	⑱
⑲	1.450 × 1.200 = 1.740	3.000 × 2.000 = 6.000	2.000 × 2.500 = 5.000	⑲
⑳	1.450 × 3.050 = 4.423	6.200 × 4.250 = 26.350	2.000 × 1.750 = 3.500	⑳
㉑	3.180 × 4.250 = 13.515	3.460 × 2.050 = 7.093		㉑
㉒	3.000 × 1.950 = 5.850	22A　1.730 × 11.495 + 5.960 × 1.480 = 28.707 22B　20.040 × 1.480 + 2.520 × 1.825 = 34.258 22C　21.230 × 1.480 + 1.730 × 11.495 + 1.500 × 2.000 = 54.307		㉒
㉓	6.770 × 5.730 = 38.792	2.400 × 2.150 + 1.200 × 3.525 = 9.390		㉓
㉔	2.100 × 2.520 = 5.292	4.500 × 2.650 + 2.100 × 2.150 = 16.440		㉔
㉕	2.080 × 2.520 = 5.242	3.300 × 3.525 = 11.633		㉕
㉖	26A　1.880 × 10.235 + 2.780 × 2.800 + 1.500 × 1.200 = 28.826 26B　35.070 × 1.480 + 2.520 × 1.825 + 2.200 × 1.750 = 60.353 26C　8.650 × 1.480 + 1.780 × 5.730 = 23.001 26D　1.780 × 11.555 = 20.568	2.500 × 2.500 = 6.250		㉖
㉗	1.200 × 6.270 + 0.800 × 0.900 = 8.244	1.780 × 2.200 = 3.916		㉗
㉘	0.800 × 1.650 + 0.900 × 2.550+ 3.870 × 2.900 = 14.838	1.780 × 2.200 = 3.916		㉘
㉙	5.570 × 3.370 + 1.700 × 0.350 = 19.366			㉙
㉚	3.150 × 2.500 = 7.875			㉚
㉛	2.700 × 3.050 = 8.235			㉛
㉜	3.450 × 1.200 + 2.250 × 3.050 = 11.003			㉜
㉝	8.650 × 4.250 = 36.763			㉝
㉞	1.745 × 2.380 + 3.255 × 2.425 + 2.880 × 1.825 = 17.302			㉞
Ⓔ	2.000 × 4.250 = 8.500	2.000 × 4.250 = 8.500	2.000 × 4.250 = 8.500	Ⓔ
Ⓢ	3.670 × 1.870 + 1.925 × 2.380 = 11.444	6.925 × 2.425 + 6.550 × 1.825 = 28.747	6.985 × 2.425 + 6.610 × 1.825 = 29.002	Ⓢ
Ⓔ1	2.430 × 2.725 = 6.622	2.430 × 2.725 = 6.622	2.910 × 2.725 = 7.930	Ⓔ1
Ⓔ2	2.145 × 2.425 = 5.202	2.145 × 2.425 = 5.202	2.145 × 2.425 = 5.202	Ⓔ2

NOTE　※少数点４位を四捨五入にて計算し、各集計採用値は少数点３位以下切り捨て

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：200　A3＝1：400　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　各室面積表
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 75	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

1　階　　A＝d／h×α－β　下図による

記号	室　名	床面積	居室	室	採光検討 必要面積 割合1/20	採光検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	補正値	計	合計	判定	換気検討 必要面積 割合1/20	換気検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	合計	判定	排煙検討 必要面積 割合1/50	排煙検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	合計	判定
①	風除室１	18.850		○	－										－								－	待合ホールに含む						
②	風除室２	13.050		○	－										－								－	待合ホールに含む						
③	風除室３	12.400		○	－										－								－	防火避難規定の解説2016　24-4)による						
④A	待合ホール１	42.219	○		32.675								108.10	OK	32.675	STD-2	1.644	2.0	1	7.28485	34.41	OK	－	右表による						
	（計236.736）																1.97-0.05 1.80-0.05	0.765-0.05 0.765-0.05	2 1											
④B		107.057														STD-4	1.222	2.0	1	3.876275										
					④+⑤	ACW-1	1.39	0.785 1.94	4	4.3646 10.7864	3.0	45.453			④+⑤		1.335-0.05 1.300-0.05	0.615-0.05 0.615-0.05	1 1											
④C		70.084			+⑥	ACW-3	1.18	0.795 1.74	5	4.6905 10.266	3.0	44.8695			+⑥	ACW-1	1.39-0.05	0.785-0.05	4	3.9396										
					= 653.496	AW-1B	0.83	1.785	4	5.9262	3.0	17.7786			= 653.496	ACW-3	1.18-0.05	0.795-0.05 1.74-0.05	5	13.75775										
④D		17.376														AW-1B	0.83-0.05	1.785-0.05	4	5.552										
⑤	自販機コーナー	14.415		○	－	待合ホールに含む									－	待合ホールに含む														
⑥A	執務室１	81.174	○		－	待合ホールに含む									－	待合ホールに含む														
⑥B	（計402.345）	321.171	○		－	待合ホールに含む									－	待合ホールに含む														
⑦	執務室２	54.540	○		2.713	非常用照明									2.713	機械換気							1.085	告示四-二-４						
⑧	執務室３	37.766	○		1.876	非常用照明									1.876	機械換気							0.750	告示四-二-４						
⑨A	大会議室	37.235	○		1.862	AW-1A	0.83	1.785	2	2.9631	2.45	7.259595	7.25	OK	1.862	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.745	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
⑨B		37.235	○		1.862	AW-1A	0.83	1.785	2	2.9631	2.45	7.259595	7.25	OK	1.862	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.745	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
⑩	相談室１	12.180	○		0.609	AW-1A	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.609	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.244	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
⑪	相談室２	12.180	○		0.609	AW-6	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.609	AW-6	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.244	AW-6	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
⑫	相談室３	12.180	○		0.609	AW-1A	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.609	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.244	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
⑬	相談室４（救護室）	9.660	○		0.483	AW-1A	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.483	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.194	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
⑭	授乳室	8.445	○		0.423	AW-2A	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.404	AW-2A	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.162	AW-2A	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
⑮	守衛室・電話交換室	19.793	○		0.990	AW-1A	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.990	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.396	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
⑯	職員休憩室（男）	21.463	○		1.074	AW-1A	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	1.074	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.430	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
⑰	職員休憩室（女）	19.550	○		0.978	AW-1A	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	0.978	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.391	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
⑱	職員更衣室（男）	24.650		○	－										－								－	告示四-二-２						
⑲	ユニットシャワー室（US）	1.740		○	－										－								－	告示四-二-２						
⑳	脱衣室	4.423		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉑	職員更衣室（女）	13.515		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉒	湯沸室１	5.850		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉓	書庫１	38.792		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉔	書庫２	5.292		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉕	書庫３	5.242		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉖A	廊下１	28.826		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉖B	廊下２	60.353		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉖C	廊下３	23.001		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉖D	廊下４	20.568		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉗	トイレ前室１（SK）	8.244		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉘	男子トイレ１	14.838		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉙	女子トイレ１	19.366		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉚	多目的トイレ１	7.875		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉛	男子トイレ２	8.235		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉜	女子トイレ２	11.003		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉝	機械室	36.763		○	－										－								－	告示四-二-２						
㉞	消火ポンプ室	14.965		○	－										－								－	告示四-二-２						

必要面積 割合1/50	有効面積 記号	W	H	個数	面積	備考	合計	判定
区画１	①＋④B＋⑥B＝ 447.078							
8.942	STD-1	0.97-0.05 1.80-0.05	0.915-0.05	4 1	4.69695	不採用値	9.62	OK
	STD-2	1.97-0.05 1.80-0.05	0.765-0.05	2 1	3.99685	STD-1 連動		
	ACW-1	1.39-0.05	0.785-0.05	4	3.9396			
	ACW-3	1.18-0.05	0.795-0.05	2	1.6837			
区画２	②＋④A＋⑥A＝ 136.443							
2.729	STD-3	1.82-0.05 1.30-0.05	0.615-0.05	1 1	1.7063	不採用値	2.80	OK
	STD-4	1.335-0.05 1.30-0.05	0.615-0.05	1 1	1.432275	STD-3 連動		
	AW-1B	0.83-0.05	0.635-0.05	3	1.3689			
区画３	④C＋⑤＝ 84.499							
1.690	AW-1B	0.83-0.05	0.485-0.05	1	0.3393		1.81	OK
	ACW-3	1.18-0.05	0.485-0.05	3	1.47465			

開口部断面（区画１）

開口部断面（区画２）

開口部断面（区画３）

1F 職員休憩室（男）
AW-1：6×19.000/13.000-1.4＝7.369　→　∴3.00
6×9.520/2.330-1.4＝23.115

採光補正係数検討（北側）

1F 職員休憩室（女）
AW-1：6×9.426/7.000-1.4＝6.679　→　∴3.00

採光補正係数検討（北側）

1F 相談室２
AW-4：6×10.551/5.600-1.4＝9.904　→　∴3.00

採光補正係数検討（東側）

2F 相談室5　AW-1：6×8.360/9.000-1.4＝4.173　→　∴3.00
1F 大会議室　AW-1：6×8.360/13.000-1.4＝2.458　→　∴2.45

採光補正係数検討（西側）

1F 授乳室
AW-2：6×14.266/7.000-1.4＝10.828　→　∴3.00

採光補正係数検討（南側）

1F 待合ホール　ACW-3：6×27.103/13.300-1.4＝10.826　→　∴3.00

採光補正係数検討（南側）

NOTE　有効開口面積は安全側の数値で検討する。
引違いはW寸法/2から-100mmとする。
排煙窓・外開き窓・縦滑り出し窓はW・H寸法より-50mmとする。

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　採光・換気・排煙計算１
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A　—　76	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

2　階　　A＝d／h×α－β　∴A＝3.0（2階全居室共通）

記号	室名	床面積	居室	室	採光検討 必要面積 割合1/20	採光検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	補正値	計	合計	判定	換気検討 必要面積 割合1/20	換気検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	合計	判定	排煙検討 必要面積 割合1/50	排煙検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	合計	判定
1A	待合ホール２	106.789	○		37.898	ACW-4	1.18	0.895 1.79	14	14.7854 29.5708	3.0	133.0686	141.70	OK	37.898	ACW-4	1.18-0.05	0.895-0.05 1.79-0.05	14	13.3679 27.5268	44.20	OK	区画１	1A＋1B＋2A＋3＋3F1B＝ 429.155						
	（計245.923）				1+2	AW-1C	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465			8.583	AW-1C	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533				2FACW-4	1.18-0.05	0.895-0.05	7	6.68395	10.83	OK
1B		14.198	○		+3	AW-4	0.83	0.885 0.800	3	2.20365 1.992	3.0	4.19565			+3	AW-4	0.83-0.05	0.885-0.05	3	1.9539				3FACW-4	1.18-0.05	0.785-0.05	5	4.15275		
1C		124.936	○		＝757.963										＝757.963															
2A	執務室４	272.949	○		－	待合ホールに含む									－	待合ホールに含む							区画２	1F4D＋1C＋2B＝ 372.499						
2B	（計503.136）	230.187	○		－	待合ホールに含む									－	待合ホールに含む							7.450	AW-4	0.83-0.05	0.8-0.05	3	1.755	7.68	OK
3	待合スペース	8.904	○		－	待合ホールに含む									－	待合ホールに含む								ACW-4	1.18-0.05	0.80-0.05	7	5.9325		
4	町長室	42.448	○		2.123	AW-6	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	2.123	AW-6	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.849	AW-6	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
5	副町長室	30.465	○		1.524	AW-6	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	1.524	AW-6	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.610	AW-6	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
6	応接室	30.330	○		1.524	AW-6	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	1.524	AW-6	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.610	AW-6	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
7	教育長室	27.788	○		1.390	AW-1A	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	1.390	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.556	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
8	相談室５	13.500	○		0.675	AW-1A	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.675	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.270	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
9	研修室	15.750	○		0.787	AW-1A	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.787	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.315	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
10A	小会議室	17.128	○		0.855	AW-3	0.83	1.785	1	1.48155	3.0	4.44465	4.44	OK	0.855	AW-3	0.83-0.05	1.785-0.05	1	1.3533	1.35	OK	0.342	AW-3	0.83-0.05	0.785-0.05	1	0.5733	0.57	OK
10B		17.000	○		0.855	AW-3	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	0.855	AW-3	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.342	AW-3	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
11	災害対策本部兼庁議室	52.468	○		2.624	AW-1A	0.83	1.785	3	4.44465	3.0	13.33395	24.42	OK	2.624	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	3	4.0599	7.4178	OK	1.050	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	3	1.7199	1.71	OK
						AW-1C	0.83	1.485	3	3.69765	3.0	11.09295				AW-1C	0.83-0.05	1.485-0.05	3	3.3579										
12	防災無線室	8.370		○	－										－								－	告示四-二-２						
13	防災機器室	22.100		○	－										－								－	告示四-二-２						
14	印刷室	16.023		○	－										－								－	告示四-二-２						
15	電算サーバー室（電算）	8.628		○	－										－								－	告示四-二-２						
16	電算サーバー室（ｻｰﾊﾞｰ）	21.123		○	－										－								－	告示四-二-２						
17	更衣室	5.125		○	－										－								－	告示四-二-２						
18	湯沸室２	5.280		○	－										－								－	告示四-二-２						
19	湯沸室３	6.000		○	－										－								－	告示四-二-２						
20	書庫４	26.350		○	－										－								－	告示四-二-２						
21	物置１	7.093		○	－										－								－	告示四-二-２						
22A	廊下５	28.707		○	－										－								－	告示四-二-２						
22B	廊下６	34.258		○	－										－								－	告示四-二-２						
22C	廊下７	54.307		○	－										－								－	告示四-二-２						
23	トイレ前室２（SK）	9.390		○	－										－								－	告示四-二-２						
24	男子トイレ３	16.440		○	－										－								－	告示四-二-２						
25	女子トイレ３	11.633		○	－										－								－	告示四-二-２						
26	多目的トイレ２	6.250		○	－										－								－	告示四-二-２						
27	男子トイレ４	3.916		○	－										－								－	告示四-二-２						
28	女子トイレ４	3.916		○	－										－								－	告示四-二-２						

区画１平均天井高さ

天井高CH(m)	計算式	面積A(㎡)	体積V(m3)
2.600	1.695 × 11.495 ＋ 1.125 × 11.495	32.416	84.2816
2.900	2A － CH2.600A ＋ 0.800 × 2.585 ＋ 4.935 × 0.865 ＋ 2.765 × 0.690 ＋ 0.110 × 2.585 ＋ 1.590 × 2.425	252.918	733.4622
3.000	1A － (0.800 × 2.585 ＋ 4.935 × 0.865 ＋ 2.765 × 0.690 ＋ 0.110 × 2.585 ＋ 1.590 × 2.425) ＋ 3	103.308	309.9240
6.700	1B	14.198	95.1266
	合計(m3)	402.840	1222.7944
	合計V／合計A(m)	3.0354344	
	平均天井高(m)	3.03	

建告第1436号三-ロ及びハより、FL+2.20m以上を排煙有効部分とする。

開口部断面（区画１）

区画２平均天井高さ

天井高CH(m)	計算式	面積A(㎡)	体積V(m3)
2.600	0.570 × 11.495	6.552	17.0352
2.900	2B － CH2.600A ＋ 0.690 × 3.450 ＋ 2.655 × 0.175 ＋ 0.110 × 2.600	226.766	657.6214
3.000	1C － (0.690 × 3.450 ＋ 2.655 × 0.175 ＋ 0.110 × 2.600)	121.805	365.415
	合計(m3)	355.123	1040.0716
	合計V／合計A(m)	2.9287643	
	平均天井高(m)	2.92	

建告第1436号三-ハよりFL+2.92m以下720mmを排煙有効部分とする。

開口部断面（区画２）

3　階　　A＝d／h×α－β　∴A＝3.0（3階全居室共通）

記号	室名	床面積	居室	室	採光検討 必要面積 割合1/20	採光検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	補正値	計	合計	判定	換気検討 必要面積 割合1/20	換気検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	合計	判定	排煙検討 必要面積 割合1/50	排煙検討 有効面積 記号	W	H	個数	面積	合計	判定
1A	待合ホール３	74.199	○		5.026	AW-9	1.075 1.20	1.785	2 6	3.83775 12.852	3.0	50.06925	86.08	OK	5.026	AW-9	1.075-0.05	1.785-0.05	2	3.55675	14.48	OK	1.484	AW-9	1.075-0.05	0.785-0.05	2	1.50675	1.50	OK
1B	（計100.514）	26.315	○			ACW-4	1.18	0.785 1.25	5	4.6315 7.375	3.0	36.0195				ACW-4	1.18-0.05	0.785-0.05 1.25-0.05	5	4.15275 6.78			1B のみ							
2	議場	155.780	○		9.961	AW-10	1.28	0.585	8	5.9904	3.0	17.9712	17.97	OK	9.961	AW-10	1.28-0.05	0.585-0.05	8	5.2644	5.26	機械換気	3.985	AW-10	1.28-0.05	0.585-0.05	8	5.2644	5.26	OK
	傍聴席　（計199.210）	43.430	○		－	議場に含む									－	議場に含む							－	議場に含む						
3A	委員会室	56.090	○		2.805	AW-3	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	11.67	OK	2.805	AW-3	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	3.47	OK	1.122	AW-3	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
						AW-8	0.53	0.585	3	0.93015	3.0	2.79045				AW-8	0.53-0.05	0.585-0.05	3	0.7704										
3B		28.400	○		1.420	AW-3	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	1.420	AW-3	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.568	AW-3	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
4	正副議長室	38.127	○		1.907	AW-1A	0.83	1.785	3	4.44465	3.0	13.33395	13.33	OK	1.907	AW-1A	0.83-0.05	1.785-0.05	3	4.0599	4.05	OK	0.763	AW-1A	0.83-0.05	0.785-0.05	3	1.7199	1.71	OK
5	議員控室兼議会図書館	45.675	○		2.284	ACW-4	1.18	0.795 1.140	5	4.6905 6.726	3.0	34.2495	34.24	OK	2.284	ACW-4	1.18-0.05	0.795-0.05 1.14-0.05	5	4.20925 6.1585	10.36	OK	0.914	ACW-4	1.18-0.05	0.795-0.05	5	4.20925	4.20	OK
6	議会事務局	41.393	○		2.070	ACW-4	1.18	0.795 1.140	3	2.8143 4.0356	3.0	20.5497	20.54	OK	2.070	ACW-4	1.18-0.05	0.795-0.05 1.14-0.05	3	2.52555 3.6951	6.22	OK	0.828	ACW-4	1.18-0.05	0.795-0.05	3	2.52555	2.52	OK
7	監査委員室	17.000	○		0.850	AW-3	0.83	1.785	2	2.9631	3.0	8.8893	8.88	OK	0.850	AW-3	0.83-0.05	1.785-0.05	2	2.7066	2.70	OK	0.340	AW-3	0.83-0.05	0.785-0.05	2	1.1466	1.14	OK
8	議員更衣室（男）	7.200		○	－										－								－	告示四-二-２						
9	議員更衣室（女）	4.625		○	－										－								－	告示四-二-２						
10	湯沸室４	5.000		○	－										－								－	告示四-二-２						
11	書庫５	22.100		○	－										－								－	告示四-二-２						
12	物置２	3.500		○	－										－								－	告示四-二-２						
13	物置３	7.500		○	－										－								－	告示四-二-２						
14	廊下８	93.543		○	－										－								－	告示四-二-２						
15	トイレ前室３（SK）	2.400		○	－										－								－	告示四-二-２						
16	男子トイレ５	5.800		○	－										－								－	告示四-二-２						
17	女子トイレ５	4.400		○	－										－								－	告示四-二-２						
18	多目的トイレ３	4.400		○	－										－								－	告示四-二-２						
19	男子トイレ６	5.000		○	－										－								－	告示四-二-２						
20	女子トイレ６	3.500		○	－										－								－	告示四-二-２						

議場平均天井高さ

天井高CH(m)	計算式	面積A(㎡)	体積V(m3)
2.700	4.300 × 10.100 ＋ 1.400 × 2.700 ＋ 1.400 × 2.700	50.990	136.6730
3.000	14.300 × 1.050 ＋ 14.300 × 1.050	30.030	90.0900
5.000	14.300 × 8.300 － 0.100 × 5.000	118.190	590.9500
	合計(m3)	199.210	817.7130
	合計V／合計A(m)	4.1047788	
	平均天井高(m)	4.10	

建告第1436号三-ロよりFL+2.10m以上を排煙有効部分とする。

開口部断面（区画２）

NOTE　有効開口面積は安全側の数値で検討する。
引違いはW寸法/2から-100mmとする。
排煙窓・外開き窓・縦滑り出し窓はW・H寸法より-50mmとする。

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：200　A3＝1：400　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　採光・換気・排煙計算２
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　一　77	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　1階　家具伏図　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：100 A3＝1：200　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　1階 家具キープラン
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A — 78	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　２階　家具伏図　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200	単位　MM					平成３１年　３月　作製	図面名称　２階　家具キープラン
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検	印		担当	製図	製図	A ― 79	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　3階　家具伏図　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:100 A3=1:200　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　3階 家具キープラン
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印　担当 製図 製図	A — 80	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

共通仕様

※　施工図を作成の上、設計者の承認を受ける事。
※　金物は見本品提出の上、設計者の承認を受ける事。
※　特記無き限り、流し台の排水設備は、トラップ以下工事を設備工事(別途)とする事。
※　特記無き限り、洗面カウンターの排水設備は、洗面器以下を設備工事(別途)とする事。
※　品質保証の為、家具保証協会に加入している企業により製作する事。
※　品質確保の為、制作は　ＩＳＯ　９００１　取得工場とする事。
※　環境配慮の為、取り扱いは　ＩＳＯ　１４００１　取得工場とする事。
※　自然保護の為、森林管理認証を受けた森林から産出された木材を、適切に管理･加工を行っているFSC認証工場で製作する事。
※　制作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材と金物の承認を受ける事。
※　仕様材料は全てＦ☆☆☆☆に適合する事。
※　中段・上段の開き扉は耐震ラッチ付きとする

F-1　窓口カウンター　1F 執務室１　1ヶ所

・オカムラ　RBカウンター程度
・天板：メラミン化粧板貼
・本体　来客側：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装(白)
　　執務側：スチール製焼付塗装(黒)
・パネル：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装(白)
　　上部アクリルフロスト5t

平面図

待合ホール側正面図

a断面図

b断面図

F-2　窓口カウンター　1F 執務室１　1ヶ所

・オカムラ　RBカウンター程度
・天板：メラミン化粧板貼
　　来客側：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装(白)
　　執務側：スチール製焼付塗装(黒)
・パネル：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装(白)
　　上部アクリルフロスト5t

平面図

待合ホール側正面図

a断面図

b断面図

F-3　窓口カウンター　1F 執務室１　1ヶ所

・オカムラ　RBカウンター程度
・天板：メラミン化粧板貼
・本体　来客側：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装(白)
　　執務側：スチール製焼付塗装(黒)
・パネル：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装(白)
　　上部アクリルフロスト5t

平面図

待合ホール側正面図

い部詳細

a断面図

b断面図

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60	単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　家具図（１）	
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印	担当　製図　製図	A ― 81	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正	

F-4	窓口カウンター	1F 執務室１	1ヶ所

・オカムラ　RBカウンター程度
・天板：メラミン化粧板貼
・本体　来客側：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装（白）
　　執務側：スチール製焼付塗装（黒）
・パネル：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装（白）
　　上部アクリルフロスト5t

平面図

待合ホール側正面図

a断面図

b断面図

F-5	窓口カウンター	1F 会計課	1ヶ所

・オカムラ　RBカウンター程度
・天板：メラミン化粧板貼
・本体　来客側：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装（白）
　　執務側：スチール製焼付塗装（黒）
・パネル：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装（白）

平面図

待合ホール側正面図

断面図

F-6	窓口カウンター	1F 水道課	1ヶ所

・オカムラ　RBカウンター程度
・天板：メラミン化粧板貼
・本体　来客側：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装（白）
　　執務側：スチール製焼付塗装（黒）
・パネル：木目調化粧鋼板 または スチール製焼付塗装（白）

平面図

待合ホール側正面図

断面図

断面図

F-7	壁面収納棚		計104台

F-7A	1F 執務室1	2台
F-7B	1F 執務室1	32台
	1F 執務室2	10台
	1F 執務室3	10台

F-7C	2F 執務室4	6台
F-7D	2F 執務室4	35台
	3F 議会事務局	5台
	3F 監査委員会室	4台

・オカムラ　レクトライン程度
・本体：スチール製粉体塗装
　　シンリダー錠付

F-8	壁面収納棚（下段耐火ラテラル仕様）		計8台

1F 執務室1	1台
1F 書庫2	3台
1F 書庫3	4台

・オカムラ　レクトライン程度
・本体：スチール製粉体塗装
・下段ラテラル3段：耐火仕様
　　シンリダー錠付

F-9	ワードローブ	2F 町長室更衣室	1ヶ所

・オカムラ　グレースライン程度
・本体：強化紙貼化粧合板
・シリンダー錠付

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　家具図（２）
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 82	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

F-10	飾り棚	2F 町長室	1ヶ所

・オカムラ　グレースライン程度
・天板：メラミン化粧板
・本体：強化紙貼化粧合板

F-11	壁面収納棚	2F 町長室	1ヶ所

・オカムラ　グレースライン程度
・天板：メラミン化粧板
・本体：強化紙貼化粧合板

F-12	洗面収納棚・ワードローブ・書庫		計2ヶ所
		2F 副町長室	1ヶ所
		2F 教育長室	1ヶ所

・本体：強化紙貼化粧合板
・水栓金具、排水金具および接続：設備工事

F-13	洗面収納・ワードローブ	3F 正副議長室	1ヶ所

・本体：強化紙貼化粧合板
・水栓金具、排水金具および接続：設備工事

F-14	収納棚・洗面流し台	3F 議員控室兼議会図書室	1ヶ所

・収納天板：メラミン化粧板貼
・本体：強化紙貼化粧合板
・水栓金具、排水金具および接続：設備工事

F-15	壁面収納棚	3F 議員控室兼議会図書室	1ヶ所

・オカムラ　EX-46程度
・本体：強化紙貼化粧合板

F-16	壁面書架	3F 議員控室兼議会図書室	1ヶ所

・オカムラ　ライブライン程度
・本体：スチール製焼付塗装

F-17	議長机	3F 議場	1ヶ所

・本体：ホワイトオーク突板ウレタン塗装
・木口：オーク無垢材

F-18	執行部机（4人用）	3F 議場	6ヶ所

・本体：ホワイトオーク突板ウレタン塗装
・木口：オーク無垢材

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事
青森県A1の2号	株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺	A1＝1：30　A3＝1：60	単位	MM	平成31年　3月　作製	図面名称	家具図（3）
検	印	担当	製図	製図	A 一 83	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

F-19	執行部机(3人用)	3F 議場	2ヶ所

・本体：ホワイトオーク突板ウレタン塗装
・木口：オーク無垢材

F-20	操作卓机	3F 議場	1ヶ所

・本体：ホワイトオーク突板ウレタン塗装
・木口：オーク無垢材

F-21	発言台(移動式)	3F 議場	2ヶ所

・本体：ホワイトオーク突板ウレタン塗装
・木口：オーク無垢材

F-22	議員机(2人用)	3F 議場	6ヶ所

・本体：ホワイトオーク突板ウレタン塗装
・木口：オーク無垢材

F-23	議場椅子(議長席)	3F 議場	1ヶ所

・オカムラ デューク エクストラハイバック程度
・背、座：布張り

F-24	議場椅子(議員席)	3F 議場	12ヶ所

・オカムラ CEチェアCXタイプ 程度
・ハイバック、パネル肘付
・背、座：布張り

F-25	議場椅子(執行部席)	3F 議場	25ヶ所

・オカムラ CEチェアCXタイプ 程度
・ローバック、パネル肘付
・背、座：布張り

F-26	議場椅子	3F 議場	8ヶ所

・オカムラ コーラル ミドルバック程度
・背、座：布張り

F-27	傍聴席椅子(4人用)	3F 議場	3ヶ所

・オカムラ LB38 総張りタイプ程度
・背、座：布張り

F-28	傍聴席椅子(3人用)	3F 議場	3ヶ所

・オカムラ LB38 総張りタイプ程度
・背、座：布張り

F-29	傍聴席椅子(2人用)	3F 議場	3ヶ所

・オカムラ LB38 総張りタイプ程度
・背、座：布張り

F-30	傍聴席椅子	3F 議場	19ヶ所

・オカムラ LITTOⅡ 程度
・背、座：布張り

F-31	傍聴席テーブル	3F 議場	2ヶ所

・オカムラ エレガスタ 程度

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺	A1＝1：30 A3＝1：60	単位	MM	平成31年 3月 作製	図面名称	家具図（4）
青森県A1の2号	株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検	印	担当	製図	製図	A — 84	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

F-32	移動書架	1F 書庫1	1ヶ所

ＬＫ型クランクモービルラック<耐震タイプ> 仕様	
単式5連移動 （1列）	381D×4665W×2272H
複式5連移動 （6列）	521D×4665W×2272H
単式5連固定 （1列）	381D×4665W×2272H
棚板寸法(複式移動棚)	854W×240D×22H
棚板寸法 （単式固定棚・移動棚）	854W×330D×22H
最大積載質量／単式1連	max 60kg/段, 400kg/連
単式換算総連数	70連 （単式有効6段　複式有効6段）
棚板総段数	420段 （有効）
レール設置方式	埋込方式
安全対策	通路ロック、耐震金具

注）・詳細設計により寸法及び仕様が変更になる場合があります。
・モービルラックは収納能力があるため集中的に大きな質量がかかります。
設置にあたっては床の強度など充分な配慮が必要です。
・セルフレベリング材(強アルカリ)や強酸性の材料を床材や埋め戻しに使用しないでください。

No	部品名称
①	レール
②	クランクハンドル
③	名札差
④	転倒防止レール
⑤	ブレース （複式のみ）
⑥	裏側板

※参考値

$$\frac{\text{最大積載質量＋自重}}{\text{設置面積}} = \frac{400\text{kg}\times 70\text{連}+3,149.0\text{kg}}{4.9\text{m}\times 4.7\text{m}} = 1353\ \text{kg／m}^2$$

・オカムラ　LK型クランクモービルラック程度
本体：スチール製焼付塗装

F-33A・B	移動書架

本図はF-32Aを示す
F-32Bはレイアウト左右対象

F-32A	2F 書庫2	1ヶ所
F-32B	3F 書庫3	1ヶ所

計2ヶ所

ＬＫ型クランクモービルラック<耐震タイプ> 仕様	
単式3連移動 （1列）	381D×2865W×2272H
複式3連移動 （4列）	521D×2865W×2272H
単式3連固定 （1列）	381D×2865W×2272H
棚板寸法(複式移動棚)	854W×240D×22H
棚板寸法 （単式固定棚・移動棚）	854W×330D×22H
最大積載質量／単式1連	max 60kg/段, 400kg/連
単式換算総連数	30連 （単式有効6段　複式有効6段）
棚板総段数	180段 （有効）
レール設置方式	埋込方式
安全対策	通路ロック、耐震金具

注）・詳細設計により寸法及び仕様が変更になる場合があります。
・モービルラックは収納能力があるため集中的に大きな質量がかかります。
設置にあたっては床の強度など充分な配慮が必要です。
・セルフレベリング材(強アルカリ)や強酸性の材料を床材や埋め戻しに使用しないでください。

No	部品名称
①	レール
②	クランクハンドル
③	名札差
④	転倒防止レール
⑤	ブレース （複式のみ）
⑥	裏側板

※参考値

$$\frac{\text{最大積載質量＋自重}}{\text{設置面積}} = \frac{400\text{kg}\times 30\text{連}+1,590.7\text{kg}}{3.8\text{m}\times 2.9\text{m}} = 1233\ \text{kg／m}^2$$

・オカムラ　LK型クランクモービルラック程度
本体：スチール製焼付塗装

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:30 A3=1:60	単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称	家具図（5）
青森県A1の2号	株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 / 担当 / 製図 / 製図		A — 85	管理建築士 1級建築士登録第113986号	川島芳正

＊　下記項目の寸法、形状、納まり等はメーカー仕様による。

1)　中空押出成形セメント板

2)　アルミ製及び鋼製建具

3)　サッシ廻りのアルミ製額縁及びアルミ製カーテンボックス

３階出隅詳細図　S=1/10

１、２階出隅詳細図　S=1/10

１、２階出隅詳細図　S=1/10

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：10　A3＝1：20　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　部分詳細図　（１）
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　一　86	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

独立庇1　屋根伏図　S=1/200

基本断面詳細図　S=1/10

庇矩計図S=1/100

アルミニウム建築構造協議会
接着ハニカムパネル設計・製作指針にて製作のこと
アルミニウム建築構造製作認定工場　I類製作工場とする。

【耐風圧性能】
建物高さ＝15.1m
庇高さ＝3.2m
再現期間＝100年
基準風速＝34m/sec　粗度区分＝Ⅲ
吹き上げ風圧力＝-223.7kgf/m²　吹き下げ風圧力=88.6kgf/m²

【積雪深さ】
180cm（540kgf/m²）

【仕様】
ハニカムパネル厚さ＝154mm
面板材料：AL2.0t
表面処理：フッ素樹脂焼付塗装

【防水仕様】
ハニカムパネル支持部：SUS製防水ボルト
ハニカムパネル目地部：シリコーンゴム製防水ゴム（シール接着）

※シール劣化を放置しますとアルミハニカムパネル製品に
不具合が発生する事があります。
定期的なメンテナンスをお願いします。
※構造体鉄骨強度については構造設計者様側で設定願います。

軒先材ジョイント部分詳細図S=1/10

い断面図

ろ断面図

は断面図

ファスナー納り詳細図　S=1/10

水切りジョイント部分詳細図　S=1/10

い断面図

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図　単位　MM	平成31年　3月　作製	図面名称　部分詳細（2）
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A — 87	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

ＡＣＷ４　詳細図

S=1/20

平面 S=1/2

断面 S=1/4

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図　単位　ＭＭ		平成３１年　３　月　作製	図面名称　部分詳細図（３）　ACW4	
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図		Ａ　一　８８	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正	

風除室３　靴ふきマット詳細図　S=1/20

事務室カウンター詳細図　S=1/20

フリーアクセスフロアー詳細図

基本仕様：溶融亜鉛メッキ鋼板パネル、耐荷重3000N、床高さH80

端部取合 断面図　S=1/5

寄木風デザイン杉板貼　詳細図　S=1/10・30

割付詳細図　S=1:30

ﾕﾆｯﾄ詳細図　S=1:10

エプロン詳細図　S=1/20

屋上点検タラップ詳細図　S=1/30

屋上ヘリサイン　詳細図　S=1/30

文字：ヒラギノ丸ゴシック体Ｗ５

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図　単位　ＭＭ						平成３１年　３　月　作製	図面名称　雑詳細図（１）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印			担当	製図	製図	Ａ　一　８９	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

防煙垂壁詳細図（１）　S=1/5

防煙垂壁詳細図（２）　S=1/5

消化器ボックス廻り詳細図　S=1/20

全埋込み型

ステンレス（t-0.8）ヘアライン
文字ステッカー付

UFB-1F-2204 同等品

軽量鉄骨天井開口補強詳細図　S=1/10・20

天井点検口開口補強図　S=1/10

床下点検口、屋内タラップ詳細図　S=1/10

平面図

姿図

断面図

乾式間仕切壁周り詳細図（１）　各図

間仕切壁詳細図　１：２０

間仕切壁取り合い　１：１０

壁出隅詳細　１：５

機械基礎　詳細図　S=1/20

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図	単位　ＭＭ				平成３１年　３月　作製	図面名称　雑詳細図（２）	
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印		担当	製図	製図	Ａ　一　９０	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正	

湯沸室　詳細図

S=1/20

ライニング　詳細図

S=1/30

ユニットシャワー（０８１２タイプ）参考図

S=1/20

ユニットシャワー（０８１２タイプ）

部位／項目	仕様（寸法単位：mm）	備考（色柄・品番等）
据付必要寸法	920D×1310W×2510H	
内寸法	800D×1150W×2005H	
床	FRP　濃色岩肌調仕上げ	U61
壁	Lパネル(マット)	LE301
天井	化粧鋼板複合パネル	458S
ドア枠	アルミアルマイト処理	ホワイト
ドア	折り戸：アルミアルマイト処理 面　材：型板調樹脂板	VDY-8002000R(75)/W
＊水栓金具	壁付サーモ水栓 シャワー：スプレーシャワー	BF-HE247TNX-PU BF-6JBP-PU1
照明	スリム照明(防湿型) 電球形蛍光ランプ60W形D形 1灯	EFD-C1-2A
収納	コーナー棚2段　樹脂製	NT-180A/W91
換気扇	天井換気扇 UF-24B	
トラップ	ABS樹脂製 封水55mm	
給水管	Rc1/2　アダプター止	
給湯管	Rc1/2　アダプター止	
雑排水管	塩ビ管　VP50	

S＝1：20

シャワーユニット開口枠詳細図（参考図）

S=1/20

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図	単位　MM				平成３１年　３月　作製	図面名称　雑詳細図（３）	
	検　印		担当	製図	製図			
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877						A　一　91	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正	

懸垂幕（縦型）　詳細図　S=1/30

下手巻式ステンレス製広告幕措置（既製品）
材質：SUS304
仕上：SUS研磨
強風地域仕様
降雪地域仕様

A部詳細図　S=1:10

※別途、高所作業台電動リフト納入

展示棚　詳細図　S=1/30

物置２　詳細図　S=1/30

取付高さ詳細図

取付高さ詳細図

※壁掛けヘルメットハンガーは全３２個掛け分

懸垂幕（横型）　詳細図　S=1/30

横幕式広告幕措置（既製品）
材質：SUS304
仕上：SUS研磨
強風地域仕様
降雪地域仕様

A部詳細図　S=1:10

※別途、高所作業台電動リフト納入

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　雑詳細図（４）
	青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A　一　９２	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

外観図

＜記号＞

記　号	名　　称
～	電源　1φ2W　AC100V
M	電動駆動装置　SLE81210−B
	スイッチボックス12V仕様　SLE81280−A
	予備電源　SLE35190−B−12V　特注品
	ジョイントボックス（別途工事）
	電源線（2C）CV線使用+E
	信号線（φ1．2×6C）HP線使用

※　電源線の太さは、電圧降下を考慮の上決定して下さい。
（±5%以下）　（電気設備工事）

※　エコケーブル使用時は
EM−CE2．0mm²×2C+E
EM−HPφ1．2×6C

＜施工区分＞

施　工　内　容	建築工事	電気設備工事
窓廻り排煙装置の供給取付	○	
電動駆動装置の供給取付	○	
スイッチ盤の供給取付	○	
排煙装置への電源線の結線		○
排煙装置への信号線の結線	○	
排煙窓（オペレーター）の調整	○	
電源（1φ2W−AC100V）		○
電源線の配管・通線		○
信号線の配管・通線		○

＜オペレーターシステム詳細＞

1．システム概略
　1）2F及び3F設置のスイッチボックスにて排煙窓を一斉に操作できます。
　2）商用電源停電時でも予備電源により開放可能です。
　　但し、閉鎖は出来ません。

2．作動詳細
　1）スイッチでの操作及び表示
　・操作は全開、全閉、閉鎖途中停止をスイッチをワンタッチ操作で行ないます。
　　「開」・・・排煙窓全開放、同時に開放ランプ点灯
　　「停」・・・排煙窓閉動作途中停止、同時に開放ランプ点灯
　　「閉」・・・排煙窓全閉鎖、全閉後に閉鎖ランプ点灯

3．需給電源
　1φ2W　AC100V　50／60HZ　3．1　KVA（需給電源容量）

4．配線基準
　1）電線の耐熱基準
　　「新・排煙設備技術指針1987年度版」
　　「防災設備に関する指針1994年度版」とします。
　2）配線の一般基準事項
　　公共建築工事標準仕様書
　　（電気設備工事編）　平成25年版とします。

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図	単位　MM				平成31年　3月　作製	図面名称　雑詳細図（5）
	検　印			担　当	製　図	製　図	A　一　93	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877								

凡　例

記　号	名　称	形　式
Ⓐ	街きょＡ	地先境界ブロックＡ－１２０
Ⓒ	街きょＣ	歩車道境界ブロック
W.L	白線（熔融式）	
	白線（ゼブラゾーン）	
	車椅子利用者用駐車場マーク	
	自転車用駐車場マーク	

記　号	名　称　・　形　式
	アスファルト舗装（車道・駐車場）　外構工事
	磁器質タイル３００角
	インターロッキングブロック舗装
	コンクリート金ゴテ
	砂利敷き
	設備用コンクリート基礎
	注意喚起用マーカー
+100	設計ＧＬからの高さ（mm）を示す

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：300　A3＝1：600	単位　ＭＭ				平成３１年　３　月　作製	図面名称　外構図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印		担　当	製　図	製　図	Ａ　一　９４	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

街きょ　A　詳細図　S=1/10

街きょ　C　詳細図　S=1/10

インターロッキングブロック舗装詳細図　S=1/10

磁器質タイル詳細図　S=1/10

屋外設備機器　基礎詳細図　S=1/10

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図による	単位　ＭＭ				平成３１年　３月　作製	図面名称　外構詳細図（１）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印		担　当	製　図	製　図	Ａ　一　９５	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

靴洗い場　詳細図　S=1/20

旗ポール詳細図　S=1/30

サイクルラック詳細図　S=1/30

ポーチ　２機（１０台分）

跳ね上げ式アルミ掲示板詳細図　S=1/30

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図による	単位　ＭＭ				平成３１年　３　月　作製	図面名称　外構詳細図（２）
	検　印		担当	製図	製図	Ａ　一　９６	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877							

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６	建築工事
b	敷居取付材	[－１２５×６５×６×８	建築工事
ｃ１	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｃ２	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ１	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ２	揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｋ１	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事
ｋ２	揚重ビーム	Ｈ－１２５×１２５×６．５×９	ＥＶ工事
ｍ	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
ｑ	ＡＬＣ受け材	Ｌ－７５×７５×６	建築工事

昇降路断面図　（１／５０）

（ＮＯ．０１）

昇降路内の温度は４０℃以下とする

	別　途　工　事　及　び　施　工　区　分　表	建築	電気	設備	本工事
1	昇降路の築造工事	○			
2	昇降路頂部の揚重ビームの設置工事（２０ｋＮ）				○
3	各階出入口の穴あけ工事（押釦・位置表示器を含む）	○			
4	各階乗場床の機器取付用かき込み工事	○			
5	乗場機器取付後の出入口まわりの壁及び床仕上工事	○			
6	ピット内防水仕上工事	○			
7	各階の三方枠及び扉機構取付用鋼材の設置工事	○			
8	各階出入口の敷居受け用持出し工事	○			
9	レール取付用鋼材の設置工事	○			
10	動力電源の昇降路内制御盤迄の引込工事（ＡＣ３相　２００Ｖ５０ＨＺ）		○		
11	制御電源の昇降路内制御盤迄の引込工事（ＡＣ１相　１００Ｖ５０ＨＺ）		○		
12	接地線の昇降路内制御盤迄の引込工事		○		
13	非常用インターホンの指定取付位置より昇降路迄の配管・配線工事 （指定取付場所　　階　　室）		○		
14	ピット内点検用コンセント設備工事		○		
15	昇降路頂部の煙感知器・熱感知器設備工事		○		
16	エレベーター遠隔監視用配管・配線工事（ＭＤＦからエレベーター制御盤迄）		○		
17	火災発生時、ＯＮする無電圧接点の昇降路までの配管・配線工事		○		
18	かご内スピーカー用配管・配線工事		○		

昇降路頂部煙感知器設置例

・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい
　①ＥＶ昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）
　②以下２項目を満足する点検口　～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
　　（１）スイッチ取付スペース２００×９０程度確保できる。
　　（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、１mm以上浮かないこと。

煙感知器・点検ボックス（参考例）　　矢視A-A

乗場正面図　（１／２０）

（Ｎｏ．０１号機）
（１－３階）

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室ﾚｽｴﾚﾍﾞｰﾀｰ（トラクション式）
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式(1C-2BC)
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	60m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅x高さ	800mmx2100mm
	かご室サイズ（内法間口ｘ奥行ｘ高さ）	1400mmx1350mmx2280mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	3停止(1-3階)
	動力用電源	AC3φ-200V-50Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-50Hz
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	平成28年版
	敷居間隔	10mm
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ2D
	車いす仕様	あり（制御機能）
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波センサ付3段設定(普通級)
	停電時自動着床装置（ＭＥＬＤ）	あり
	かご呼び取消し機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 300mm以下ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ(1-3階)
	乗場戸	鋼板化粧シート貼（標準柄）仕上(1-3階)
	乗場戸目地付	ステンレスヘアライン仕上(1-3階)
	乗場敷居	アルミ製(1-3階)
	乗場インジケーター	一体セグメントLED　ステンレスヘアライン(1-3階)
	乗場インジ一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED(1-3階)
	休止灯	あり
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ﾎﾞﾀﾝﾌﾟﾚｰﾄ一体形 ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上(1-3階)
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED(1-3階)
	乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込
かご室仕様	天井	DL1:LED傾斜形照明(白色LED)
	かご室壁・戸	化粧鋼板
	袖壁・出入口柱	ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート材質・仕上	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター(5.7インチ) CUDO認定品
	かご操作盤液晶表示言語	４ヵ国語ガイド(通常時：日英、緊急時：日英中韓、１画面表示)
	車いす専用かご操作盤	両側面に設置 ﾌﾟﾚｰﾄ:ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上
	車いす専用かご操作盤インジケータータイプ	セグメントLED
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED
	かご室換気	ﾗｲﾝﾌﾛｰﾌｧﾝ
	かご室手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	かご室鏡	ｽﾃﾝﾚｽ鏡面枠なし（570mm×1400mm）
	キックプレート	ステンレスヘアライン仕上（ビスなし）高さ:床面より350mm
	壁保護幕	あり（磁石式）
	床保護マット	あり
その他仕様	気配りドア	あり
	ホールモーションセンサ＜３Ｄ＞	あり
	遮煙機能	ディフェンスドア　2枚戸両引き用(1-3階)
	点字名板取付方法	接着
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	24V
	かご内アナウンス	かご内４ヵ国語アナウンス(通常時：日英、緊急時：日英中韓)
	かご室スピーカー	あり
	高調波対策種類	ACﾘｱｸﾄﾙ(Ki=1.8)
	フェッシャープレート	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ手配(2-3階)
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検口スイッチ	あり
	仮設動力電源	1式

１号機

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：20　A3＝1：40	単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　昇降機設備図（1）	
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印	担　当　製　図　製　図	Ａ　―　９７	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正	

昇降路平面図 （1／20）
（1階）

※鉄骨のジョイント部分が
ファスナープレートと干渉

昇降路平面図 （1／20）
（頂部）

最上部ファスナーにかかる荷重　Ｎｏ．０１

Ｑ１（ｋＮ）	Ｑ２（ｋＮ）	Ｑ３（ｋＮ）	Ｑ４（ｋＮ）
１５．４	１５．４	２８．７	２１．０

Ｑ１～Ｑ４はＥＶ据付時に作用する

動力電源設備（ＣＶ－Ｔ電線使用時）　　（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値 動作時間（＊）	電線サイズ	接地線サイズ
０１	ＡＣ３φ２００Ｖ ５０Ｈｚ	５．１ｋＷ	５ｋＶＡ	４０ＡＴ	１００ｍＡ以上 ０．２秒以上	５３ｍまで　８mm² ９２ｍまで　１４mm² １４０ｍまで　２２mm²	３．５mm²

照明用電源ＡＣ１φ１００Ｖ　５０Ｈｚ（設備容量１ｋＶＡ／台　電源側ＮＦ容量２０ＡＴ／台）

●電源引込み口（最下階天井付近）
動力用ＡＣ３φ－２００Ｖ－５０Ｈｚ－５．１ｋＷ
照明用ＡＣ１φ－１００Ｖ－５０Ｈｚ－１．０ｋＷ
Ｄ種接地工事
一次側継ぎ工事まで施工
（電気工事）

●電話回線
ＭＤＦからエレベーター制御盤へ
ＰＶＣ　０．６５　４Ｃ（１９）
（電気工事）

●制御盤内まで火災時閉じる無電圧接点支給工事
（電気工事）

●外部インターホン取付位置（　）迄の
配管・配線工事（電気工事）
０．９mm×１４本（φ２５）

●制御盤まで放送スピーカー用配管・配線工事
１．２×３本　（電気工事）

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

昇降路平面図 （1／20）
（ピット）

レール下端部荷重（長期荷重）			
Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）
２８．２	２７．８	４９．８	２３．９

ピット荷重（短期荷重）	
Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
８９．５	７１．６

※鉄骨のジョイント部分が
ファスナープレートと干渉

昇降路平面図 （1／20）
（2-3階）

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－７５×７５×６	建築工事
b	敷居取付材	[－１２５×６５×６×８	建築工事
ｃ１	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｃ２	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ１	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ２	揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｋ１	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事
ｋ２	揚重ビーム	Ｈ－１２５×１２５×６．５×９	ＥＶ工事

ＮＯ．０１

ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重

Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２
４．６６	２．３３	７．２９	３．６５

（単位：ｋＮ）

注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付けること。

１号機

ＮＯＴＥ

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺	Ａ１＝１：２０ Ａ３＝１：４０	単位	ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称	昇降機設備図（２）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877		検　印	担当	製図	製図	Ａ　―　９８	管理建築士	１級建築士登録第113986号　川島芳正

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６	建築工事
b	敷居取付材	Ｈ－１００×１００×６×８	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ１	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ２	揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事
m	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
q	ＡＬＣ受け材	Ｌ－７５×７５×６	建築工事

昇降路断面図　（１／５０）
（ＮＯ．０２）

昇降路内の温度は４０℃以下とする

	別　途　工　事　及　び　施　工　区　分　表	建築	電気	設備	本工事
1	昇降路の築造工事	○			
2	昇降路頂部の揚重ビームの設置工事（２０ｋＮ）				○
3	各階出入口の穴あけ工事（押釦・位置表示器を含む）	○			
4	各階乗場床の機器取付用かき込み工事	○			
5	乗場機器取付後の出入口まわりの壁及び床仕上工事	○			
6	ピット内防水仕上工事	○			
7	各階の三方枠及び扉機構取付用鋼材の設置工事	○			
8	各階出入口の敷居受け用持出し工事	○			
9	レール取付用鋼材の設置工事	○			
10	動力電源の昇降路内制御盤迄の引込工事（ＡＣ３相　２００Ｖ５０ＨＺ）		○		
11	制御電源の昇降路内制御盤迄の引込工事（ＡＣ１相　１００Ｖ５０ＨＺ）		○		
12	接地線の昇降路内制御盤迄の引込工事		○		
13	非常用インターホンの指定取付位置より昇降路迄の配管・配線工事 （指定取付場所　　階　　室）		○		
14	ピット内点検用コンセント設備工事		○		
15	昇降路頂部の煙感知器・熱感知器設備工事		○		
16	エレベーター遠隔監視用配管・配線工事（ＭＤＦからエレベーター制御盤迄）		○		
17	火災発生時、ＯＮする無電圧接点の昇降路までの配管・配線工事		○		
18	かご内スピーカー用配管・配線工事		○		

昇降路頂部煙感知器設置例

・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい
　①ＥＶ昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）
　②以下２項目を満足する点検口　～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
　　（１）スイッチ取付スペース２００×９０程度確保できる。
　　（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、１ｍｍ以上浮かないこと。

煙感知器・点検ボックス（参考例）　　矢視A-A

乗場正面図　（１／２０）
（Ｎｏ．０２号機）
（１－３階）

分類	仕様項目	02号機
基本仕様	機種名称	機械室ﾚｽｴﾚﾍﾞｰﾀｰ（トラクション式）
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式(IC-2BC)
	積載量	450kg
	定員	6名
	定格速度	60m/min
	戸開方式	2枚戸片引き（2S）
	出入口幅x高さ	800mmx2000mm
	かご室サイズ（内法間口ｘ奥行ｘ高さ）	1050mmx1150mmx2280mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	3停止(1-3階)
	動力用電源	AC3φ-200V-50Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-50Hz
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	平成28年版
	敷居間隔	10mm
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ2D
	地震時管制運転方式	P波センサ付3段設定(普通級)
	停電時自動着床装置（ＭＥＬＤ）	あり
	かご呼び取消し機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 300mm以下 鋼板塗装（ﾒｰｶｰ標準色）(1-3階)
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）仕上(1-3階)
	乗場敷居	アルミ製(1-3階)
	乗場インジケーター	一体セグメントLED　ステンレスヘアライン(1-3階)
	乗場インジー体形ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED(1-3階)
	休止灯	あり
	乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込
かご室仕様	天井	CL2:LEDダウンライト(白色LED)
	かご室壁・戸	化粧鋼板
	袖壁・出入口柱	ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート材質・仕上	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター(5.7インチ) CUDO認定品
	かご操作盤液晶表示言語	４ヵ国語ガイド(通常時：日英、緊急時：日英中韓、１画面表示)
	かご室換気	ﾗｲﾝﾌﾛｰﾌｧﾝ
	壁保護幕	あり（磁石式）
	床保護マット	あり
その他仕様	気配りドア	あり
	ホールモーションセンサ＜３Ｄ＞	あり
	遮煙機能	ディフェンスドア　2枚戸片引き用(1-3階)
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	24V
	かご内アナウンス	かご内４ヵ国語アナウンス(通常時：日英、緊急時：日英中韓)
	かご室スピーカー	あり
	高調波対策種類	ACﾘｱｸﾄﾙ(Ki=1.8)
	フェッシャープレート	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ手配(2-3階)
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検口スイッチ	あり
	仮設動力電源	1式

２号機

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事

青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺	A1＝1：20　A3＝1：40	単位	ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称	昇降機設備図（1）
検印	担当	製図	製図	Ａ　―　９９	管理建築士	1級建築士登録第113986号　川島芳正

昇降路平面図 （１／２０）

（１階）

昇降路平面図 （１／２０）

（頂部）

最上部ファスナーにかかる荷重 Ｎｏ．０２

Ｑ１（ｋＮ）	Ｑ２（ｋＮ）	Ｑ３（ｋＮ）	Ｑ４（ｋＮ）
１４．７	１３．３	２２．８	１３．７

Ｑ１～Ｑ４はＥＶ据付時に作用する

NO. 02

ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重

Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２
３．４０	１．７０	５．２７	２．６４

（単位：ｋＮ）

注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付けること。

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－７５×７５×６	建築工事
b	敷居取付材	Ｈ－１００×１００×６×８	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ１	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
ｄ２	揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事

動力電源設備（ＣＶ－Ｔ電線使用時）

（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値 動作時間（＊）	電線サイズ	接地線サイズ
０２	ＡＣ３φ２００Ｖ ５０Ｈｚ	３．１ｋＷ	３ｋＶＡ	３０ＡＴ	１００ｍＡ以上 ０．２秒以上	８７ｍまで　８mm² １５０ｍまで　１４mm² ２２８ｍまで　２２mm²	２．０mm²

照明用電源ＡＣ１φ１００Ｖ　５０Ｈｚ（設備容量１ｋＶＡ／台　電源側ＮＦ容量２０ＡＴ／台）

●電源引込み口（最下階天井付近）
動力用ＡＣ３φ－２００Ｖ－５０Ｈｚ－３．１ｋＷ
照明用ＡＣ１φ－１００Ｖ－５０Ｈｚ－１．０ｋＷ
Ｄ種接地工事
一次側継ぎ工事まで施工
（電気工事）

●電話回線
ＭＤＦからエレベーター制御盤へ
ＰＶＣ　０．６５　４Ｃ（１９）
（電気工事）

●制御盤内まで火災時閉じる無電圧接点支給工事
（電気工事）

●外部インターホン取付位置（　）迄の
配管・配線工事（電気工事）
０．９mm×１４本（φ２５）

●制御盤まで放送スピーカー用配管・配線工事
１．２×３本　（電気工事）

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ちあ
げて下さい（建築工事）

昇降路平面図 （１／２０）

（ピット）

レール下端部荷重（長期荷重）			
Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）
２５．８	２０．６	２８．３	４５．８

ピット荷重（短期荷重）	
Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
６１．９	５１．２

昇降路平面図 （１／２０）

（２－３階）

２号機

NOTE

工事名称	野辺地町庁舎等新築工事	縮尺	A1＝1：20　A3＝1：40	単位	MM	平成３１年　３月　作製	図面名称	昇降機設備図（2）
青森県A1の2号	株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検	印	担当	製図	製図	A ― 100	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

［１］太陽光発電設備設置工事 特記仕様書

1. 一般事項

1.1 適用範囲

本仕様書は、「野辺地町庁舎等新築工事」に於ける
系統連系用太陽光発電設備について適用する。

1.2 適用規格･法規等

本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとし、
また、電力系統への連系は、電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイド
ライン及び系統連系規程によるものとする。

（１） 労働基準法　　（６） 建築基準法
（２） 労働安全衛生法　　（７） 日本工業規格（ＪＩＳ）
（３） 電気事業法　　（８） 日本電機工業会標準規格（ＪＥＭ）
（４） 電気設備技術基準　　（９） 日本電気規格調査会標準規格（ＪＥＣ）
（５） 消防関係法規　　（１０） 日本電線工業会規格（ＪＣＳ）

2. システム概要

2.1 設備の概要

名　称　：野辺地町庁舎等新築工事太陽光発電システム
所在地　：青森県上北郡野辺地町
連系する電力系統　：高圧一般配電線下位区分
　低圧一般配電線（三相３線　２０２Ｖ　５０Ｈｚ）
発電設備の種類　：太陽電池発電所
設備容量　：太陽電池容量　　１０．５ｋＷ相当
　ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ容量　１０ｋＷ×１台
逆潮流の有無　：逆潮流あり
売電方式　：売電なし

2.2 システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、接続箱、パワーコンディショナ（連系
保護装置含む）、データ計測装置及び表示装置等より構成する。
（システム構成図は別図参照）

① 太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、これを接続箱で
集電する。
② パワーコンディショナは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、
位相と同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給する。
③ 連系保護装置等により、パワーコンディショナ及び系統の異常時には連系を
遮断する。
④ 運転データ等は、データ計測装置により収集する。

2.3 運転方式

パワーコンディショナは、下記の通り全自動運転を行うものとする。

① 太陽電池の動作特性を監視し、設定値に達するとパワーコンディショナ
を自動的に起動する。
② 太陽電池の出力を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止する。
③ 太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として日中発電時のみ
を対象とする。日中発電時に日射不足により給電不能となる場合は自動的
に運転を停止させる。
④ 太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を採って行い、
不要な高頻度のポンピングを避ける。
⑤ 交流系統に事故が発生した場合やパワーコンディショナ故障時は、速やか
に商用系統との連系接続を解列し確実に停止する。
⑥ 商用系統の事故の場合は、商用系統が復旧すれば確認時間後、自動的に
再投入して運転を再開する。

2.4 系統連系保護方式

本システムにおける連系保護装置は、電気設備技術基準に沿って設置する
ものとする。下表に、保護継電器の種類、設置相数、検出場所を示す。
（高圧連系下位区分）

表－１

保護継電器の種類	設置相数	検出場所
① 過電圧継電器　(OVR)	二相	パワーコンディショナ内
② 不足電圧継電器　(UVR)	三相	
③ 周波数上昇継電器(OFR)	一相	
④ 周波数低下継電器(UFR)	一相	
⑤ 単独運転検出機能(受動・能動)	－	

2.5 データ計測方式

本システムにおけるデータ計測に当たっては、①　１　に示す機器により、
②に示す条件で、③ に示すデータを自動的に収集し、定められた
フォーマットに従って蓄積及び抽出できる計測システムを構築する。

① 使用機器
・小型計測表示端末　：1式
② 測定周期、演算周期
・測定周期　：メーカー仕様による
・演算周期　：メーカー仕様による
③ データ収集項目

項　　目	測定点数	データ格納
・パワーコンディショナ出力電圧、電流、電力	各1点	○※

※パワーコンディショナ台数分の合計値とする。

3. 機器仕様

3.1 太陽電池モジュール

種　類　：結晶系シリコン太陽電池
合計容量　：１０．５ｋＷ相当
外形寸法　：機器図参照
出力特性　：機器図参照
枚　　数　：機器図参照

3.2 接続箱

構造・材質　：機器図参照
外形寸法　：機器図参照
定格電圧　：ＤＣ５００Ｖ
最大入力電圧　：ＤＣ７５０Ｖ
回路数　：入力４回路（メーカー標準仕様による）
定格入力電流　：ＤＣ１０Ａ（１回路あたり）
定格出力電流　：ＤＣ４０Ａ
収納機器　：入力回路断路端子及び逆流防止ダイオード
　配線用遮断器、雷保護器（メーカー標準仕様）
塗装色　：マンセル（５Ｙ７／１）
台　数　：１台

3.3 パワーコンディショナ

種　　類　：系統連系パワーコンディショナ（壁掛型）
定格出力　：１０ｋＷ
定格入力電圧　：ＤＣ ４００Ｖ
入力電圧範囲　：ＤＣ ０～６５０Ｖ
最大電力追従制御範囲　：ＤＣ ２００Ｖ～５５０Ｖ
定格出力電圧　：ＡＣ ２０２Ｖ　５０Ｈｚ／６０Ｈｚ
電気方式　：三相３線式（Ｖ相接地）
電力変換効率　：９６．５％（定格入力時：JIS C8961による）
出力基本波力率　：０．９５以上
出力電流ひずみ率　：総合５％以下　各次３％以下（入出力定格時にて）
電力制御方式　：最大出力追従制御（連系運転時）
運転/停止　：「２．３ 運転方式」による。
保護機能　：「２．４ 系統連系保護方式」による。
周囲温度　：気温－２０～＋５０℃
相対湿度　：１０～９５％（結露なきこと）
外形寸法・重量　：機器図参照
台　数　：１台

3.4 データ計測装置

使用機器　：小型計測端末（表示用ソフト内臓）
シリアルポート　：RS-485 入出力ポート×2
画像出力　：ＨＤＭＩ１．４
外形寸法　：Ｗ１５２×Ｈ１０２×Ｄ３７mm（参考寸法）
電　源　：ＤＣ５Ｖ３Ａ（専用ＡＣアダプタ使用）
重　量　：約２５０ｇ（参考重量）
その他　：機器は、屋内屋外兼用壁掛け型ボックスに収納する。
台　数　：１台

3.5 表示装置

使用機器　：液晶表示パネル（４０インチ相当）
表示項目　：発電電力、発電電力量、説明画面等
外形寸法　：機器姿図参照
重　量　：機器図参照
電源電圧　：ＡＣ１００Ｖ
その他　：固定用付属部品含む
台　数　：1台

4.1 機器据付、配線工事

（１）据付工事
　納入機器の据付工事
　据付工事は単線系統図の工事範囲による。
（２）配線工事
　納入機器の配線工事
　配線、配管工事は単線系統図の工事範囲による。

4.2 接地用配線工事

（１）納入機器の接地配線つなぎ込み

4.3 工事範囲外

（１）系統連系及び計測のために必要な、高圧受電盤、
　低圧盤等の改造工事
（２）システム設置機器、装置用のＣ種及びＤ種接地工事
（３）表示装置及び計測装置のＡＣ１００Ｖ電源配線工事
（４）太陽電池ルーバー架台脚部工事
（５）太陽電池ルーバー架台用鉄骨工事
（６）太陽電池架台用基礎工事
（７）パワーコンディショナ盤等用基礎工事
（８）電力会社系統連系申請

5. 試運転・完成検査項目

試運転・完成検査項目は、下表に示す通りとする。

	太陽電池	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ	データ計測装置	表示装置	配線ｹｰﾌﾞﾙ
外観・構造試験	○	○	○	○	○
絶縁抵抗試験	○注	○注			○
絶縁耐圧試験	○注	○注			
保護装置特性		○注			
動作確認試験		○	○	○	

注）現地検査または工場検査のいずれかで可。

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　－　単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　太陽光システム　仕様書
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	Ａ　一　１０１	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

単線系統図

太陽電池一体型目隠しルーバー
（１０．５ｋＷ相当）

特記事項
- ———— は太陽光発電工事。
- ———— は電気設備工事。
- 太陽光発電の配線工事に必要な電気配管、ケーブルラック、スラブ貫通配管等は電気設備工事。
- 接地配線は、既設配線端子に接続する。

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 － 単位 ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　太陽光システム　仕様書
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ ― １０２	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

太陽電池一体型目隠しルーバー

＜パネル＞ＰＶモジュール２枚タイプ（１２８台）

太陽電池モジュール（Ｍ１）仕様
※出力特性（参考値）
・最　大　出　力　：４１．０Ｗ
・最大出力動作電圧：４．５６Ｖ
・最大出力動作電流：９．００Ａ
・開　放　電　圧　：６．０２Ｖ
・短　絡　電　流　：９．４１Ａ
・数　　量　　：２５６枚
○出力特性値は、ＪＩＳ Ｃ ８９１８で規定する基準状態での値です。
○製品の定格およびデザインは、改善等のため予告なく変更する場合があります。

接続箱

※寸法・形状は全て参考仕様です。

機器仕様
・構　　造：屋外壁掛型
・材　　質：鋼板製（ｔ１．６相当）
・重　　量：約２３ｋｇ

交流集電箱

※寸法・形状は全て参考仕様です。

機器仕様（参考値）
・構　　造　　：屋外壁掛型
・配線用遮断器：ELCB 3P 50AF/50AT×2
　　MCB 3P 100AF/75AT×1
・材　　質　　：鋼板製（t＝1.6）
・概算重量　　：約24ｋｇ

パワーコンディショナ

※寸法・形状は全て参考仕様です。

機器仕様
種　　類：系統連系パワーコンディショナ
設置場所：屋外または屋内
　　（直射日光や強い風雨があたらない事）
筐体構造：アルミダイカスト構造
重　　量：約５５ｋｇ
保護等級：ＩＰ５６

小型計測表示端末

※寸法・形状は全て参考仕様です。

収納機器仕様
・小型計測表示端末：収集したデータはＵＳＢメモリ内に保存する。
　　計測データをもとに、日報や月報等を作成する。
　　ＨＤＭＩ出力等の画像出力機能を持つ。
・露出コンセント　：２Ｐ１５Ａ×２口
※機器は、屋内屋外兼用壁掛け型ボックスに収納する。

表示装置

※寸法・形状は全て参考仕様です。

機器仕様
・構　　造　：屋内壁掛型液晶表示パネル
・サ　イ　ズ　：４０型ワイド相当
　　（ＴＶチューナー及びスピーカー付）
・重　　量　　：約１８ｋｇ（本体のみの重量）

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　－	単位　ＭＭ					平成３１年　３月　作製	図面名称　太陽光システム　機器図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印			担当	製図	製図	Ａ　一　１０３	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

アイテム区分	記号	サイン名称	外構	1F	2F	3F	小計	単位	備考
外部	EX-01	外部自立型施設名称サイン	1	0	0	0	1	ヶ所	
	EX-03	夜間･休日窓口サイン	1	0	0	0	1	ヶ所	
	EX-04	西側壁面文字	1	0	0	0	1	ヶ所	
	EX-05	南側壁面文字	1	0	0	0	1	ヶ所	
	P-01	パーキング自立サイン-A	2	0	0	0	2	ヶ所	
内部	T-01	ピクトサイン	0	7	4	4	15	ヶ所	◆にて表記
	T-02	突出しサイン	0	5	3	3	11	ヶ所	◇にて表記
	T-03	バックヤードサイン	0	24	17	17	58	ヶ所	▲にて表記
	T-04	衝突防止サイン	0.0	20.6	0.0	0.0	20.6	m	
	T-06	階数表示サイン-B	0	0	1	1	2	ヶ所	━･━･━･━･･
	T-09	天井側下地工事	0.0	42.3	39.2	0.0	81.5	m	･････ 建築工事
	A-02	施設名称サイン-B（シート文字）	0	3	0	0	3	ヶ所	
	A-03	総合案内サイン-A	0	1	0	0	1	ヶ所	
	A-04	総合案内サイン-B（EV横）	0	1	1	1	3	ヶ所	
	A-05	EV内フロア案内	0	1	0	0	1	ヶ所	
	A-06	袖型サイン	0	1	0	0	1	ヶ所	
	A-07	時間外入口サイン	0	1	0	0	1	ヶ所	
	A-08	注意書表示	0	1	0	0	1	ヶ所	
	A-09	フロア案内サイン	0	1	1	0	2	ヶ所	
	M-01	パラペットサイン（直線）	0.0	8.4	39.2	0.0	47.6	m	━━━ M01 ━━━
	M-02	パラペットサイン（曲線）	0.0	33.9	0.0	0.0	33.9	m	━━━ M02 ━━━
	M-03	セグメントパネルサイン	0	40	26	0	66	面	⧗にて表記
	M-05	手数料金表示	0	2	0	0	2	ヶ所	
	M-06	世帯表示	0	1	0	0	1	ヶ所	
	S-01	室名サイン-Ａ	0	0	2	0	2	ヶ所	
	S-02	室名サイン-Ｂ（一般）	0	0	1	0	1	ヶ所	
	S-03	室名サイン-Ｃ（在・不在）	0	4	3	0	7	ヶ所	
	S-04	室名サイン-Ｄ（ペーパークリップ）	0	2	4	0	6	ヶ所	
	S-05	室名サイン-E（切文字）	0	0	3	4	7	ヶ所	
	S-06	室名サイン-F	0	0	1	1	2	ヶ所	
	S-07	室名サイン-G	0	0	0	2	2	ヶ所	
	Q-01	ポスターボード	0.0	12.0	4.8	0.0	16.8	m	
	Y-01	議場表示サイン	0	0	0	1	1	ヶ所	
	Y-02	傍聴案内サイン	0	0	0	1	1	ヶ所	
	Y-03	町章、国旗表示	0	0	0	2	2	ヶ所	
	Y-04	議会表示	0	0	0	1	1	ヶ所	
	D-01	デジタルサイネージ	0	1	0	0	1	ヶ所	･････ 電気設備工事
	D-02	ウェルカムボード	0	1	0	0	1	ヶ所	

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事

青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺　－　単位　ＭＭ

検印　担当　製図　製図

平成３１年　３月　作製

Ａ　一　１０４

図面名称　サインアイテムリスト

管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：300 A3＝1：600	単位 MM					平成３１年 ３ 月 作製	図面名称 配置 サインキープラン
青森県A１の２号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印			担 当	製 図	製 図	A ― 105	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

庁舎　1階　サインキープラン　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:100 A3=1:200　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　1階 サインキープラン
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL. 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 / 担当 製図 製図	A — 106	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

庁　舎　　２　階　サインキープラン　　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200	単位　MM					平成３１年　３月　作製	図面名称　２階　サインキープラン
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL. 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検	印		担当	製図	製図	A ― 107	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

庁舎　3階　サインキープラン　A1版 1/100　A3版 1/200

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1＝1：100 A3＝1：200　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　3階 サインキープラン
	青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検 印 / 担当 / 製図 / 製図	A 一 108	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

一般共通事項

(1) 施工前に施工箇所の状況確認などを行い、事業者の監督員と協議した上で、設置・施工方法などを決定すること。協議は事業者が指定する場所に於いて行うものとする。
(2) 事業者の要望による追加・変更要請には、必要なコスト面での提案や最適な施工方法の考慮などを行った上で対応すること。
(3) 実施工程表・施工計画書等を作成し、監督員へ提出する事。又、施工箇所全ての施工図・製作図を作成し、監督員と協議した上で施工すること。
(4) 各施工者から必要な情報を収集し、施工調整を行い、施工に反映すること。
(5) 工事施工に必要な関係諸官庁等への手続きは、工事請負業者により迅速に処理すること。
(6) 施工時には、施工箇所が適切な位置・状況であることを確認した上で、適切な方法を用いて施工を行うこと。
(7) 敷地内の搬出入及び経路は、車両別・運搬物種別・期間・時間等を掲示の上、監督員と協議・了承を得て仮設計画を図ること。
尚、公道からの車両搬出入口には交通誘導員を配置し、一般通行人に対する安全に務めること。
(8) 工具使用及び施工に際し、騒音・振動・防塵対策を十分に考慮すること。
(9) 作業時間については、監督員と協議の上、適切に対処すること。
(10) 施工時、必要となる箇所には養生を施し製品及び建物等に損傷を生じないように配慮すること。また、設置終了時には清掃及び梱包材等の後片付けを行い、設置・施工時に生じた発生材処分はすべて場外処理とする。
(11) 施工箇所は、施工着手の前後写真を撮影し、適切に工事が完了したことを明確にした上で、監督員に報告すること。
(12) 竣工検査に立ち会うこと。
(13) 本件サイン引き渡し後１年以内に看板の一部又は全部が破損その他の不具合が発生した場合は、速やかに無償で交換又は修理等の補償をする。ただし、施工者の責に帰す場合ではない事由であったり、天災等不可抗力による場合はこの限りではない。
(14) 公道上では道路使用等届け出を必ず行い、安全に留意し、交通誘導員等を配置し、安全に務めること。
(15) ＜註記＞　Use-SS400,STKR400、地耐力 長期=30KN/㎡ 短期=60KN/㎡、コンクリート Fc=21、鉄筋 SD295A,SD345(D22) とする。

サイン工事特記事項

(1) 意匠に関しては株式会社オカムラの監修を受けること。
(2) サインの設置箇所を示した配置図及び一覧表と、サインの取付意匠図(取付高さ、取付位置、大きさ、周辺設備等との視覚的・構造的な関連性など)を作成し、監督員からの承認を得た後、最終的に総合図へと反映させること。
(3) 工事請負業者は、各サインの製作図、施工図、展開図及び現場写真への落とし込みなどを作成し、監督員の承認を受けること。
製作図は、版下原稿の内容を反映させたものとすること。
(4) 耐候性および耐光性(紫外線による劣化防止など)に極力配慮したインクジェットシート・フィルムシートを用いること。
又、指定色は正確に再現して提案した上で、監督員の承認を得ること。
(5) 施工に必要な製作図、展開図、平面図への落とし込みなどを作成し、サインの取付位置(壁面への取り付け高さ、位置、大きさなど)の提案をして監督員の承認を受けること。
(6) 以下の内容については工事請負業者の作業範囲とする。
イ・表示面(壁面)の図版、文字レイアウト(以下グラフィックとする)の作成。
ロ・グラフィックの展開及び版下原稿の作成。
ハ・監督員に最終承認を受けるまでの提案・校正作業。
(7) 【材料検査】
監督員が必要と認めた場合に行う。
【製品検査】
製品検査は工事請負業者の責任において、製作図及び打ち合わせ事項に基づいて製品完成時に行い
その結果と処置を監督員に報告し、必要に応じて監督員の製品検査を受けること。
(8) サイン本体の取付は適切な施工方法で行い、設置箇所の状況などに応じて適切な下地・補強作業を施し、竪固に取り付けること。
また、必要に応じて他業者との調整・連絡等施工に係る部位において、作業の円滑をはかること。
(9) 施工状況を確認した上で、計画通りの施工が困難であると分かった場合は、監督員と相談した上で立会などのもと、状況に適した施工方法をとること。
(10) 現場搬入・検収後であっても、材料の不良や粗悪による瑕疵等は、直ちに新規取替ないし補修を行うものとする。

EX/01 外部自立型施設名称サイン

EX/03 夜間・休日窓口サイン

EX/04 西側壁面文字

EX/05 南側壁面文字

P/01 パーキング自立サイン

T/01 ピクトサイン

T/02 突き出しサイン

T/03 バックヤードサイン

T/04 衝突防止サイン

T/06 階数表示サイン-B

T/09 天井側下地工事

A/02 施設名称サイン-B（シート文字）

A/03 総合案内サイン-A

A/04 総合案内サイン-B（EV横）

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　－　単位　ＭＭ					平成３１年　３月　作製	図面名称　サイン詳細参考図（１）
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印			担当	製図	製図	Ａ　一　１０９	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

A/05 EV内フロア案内

A/06 袖型サイン

A/07 時間外入口サイン

A/08 注意書表示

A/09 フロア案内サイン

M/01 パラペットサイン（直線） M/02 パラペットサイン（曲線）

M/03 セグメントパネルサイン

M/05 手数料金表示

M/06 世帯数表示

S/01 室名サイン-A

S/02 室名サイン-B（一般）

S/03 室名サイン-C（在・不在）

S/04 室名サイン-D（ペーパークリップ）

S/05 室名サイン-E（切文字）

S/06 室名サイン-F

S/07 室名サイン-G

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 －	単位 MM			平成３１年　３月　作製	図面名称　サイン詳細参考図（２）	
	検	印	担当	製図	製図	A ― 110	
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877						管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正	

Q/01 ポスターボード

Y/01 議場表示サイン

Scale 1:30

Scale 1:4

Y/02 傍聴案内サイン

Scale 1:10

Y/03 町章、国旗表示

Scale 1:20

Y/04 議会表示

Scale 1:10

D/01 デジタルサイネージ

USB接続　デジタルサイネージ55インチ(Panasonic TH-55LF80J程度)
サイネージエンジン付き
取付金物共

【電気設備工事】

D/02 ウェルカムボード

Scale 1:30

NOTE	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　－　単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ　一　１１１
			図面名称　サイン詳細参考図（３）
			管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

防火区画種別凡例

1時間耐火　FP060NP-0174　＋　特定防火設備　（壁）

1時間耐火　FP060NP-0174　（壁：小屋裏のみ）　＋　不燃材の建具

防火区画図

車　庫

記号	1　階　（㎡）
㋑	3.500 × 7.000 ＝ 24.500
㋺	1.795 × 4.500 ＝ 8.078
㋩	36.410 × 7.000 ＝ 254.870
㋥	1.795 × 4.500 ＝ 8.078
㋭	3.500 × 7.000 ＝ 24.500
延床面積（㎡）	320.02
容積対象面積（㎡）	▲車庫部面積（Ⓔ+Ⓕ+Ⓖ）×1/5 ＝ 55.740 264.28
㋬	0.700 × 0.700 ＝ 0.490
㋣	1.795 × 2.500 ＝ 4.488
㋠	1.795 × 2.500 ＝ 4.488
建築面積（㎡）	329.48

床面積求積表

車　庫

記号	室　名	1　階　（㎡）
Ⓐ	車両管理室	3.20 × 2.20 ＋ 5.295 × 2.30 ＋ 3.50 × 2.50 ＝ 27.969
Ⓑ	トイレ	2.095 × 1.20 ＝ 2.514
Ⓒ	トイレ前室	2.905 × 1.00 ＝ 2.905
Ⓓ	ポーチ１	1.795 × 2.50 ＝ 4.488
Ⓔ	車庫	36.41 × 7.00 ＝ 254.870
Ⓕ	物置前ｽﾍﾟｰｽ	2.295 × 4.50 ＋ 3.00 × 2.50 ＝ 17.828
Ⓖ	物置	3.00 × 2.00 ＝ 6.000
Ⓗ	ポーチ２	1.795 × 2.50 ＝ 4.488
Ⓘ	休憩室	3.50 × 2.50 ＝ 8.750

各室床面積求積表

車　庫

記号	室　名	床面積	居室	非居室	採光検討										換気検討								排煙検討							
					必要面積	有効面積									必要面積	有効面積							必要面積	有効面積						
					割合1/20	記号	W	H	個数	面積	計	補正値	合計	判定	割合1/20	記号	W	H	個数	面積	合計	判定	割合1/50	記号	W	H	個数	面積	合計	判定
Ⓐ	車両管理室	27.969	○		1.399	AW-1	1.80	1.50	3	8.100	8.100	2.88	23.32	OK	1.399	AW-1	1.8/2-0.1	1.50	3	3.600	3.60	OK	0.560	AW-1	1.8/2-0.1	0.45-0.05	3	0.960	0.96	OK
Ⓑ	トイレ	2.514		○											－								－							
Ⓒ	トイレ前室	2.905		○	－										－								－							
Ⓔ	車庫	254.870		○	－										－								－							
Ⓕ	物置前ｽﾍﾟｰｽ	17.828		○	－										－								－							
Ⓖ	物置	6.000		○	－										－								－							
Ⓘ	休憩室	8.750	○		0.438	AW-2	1.80	1.50	1	2.700	2.700	3.0	8.10	OK	0.438	AW-2	1.8/2-0.1	1.50	1	1.200	1.20	OK	0.175	AW-2	1.8/2-0.1	0.65-0.05	1	0.480	0.48	OK

車両管理室
（北）AW-1：6×9.520/13.320-1.4＝2.8882　→　∴2.88
（西）AW-1：6×8.775/2.650-1.4＝18.4679　→　∴3.00

採光補正係数検討

開口部断面

NOTE　※少数点４位を四捨五入にて計算し、各集計採用値は少数点３位以下切り捨て

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：300　A3＝1：600　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　車庫　防火区画、床面積表、採光・換気・排煙計算
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	A　―　112	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

外部仕上表

屋根	ガルバリウム鋼板製折版 H=168 t-0.8、無機質ガラス繊維シート裏貼り、雪止め金具２列 谷樋：耐酸被覆鋼板 t-1.0+アスファルトルーフィング940、木毛セメント板 t-25下地 ＲＤ：塩ビ製（既製品）150φ　、　縦樋：塩ビ製150φ（設備工事）　、　縦樋用融雪ヒーター設置（設備工事）
笠木	カラーガルバリウム鋼板製笠木 t-0.8
軒天	スラグ石膏板 t-11 EP
外壁	強化石膏ボード t-15の上、透湿防水シート下地　金属サイディング t-15 縦貼り
建具	アルミ製建具 見込 70･水切･アングル･結露受 ステンカラー
基礎部	コンクリート打放し補修の上、樹脂モルタル塗り　・　化粧縦目地@3,000内外
ポーチ	床：コンクリート金ゴテ
備考	

防火認定番号

国土交通省防火材料認定番号				耐火仕様			
・強化石膏ボード	t-12.5、t-15.0	不燃	NM-8615	屋根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板折板 t-0.8＋無機質ｶﾞﾗｽ繊維ｼｰﾄ裏貼	30分耐火	FP030RF-1815
・硬質石膏ボード	t-12.5	不燃	NM-9645	外壁	金属サイディング t-15　縦張り	防火構造	PC030NE-0084
・石膏ボード	t-12.5	不燃	NM-8619	間仕切り壁	強化石膏ボード t-12.5+12.5 両面重貼	1時間耐火	FP060NP-0174
・化粧石膏ボード	t-9.5	不燃	NM-1864、準不燃 QM-0524	間仕切り壁	ロックウール吹付 t-30	1時間耐火	FP060NE-9305
・ケイ酸カルシウム板	t-6.0	不燃	NM-8578	軒裏	スラグ石膏板 t-11	45分準耐火	QF045RS-9001
・スラグ石膏板	t-11.0	不燃	NM-8314				
・ビニルクロス		準不燃	QM-9413				
・SOP、EP		準不燃	QM-9816				

特記事項

- ・集成材は特記なき場合はヒバとする。
- ・建材及び建築材料　：　使用する材料は全てＦ☆☆☆☆に対応する規格とする。
  - （石綿・クロルピリホス不使用）
  - （天井裏等への第1種等級、第2種等級のホルムアルデヒド発散建築材料不使用）
- ・天井点検口はアルミ製450角（スリム目地タイプ）とする。
- ・ケイカル板の比重は1.0とする。
- ・電気設備及び機械設備工事の天井補強は本工事とする。
- ・特記なき合板は１類とする。

断熱材

天井：車両管理室・休憩室―グラスウール24K t-100

壁　：車両管理室・休憩室―ウレタン吹付 t-30

間仕切壁：LGS内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K t-100充填

床　：コンクリートスラブ部分（内部）押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 2種b t-50打込（車庫部分を除く）

・車庫の用途に供する部分は、壁及び天井の仕上材を準不燃材料以上とする。

内部仕上表

棟		室名	床 下地	床 仕上	床 FLからの高さ	巾木	巾木 高さ	壁	壁 下地	壁 仕上	天井	天井 下地	天井 廻り縁	天井 仕上	天井高		備考	室名	
車庫	1	車両管理室（トイレ前室）	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	エポキシ系塗床（ノンスリップ）	±0	ソフト巾木	100	1	LGS	石膏ボード t-12.5の上、ビニルクロス貼	1	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5（GW24K t-100）	2，700	1	ラインニング H=1,500(ステンレス張り天端 t=25)、流し台L=1,500、吊り戸棚L=1,000×H700、水切棚L=1,000、洗濯機ﾊﾟﾝ（機械設備工事）	車両管理室（トイレ前室）	1
	2	トイレ	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	エポキシ系塗床（ノンスリップ）	±0	ソフト巾木	100	2	LGS	石膏ボード t-12.5の上、ケイ酸カルシウム板 t-6（シール工法）	2	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5（GW24K t-100）	2，500	2	ラインニング（天端：ﾒﾗﾐﾝ樹脂ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=25）、化粧鏡（500×700）、手洗い器（機械設備工事）	トイレ	2
	3	車庫		コンクリート金ゴテ	-50～-150 ±0	ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りソフト巾木	700	3	LGS	外壁下地（石膏ボード）裏面　表し　、　鉄部：錆止め塗装（見掛部:SOP） 物置間仕切り壁：硬質石膏ボード t-12.5 ＥＰ 他間仕切り壁　：強化石膏ボード t-12.5 ＥＰ	3			屋根・鉄部表し　SOP	3，000～	3	手洗い器（機械設備工事）	車庫	3
	4	物置		コンクリート金ゴテ	±0	ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りソフト巾木	100	4	LGS	外壁下地（石膏ボード）裏面　表し　、　鉄部：錆止め塗装（見掛部:SOP） 間仕切り壁：硬質石膏ボード t-12.5 ＥＰ	4			屋根・鉄部表し　SOP	3，000～	4		物置	4
	5	休憩室		コンクリート金ゴテ	±0	ソフト巾木	100	5	LGS	硬質石膏ボード t-12.5 ＥＰ	5	LGS	塩ビ製	化粧石膏ボード t-9.5（GW24K t-100）	2，500	5		休憩室	5

R　階　平面図

1　階　平面図

消火器凡例

記号	名称・仕様
◈	粉末消火器（ABC粉末式10型）×１本＋スタンド（樹脂製・標識板付）

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　ＭＭ	平成３１年　３　月　作製	図面名称　車庫　平面図　立面図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ　―　１１３	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

南 側　立面図

西 側　立面図

北 側　立面図

東 側　立面図

A-A′　断面図

key plan　S=1：300

B-B′　断面図

C-C′　断面図

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　車庫　立面図　断面図
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 114	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1=1:30　A3=1:60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　車庫　矩計図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	Ａ　一　１１５	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1=1:30　A3=1:60　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　車庫　平面詳細図
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A　一　１１６	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

車両管理室

A 面　B 面　C 面　D 面

トイレ前室

A 面　B 面　C 面　D 面

トイレ

A 面　B 面　C 面　D 面

休憩室

A 面　B 面　C 面　D 面

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100　単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称　車庫　展開図
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A — 117	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

建具伏図　S=1:100

※庁舎との離れが10.5mである為、南面の建築物間の延焼の恐れのある部分は無い。

記号	1 AW 車両管理室 3ヶ所	2 AW 休憩室 1ヶ所	3 AW 休憩室 1ヶ所	4 AW 車庫 4ヶ所	5 AW 車庫 6ヶ所	6 AW トイレ 1ヶ所
形状						
種別及び方式	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製滑り出し窓
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70
ガラス	LE3+A12+FL3	LE4+A12+PW6.8	LE4+A12+FW6.8	FW6.8	FW6.8	LE4+A12+FW6.8
金物	クレセント、アングル、水切、付属金物一式	クレセント、アングル、水切、付属金物一式	クレセント、アングル、水切、付属金物一式	クレセント、アングル、水切、付属金物一式	クレセント、アングル、水切、付属金物一式	水切、付属金物一式
摘要						

記号	1 AD 車両管理室・休憩室 2ヶ所	2 AD 車庫 2ヶ所	3 AD 物置 1ヶ所		1 LSD 車両管理室 1ヶ所	2 LSD 便所 1ヶ所
形状						
種別及び方式	アルミ製片開き框ドア	アルミ製引違戸	アルミ製引違戸		軽量鋼製両開き戸（芯材：水酸化アルミコア）	軽量鋼製片開き戸
仕上げ及び見込	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70	ステンカラー 見込み 70		溶融亜鉛めっき鋼板 見込み 40	溶融亜鉛めっき鋼板 見込み 40
ガラス	LE3+A12+FW6.8、下部～断熱アルミパネル t-12	FW6.8、下部～アルミパネル t-2	F4、下部～アルミパネル t-2		—	F4
金物	シリンダー錠、アルミ額縁W=185、ＤＣ、ＳＵＳ丁番、レバーハンドル SUS下枠、水切、戸当り、付属金物一式	クレセント、アングル、水切、段付SUSレール、付属金物一式	クレセント、アングル、水切、段付SUSレール、付属金物一式		ＤＣ、ＳＵＳ丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落し、ＳＵＳ沓摺付属金物一式	ＤＣ、ＳＵＳ丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、ＳＵＳ沓摺、付属金物一式
摘要						

記号	1 SS 車庫 2ヶ所	2 SS 車庫 3ヶ所
形状		
種別及び方式	バランス式オーバースライドシャッター	バランス式オーバースライドシャッター
仕上げ及び見込	スチール t-0.8 見込み 39	スチール t-0.8 見込み 39
ガラス		
金物	ガイドレール、シャフト、シリンダー錠、他付属金物一式	ガイドレール、シャフト、シリンダー錠、他付属金物一式
摘要		

特記事項

アルミ製建具

1、外部出入口の沓摺水切は、ステンレス(SUS 304)曲げ加工とする。
2、窓の水切はアルミとし、両端部15mm立上げ小口ふさぎの形状とする。
3、窓の水切は国土交通省仕様とする。
4、明示なき金物は、ステンレス(SUS304)とする。
5、引違い開閉オペレーターはギア式とし、埋込み型とする。
6、アングルは結露受付とする。
7、アルミ樹脂製複合断熱建具の断熱性能はＨ－５とする。

ガラス凡例

1、FL：トーメイ板ガラス
2、F：カタ板ガラス
3、PW：網入り磨き板ガラス
4、FW：網入りカタ板ガラス
5、A：空気層
6、LE：Low-Eガラス

NOTE

工事名称 野辺地町庁舎等新築工事	縮尺 A1=1:50 A3=1:100 単位 MM	平成31年 3月 作製	図面名称 車庫 建具伏図・建具表
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印 担当 製図 製図	A — 118	管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

流し台ライニング　詳細図　S=1/20

ライニング　詳細図　S=1/30

外部ＳＳ下アングル取付詳細図　S=1/4

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図　単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　倉庫　雑詳細図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ　一　１１９	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

倉　庫

記号	1　階　(㎡)	記号	2　階　(㎡)
㋑	13.000 × 10.000 ＝ 130.000	㋩	17.300 × 10.000 ＝ 173.000
㋺	4.300 × 10.000 ＝ 43.000		
各階延床面積（㎡）	173.00		173.00
延床面積（㎡）	346.00		
建築面積（㎡）	173.00		

1 階　平面図

2 階　平面図

倉　庫

記号	1　階　(㎡)	2　階　(㎡)
Ⓐ	6.50 × 7.00 ＝ 45.50	3.30 × 10.00 ＝ 33.00
Ⓑ	3.30 × 3.00 ＋ 6.50 × 7.00 ＝ 55.40	3.20 × 4.00 ＝ 12.80
Ⓒ	3.20 × 3.00 ＝ 9.60	3.20 × 4.00 ＝ 12.80
Ⓓ	3.20 × 3.00 ＝ 9.60	3.30 × 4.00 ＝ 13.20
Ⓔ	3.30 × 3.00 ＝ 9.90	4.30 × 4.00 ＝ 17.20
Ⓕ		14.00 × 2.00 ＝ 28.00
Ⓖ		3.20 × 4.00 ＝ 12.80
Ⓗ		3.20 × 4.00 ＝ 12.80
Ⓘ		3.30 × 4.00 ＝ 13.20
Ⓙ		4.30 × 4.00 ＝ 17.20

1 階　平面図

2 階　平面図

NOTE　※少数点４位を四捨五入にて計算し、各集計採用値は少数点３位以下切り捨て

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　MM	平成３１年　１月　作製	図面名称　倉庫　面積表
青森県A１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担当　製図　製図	A ― 120	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

外部仕上表

屋根	デッキコンクリート下地　アスファルト露出断熱(硬質ポリウレタンフォームｔ-50)防湿層付防水　保護塗料塗布　立上り脱気装置 ステンレスルーフドレン（融雪キャップ付φ100）
笠木	アルミ製笠木(既製品 ステンカラー)
軒天	ケイ酸カルシウム板ｔ-6 EP
外壁	強化石膏ボードｔ-15の上、透湿防水シート下地　　金属サイディングｔ-15 縦貼り
建具	アルミ製建具 見込 70･水切･アングル･結露受 ステンカラー
基礎部	コンクリート打放し補修の上、樹脂モルタル塗り　・　化粧縦目地@3,000内外

防火認定番号

国土交通省防火材料認定番号				耐火仕様		
・強化石膏ボード	ｔ-15.0	不燃	NM-8615	外壁　金属サイディングｔ-15　縦張り	防火構造　PC030NE-0084	
・硬質石膏ボード	ｔ-12.5	不燃	NM-9645			
・ケイ酸カルシウム板	ｔ-6.0	不燃	NM-8578			
・EP（合成樹脂エマルションペイント）		準不燃	QM-9816			

特記事項

- ・集成材は特記なき場合はヒバとする。
- ・建材及び建築材料　：　使用する材料は全てＦ☆☆☆☆に対応する規格とする。
- ・天井点検口はアルミ製450角（スリム目地タイプ）とする。
- ・ケイカル板の比重は1.0とする。
- ・電気設備及び機械設備工事の天井補強は本工事とする。
- ・特記なき合板は１類とする。

内部仕上表

棟	室名		床 下地	床 仕上	床 FLからの高さ	巾木	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 廻り縁	天井 仕上	天井高	備考		室名	
車庫	1	荷捌き場		コンクリート金ゴテ	－５０～－１５０	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	６００	ＬＧＳ	外壁下地（石膏ボード）裏面　表し　、　鉄部：錆止め塗装（見掛部:SOP） 間仕切り壁：硬質石膏ボードｔ-12.5 ＥＰ	1		屋根・鉄部表し　ＳＯＰ	－	1	鉄骨階段	荷捌き場	1
	2	倉庫１		コンクリート金ゴテ	±０	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	６００	ＬＧＳ	外壁下地（石膏ボード）裏面　表し　、　鉄部：錆止め塗装（見掛部:SOP） 間仕切り壁：硬質石膏ボードｔ-12.5 ＥＰ	2		屋根・鉄部表し　ＳＯＰ	－	2		倉庫１	2
	3	倉庫２～４		コンクリート金ゴテ	±０	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ	６００	ＬＧＳ	外壁下地（石膏ボード）裏面　表し　、　鉄部：錆止め塗装（見掛部:SOP） 間仕切り壁：硬質石膏ボードｔ-12.5 ＥＰ	3		屋根・鉄部表し　ＳＯＰ	－	3		倉庫２～４	3
	4	倉庫５～１２		コンクリート金ゴテ	±０	ビニル巾木	１００	ＬＧＳ	外壁下地（石膏ボード）裏面　表し　、　鉄部：錆止め塗装（見掛部:SOP） 間仕切り壁：硬質石膏ボードｔ-12.5 ＥＰ	4		屋根・鉄部表し　ＳＯＰ	－	4		倉庫５～１２	4
	5	廊下		コンクリート金ゴテ	±０	ビニル巾木	１００	ＬＧＳ	外壁下地（石膏ボード）裏面　表し　、　鉄部：錆止め塗装（見掛部:SOP） 間仕切り壁：硬質石膏ボードｔ-12.5 ＥＰ	5		屋根・鉄部表し　ＳＯＰ	－	5		廊下	5

１ 階　平面図

２ 階　平面図

Ｒ 階　平面図

消火器凡例

記号	名称・仕様
◈	粉末消火器（ABC粉末式10型）×１本＋スタンド（樹脂製・標識板付）

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事設計業務	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200　単位　ＭＭ	平成３１年　３月　作製	図面名称　倉庫　仕上表　平面図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	Ａ　一　１２１	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

南 側　立面図

東 側　立面図

北 側　立面図

西 側　立面図

A-A′　断面図

B-B′　断面図

key plan　S=1：300

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：100　A3＝1：200	単位　ＭＭ				平成３１年　３月　作製	図面名称　倉庫　立面図　断面図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検	印	担当	製図	製図	Ａ ― １２２	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60	単位　MM				平成31年　3月　作製	図面名称　倉庫　矩計図
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検	印	担当	製図	製図	A ― 123	管理建築士 1級建築士登録第113986号　川島芳正

Ａ部分詳細図　1/10

断面詳細図　１／３０

２階平面詳細図　１／３０

断面詳細図　１／３０

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：30　A3＝1：60　単位　ＭＭ	平成３１年　３　月　作製	図面名称　倉庫　階段詳細図	
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検　印　担　当　製　図　製　図	Ａ　―　１２４	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正	

1 階　平面図

2 階　平面図

建具伏図　S=1:100

記号	1 AW　倉庫１～３・５～８、廊下　８ヶ所	2 AW　倉庫５・９～１２　５ヶ所	1 AD　荷捌き場　１ヶ所	2 AD　倉庫２・３・５～１２　１１ヶ所	3 AD　倉庫４　１ヶ所	
形状						
種別及び方式	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製片開きフラッシュドア　（芯材：ペーパーコア）	アルミ製引違戸	アルミ製片開きフラッシュドア　（芯材：ペーパーコア）	
仕上げ及び見込	ステンカラー　見込み　70	ステンカラー　見込み　70	ステンカラー　見込み　70	ステンカラー　見込み　70	ステンカラー　見込み　70	
ガラス	F4	F4	FW6.8	F4、下部～アルミパネル t-2	F4	
金物	クレセント、アングル、水切、付属金物一式	クレセント、アングル、水切、付属金物一式	シリンダー錠、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、レバーハンドル SUS下枠、水切、戸当り、付属金物一式	引違錠、アルミ額縁、ＳＵＳレール、付属金物一式	シリンダー錠、アルミ額縁、ＤＣ、ＳＵＳＴ番、レバーハンドル フランス落し、戸当り、付属金物一式	
摘要						

記号	1 SS　荷捌き場　１ヶ所		1 MF　電機機器置き場　１ヶ所
形状			
種別及び方式	スチール製電動軽量シャッター		メッシュフェンス両開き門扉
仕上げ及び見込	スチール t-1.6　見込み　39		高耐候性樹脂粉体塗装　見込み　48
ガラス			－
金物	シャッターボックス、三方枠、SUSガイドレール、シャッター錠、シャフト、障害物検知装置、内外操作ボタン、その他附属金物一式		シリンダー錠、丁番、レバーハンドル、戸当り、付属金物一式
摘要			

特記事項

アルミ製建具

１、外部出入口の沓摺水切は、ステンレス(SUS 304)曲げ加工とする。
２、窓の水切はアルミとし、両端部15mm立上げ小口ふさぎの形状とする。
３、窓の水切は国土交通省仕様とする。
４、明示なき金物は、ステンレス(SUS304)とする。
５、引違い開閉オペレーターはギア式とし、埋込み型とする。
６、アングルは結露受付とする。
７、アルミ樹脂製複合断熱建具の断熱性能はＨ－５とする。

ガラス凡例

1、FL：トーメイ板ガラス
2、F：カタ板ガラス
3、PW：網入り磨き板ガラス
4、FW：網入りカタ板ガラス
5、A：空気層
6、LE：Low-Eガラス

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　A1＝1：50　A3＝1：100　単位　MM	平成３１年　３月　作製	図面名称　倉庫　建具伏図・建具表
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877	検印　担当　製図　製図	A ― 125	管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

フェンス　詳細図　S=1/30

外部ＳＳ下アングル取付詳細図　S=1/4

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　各図　単位　ＭＭ					平成３１年　３月　作製	図面名称　倉庫　雑詳細図
青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	検印		担当	製図	製図	Ａ　一　１２６	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正

影倍率表 [緯度 = 40.87°][冬至]

時 刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	4°58'	-52°53'	11.521	-9.188	6.951
8:30	9°19'	-47°31'	6.094	-4.495	4.115
9:00	13°18'	-41°48'	4.228	-2.819	3.152
9:30	16°51'	-35°42'	3.300	-1.926	2.680
10:00	19°54'	-29°12'	2.762	-1.348	2.411
10:30	22°22'	-22°19'	2.430	-0.923	2.248
11:00	24°11'	-15°05'	2.227	-0.580	2.150
11:30	25°18'	-7°37'	2.115	-0.280	2.097
12:00	25°41'	0°00'	2.080	0.000	2.080
12:30	25°18'	7°37'	2.115	0.280	2.097
13:00	24°11'	15°05'	2.227	0.580	2.150
13:30	22°22'	22°19'	2.430	0.923	2.248
14:00	19°54'	29°12'	2.762	1.348	2.411
14:30	16°51'	35°42'	3.300	1.926	2.680
15:00	13°18'	41°48'	4.228	2.819	3.152
15:30	9°19'	47°31'	6.094	4.495	4.115
16:00	4°58'	52°53'	11.521	9.188	6.951

日影長さ表 [緯度 = 40.87°][冬至]
高さ＝10.000(m)　測定面高さ＝4(m)
計算高さ＝6.000(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	11.521	69.126
8:30	6.094	36.564
9:00	4.228	25.368
9:30	3.300	19.800
10:00	2.762	16.572
10:30	2.430	14.580
11:00	2.227	13.362
11:30	2.115	12.690
12:00	2.080	12.480
12:30	2.115	12.690
13:00	2.227	13.362
13:30	2.430	14.580
14:00	2.762	16.572
14:30	3.300	19.800
15:00	4.228	25.368
15:30	6.094	36.564
16:00	11.521	69.126

凡例

- 等時刻日影ライン（３０分毎）
- 等時間日影ライン（３．０時間）
- 等時間日影ライン（５．０時間）
- 日影規制線１０ｍのラインを示す
- 日影規制線５ｍのラインを示す
- 計画建物を示す

概 要	
測定地住所	上北郡野辺地町字野辺地359-1　他
用 途 地 域	第２種住居地域
日 影 規 制	５－３ｈ
測　定　期	冬至
測定面の高さ	４．０　ｍ
測 定 時 間	8時　～　16時
北　　緯	４０．８７度
平均地盤面	ＧＬ　－0.04ｍ
使用ＣＡＤ	Ｊｗ_ｃａｄ　Version 8.01a

NOTE

工事名称　野辺地町庁舎等新築工事

青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺　A1＝1：300　A3＝1：600　単位　ＭＭ

検　印　担　当　製　図　製　図

平成３１年　３　月　作製

Ａ　―　１２７

図面名称　日影図

管理建築士　1級建築士登録第113986号　川島芳正

スラブ配筋図

ＳＤＢ２２６０Ｂ

一　般　事　項	
コンクリート	Ｆｃ＝２１Ｎ／ｍｍ２
鉄　　筋	ＳＤ２９５Ａ
鉄筋かぶり	スラブ　４０
	ベース　６０
定着及継手	４０ｄ
地　　業	砕石又はＲＣ　４０～０

注１）上部はＴ－２０荷重とする。
注２）図中の「Ｇ．Ｌ」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注３）地耐力は６０ＫＮ／ｍ２以上必要とする。（実際の工事業者が確認後施工の事）

浸透槽平面図

浸透槽断面図

ベース配筋図

横型槽断面配筋図

地下浸透装置計算	
汚水量	３６０００Ｌ／日
敷地面積	ＧＬ－３８５５Ｈ　１ｍ２当たり、１分間の浸透能力を９Ｌとする。 $\frac{36000}{9L/min \times 60min \times 24h}$ ＝　２．８ｍ２　以上とする。 ここで、安全率を３０％見ると　２．８ｍ２×１．３＝３．６４ｍ２ よって、２．０ｍ　×　２．０ｍ　＝　４．００ｍ２
浸透係数	０．０１５ｃｍ／ｓｅｃ（細砂）＝０．０１５×０．０１ｍ／ｃｍ×３６００秒／時 ＝０．５４ｍ／Ｈｒ １ｍ２当りの浸透量は０．５４ｍ／Ｈｒ×１．０ｍ２＝０．５４ｍ３／Ｈｒ （０．５４ｍ３／Ｈｒ÷６０ｍｉｎ×１０００＝９Ｌ／ｍｉｎ）

※土工事・コンクリート工事及び浸透槽は建築工事とする

ＮＯＴＥ	工事名称　野辺地町庁舎等新築工事	縮尺　Ａ１＝１：５０　Ａ３＝１：１００	単位　ＭＭ			平成３１年　３月　作製	図面名称　浄化槽設備　配筋図・浸透槽図（参考）
		検　印		担当	製図	Ａ　一　１２８	管理建築士　１級建築士登録第113986号　川島芳正
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877						